

農業の『稼ぐ力』を引き出す主要施策
令和5年度関連事業一覧

令和5年4月 鹿児島県農政部

令和5年度農政部事業一覧

【農政課関係】

(単位：千円)

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	予算額	所管係	ページ数
1	活動火山周辺地域防災営農対策事業	継続	ハード	1,730,284	地域農業振興係	1
2	かごしまの農業未来創造支援事業	新規	ハード	322,479	地域農業振興係	1
3	地域農業経営構造確立支援事業	継続	ハード	—	地域農業振興係	2
4	奄美農業支援プロジェクト事業	継続	ソフト	1,778	地域農業振興係	2

【農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	かごしまの“食”推進事業(推進体制の整備)	継続	ソフト	399	6次産業化支援係	3
2	かごしまの“食”推進事業(かごしまの“食”活動推進)	継続	ソフト	11,104	6次産業化支援係	3
3	かごしまの“食”推進事業(市町村等推進事業)	継続	ソフト	9,540	6次産業化支援係	4
4	かごしまの農林水産物輸出促進ビジョン推進事業	一部新規	ソフト	207,419	輸出戦略係	4
5	かごしまの農林水産物認証制度普及事業	継続	ソフト	12,981	食の安全推進係	5
6	「かごしまブランド」確立推進事業	継続	ソフト	971	ブランド対策班	5
7	かごしまの食販売促進強化事業	継続	ソフト	21,485	ブランド対策班	6
8	かごしまの6次産業化推進事業	継続	ソフト	29,806	6次産業化支援係	6
9	大隅加工技術研究センター関連事業	継続	ソフト	72,042	6次産業化支援係	7

令和5年度農政部事業一覧

【農村振興課関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	むらづくり活動推進事業(実践活動支援事業)	継続	ソフト	19,842	むらづくり推進係	7
2	むらづくり活動推進事業 (活かそう!むらの宝★ビジネス応援事業)	継続	ソフト	3,705	むらづくり推進係	8
3	中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (中山間ふるさと・水と土保全対策事業)	継続	ソフト	10,908	むらづくり推進係	8
4	中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (棚田地域等保全対策事業)	継続	ソフト	8,993	むらづくり推進係	9
5	多面的機能支払交付金	継続	ソフト	1,768,223	むらづくり推進係	9
6	グリーン・ツーリズム農泊推進事業	継続	ソフト	3,000	むらづくり推進係	10
7	鳥獣被害対策推進事業	継続	ソフト・ハード	800,026	中山間・鳥獣害対策係	10
8	中山間地域等直接支払事業	継続	ソフト	607,156	中山間・鳥獣害対策係	11
9	中山間地農業ルネッサンス事業	継続	ソフト	8,238	中山間・鳥獣害対策係	11
10	農地集積推進事業 (農地中間管理機構事業)	継続	ソフト・ハード	307,604	農地利用推進係	12
11	農地集積推進事業 (機構集積協力金交付事業)	継続	ソフト・ハード	264,342	農地利用推進係	12
12	農地集積推進事業 (農地売買支援事業)	継続	ソフト・ハード	10,362	農地利用推進係	13
13	農地集積推進事業 (最適土地利用推進事業)	継続	ソフト・ハード	672	農地利用推進係	13
14	農業委員会・農業委員会ネットワーク機構補助事業	継続	ソフト	453,640	農地管理調整係	14

【農業経済課関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	農業制度資金利子補給補助事業 (農業近代化資金利子補給事業)	継続	ソフト	154,779	金融係	14
2	農業制度資金利子補給補助事業 (農業経営負担軽減支援資金利子補給事業)	継続	ソフト	3,364	金融係	15
3	農業経営改善促進資金貸付原資造成事業	継続	ソフト	79,500	金融係	15
4	日本政策金融公庫所管資金	継続	ソフト	—	—	16

令和5年度農政部事業一覧

【経営技術課関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	「稼ぐ力」を向上するスマート農業導入促進事業	新規	ソフト	22,531	普及企画係	17
2	普及活動事業	継続	ソフト	51,402	普及企画係	17
3	新産地育成普及活動事業	継続	ソフト	142	普及企画係	18
4	「稼ぐ力」を引き出す大規模畑かん営農展開推進事業	新規	ソフト	1,287	普及企画係	18
5	キラリ輝く☆女性農業者応援事業	新規	ソフト	4,975	普及企画係	19
6	担い手育成推進事業	継続	ソフト・ハード	119,970	経営体育成係	19
7	農業人材確保対策事業	継続	ソフト	3,899	経営体育成係	20
8	農福連携推進事業	継続	ソフト	2,322	経営体育成係	20
9	農業分野外国人材確保推進事業	継続	ソフト	2,031	経営体育成係	21
10	かごしまの農業経営・就農支援事業	新規	ソフト	33,759	経営体育成係	21
11	地域計画推進支援事業	新規	ソフト	83,231	経営体育成係	22
12	農業次世代人材投資事業	継続	ソフト	770,915	就農対策係	22
13	特殊病害虫対策事業	継続	ソフト	484,221	技術環境係	23
14	農作業事故防止対策推進事業	継続	ソフト	235	技術環境係	23
15	農業開発総合センター大隅支場移転・集約整備事業	新規	ハード	268,660	技術環境係	24
16	試験研究事業	継続	ソフト	284,122	技術環境係	24
17	環境と調和した農業推進事業 (病害虫発生予察事業)	継続	ソフト	8,140	生産環境係	25
18	病害虫侵入調査・発生予察用モニタリングシステム整備事業	新規	ソフト	8,250	技術環境係	25
19	環境と調和した農業推進事業 (環境保全型農業直接支援対策事業)	継続	ソフト	97,753	生産環境係	26
20	環境と調和した農業推進事業 (土づくり展開事業)	継続	ソフト	10,000	生産環境係	26
21	環境と調和した防除推進事業 (農薬適正使用推進事業)	継続	ソフト	2,056	生産環境係	27
22	みどりの食料システム戦略推進総合対策事業	新規	ソフト	51,150	生産環境係	27
23	農業・農村研修事業	継続	ソフト	3,535	農業大学校	28
24	農大魅力アップ・情報発信事業	継続	ソフト	3,427	生産環境係	28

令和5年度農政部事業一覧

【農産園芸課関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	かごしま園芸産地総合対策事業	継続	ソフト・ハード	1,100	野菜係	29
2	産地パワーアップ事業	継続	ハード	3,644,793	野菜係	29
3	新規需要対応型産地育成緊急対策事業	継続	ソフト	7,321	野菜係, 水田農業	30
4	農業者経営所得安定対策推進事業	継続	ソフト・ハード	154,476	水田農業対策係	30
5	生産性の高い水田農業確立推進事業	継続	ソフト	10,094	水田農業対策係	31
6	かごしま茶産地力向上条件整備事業	継続	ハード	153	茶業係	31
7	「かごしま茶」魅力創出事業	継続	ソフト	19,035	茶業係	32
8	さとうきび産地活性化事業	継続	ソフト・ハード	32,745	糖業特産作物係	32
9	サツマイモ基腐病対策推進事業	継続	ソフト・ハード	531,819	糖業特産作物係	33
10	かごしまの希少フルーツポテンシャル向上支援事業	新規	ソフト	8,000	花き果樹係	33
11	茶・施設園芸燃油高騰対策緊急支援事業	継続	ソフト	117,000	野菜係, 茶業係	34
12	県産麦生産性向上対策事業	継続	ソフト	39,908	水田農業 対策係	34

令和5年度農政部事業一覧

【畜産課関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	獣医師確保対策事業	継続	ソフト	34,510	管理係	35
2	「魅力発信」畜産物販路拡大対策事業	継続	ソフト	1,762	企画経営係	35
3	和牛日本一の「鹿児島黒牛」PR事業	新規	ソフト	31,505	企画経営係	36
4	「JGAP家畜・畜産物」等推進事業	継続	ソフト	2,081	企画経営係	36
5	畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業	継続	ソフト	525,014	企画経営係	37
6	肉用牛振興システム整備強化事業	継続	ソフト	2,074	肉用牛酪農係	37
7	全国和牛能力共進会出品対策事業	新規	ソフト	17,311	肉用牛酪農係	38
8	肉用子牛価格安定対策事業	継続	ソフト	45,991	肉用牛酪農係	38
9	肥育牛価格安定対策事業	継続	ソフト	63,876	肉用牛酪農係	39
10	家畜導入事業	継続	ソフト	4,000	肉用牛酪農係	39
11	「鹿児島黒牛」改良増殖推進事業	継続	ソフト	98,502	肉用牛酪農係	40
12	乳用牛改良増殖対策事業	継続	ソフト	2,759	肉用牛酪農係	40
13	生乳流通改善対策事業	継続	ソフト	180	肉用牛酪農係	41
14	乳用育成牛確保支援事業	継続	ソフト	3,300	肉用牛酪農係	41
15	持続可能な酪農振興対策事業	新規	ソフト	2,885	肉用牛酪農係	42
16	豚改良増殖対策事業	継続	ソフト	3,345	中小家畜係	42
17	系統豚適正管理事業	継続	ソフト	3,466	中小家畜係	43
18	肉豚価格安定対策事業	継続	ソフト	84,451	中小家畜係	43
19	鶏改良増殖対策事業	継続	ソフト	921	中小家畜係	44
20	鶏卵価格安定対策事業	継続	ソフト	25,260	中小家畜係	44
21	ブロイラー価格安定対策事業	継続	ソフト	93,552	中小家畜係	45
22	新交雑鶏等生産出荷体制整備事業	継続	ソフト	424	中小家畜係	45
23	畜産基盤再編総合整備事業	継続	ハード	955,723	耕畜連携飼料対策係	46
24	飼料安全・品質確保対策事業	継続	ソフト	1,097	耕畜連携飼料対策係	46
25	配合飼料価格高騰対策緊急支援事業	継続	ソフト	295,200	耕畜連携飼料対策係	47
26	地域資源フル活用飼料増産対策事業	新規	ソフト	68,388	耕畜連携飼料対策係	47
27	畜産環境総合整備事業	継続	ハード	807,793	耕畜連携飼料対策係	48
28	資源循環型畜産確立対策推進事業	継続	ソフト	608	耕畜連携飼料対策係	48
29	畜産クラスター事業	継続	ハード	3,485,525	耕畜連携飼料対策係	49
30	家畜伝染病予防事業	継続	ソフト	141,241	家畜衛生係	49
31	家畜衛生対策事業	継続	ソフト	6,133	家畜衛生係	50
32	自衛防疫強化総合対策事業	継続	ソフト	54,355	家畜衛生係	50
33	家畜疾病病性鑑定事業	継続	ソフト	2,022	家畜衛生係	51
34	家畜保健衛生所施設整備事業	継続	ハード	508,285	家畜衛生係	51
35	家畜伝染病危機管理体制整備事業	継続	ソフト	13,166	家畜衛生係	52
36	試験研究事業(畜産試験場)	継続	ソフト	18,505	畜試企画係	52

令和5年度農政部事業一覧

【農地整備課関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	県営中山間総合整備事業	継続	ソフト・ハード	1,928,333	農村整備係	53
2	県営農村振興等総合整備事業	継続	ハード	150,520	農村整備係	53
3	畑地帯総合農地整備事業	継続	ハード	7,844,762	国営・水利係	54
4	経営体育成基盤整備事業	継続	ハード	1,911,058	農村整備係	54
5	団体営農村振興総合整備等統合補助事業	継続	ソフト・ハード	8,190	農村整備係	55
6	団体営中山間総合整備事業	継続	ハード	110,250	農村整備係	55
7	団体営基盤整備促進事業	継続	ハード	372,145	農村整備係	56
8	農村環境保全整備事業	継続	ハード	12,700	国営・水利係	56
9	団体営土地改良施設維持管理事業	継続	ソフト・ハード	329,539	国営・水利係	57

【農地保全課関係】

No	事業名	新規・継続	ソフト・ハード	当初予算額	所管係	ページ数
1	農地整備事業(通作・基幹)	一部新規	ソフト・ハード	45,500	施設保全係	57
2	農地整備事業(通作・一般)	一部新規	ハード	275,600	施設保全係	58
3	農地整備事業(通作・保全)	一部新規	ソフト・ハード	1,087,340	施設保全係	58
4	県営かんがい排水事業	一部新規	ソフト・ハード	1,949,647	施設保全係	59
5	団体営土地改良施設維持管理事業	一部新規	ハード	242,307	施設保全係	59
6	県営ため池等整備事業	一部新規	ハード	1,228,330	農地防災係	60
7	県営農地保全整備事業	一部新規	ハード	997,370	農地防災係	60
8	農村地域防災減災事業	一部新規	ソフト・ハード	769,670	農地防災係	61
9	海岸保全施設整備事業	一部新規	ソフト・ハード	384,750	農地防災係	61
10	団体営耕地災害復旧事業	一部新規	ハード	3,252,945	農地防災係	62
11	地籍調査事業(公共)	継続	ソフト	641,212	国土調査係	62

8 農業災害防止等に関する施策

■ 活動火山周辺地域防災営農対策事業【継続】

【令和5年度予算額 1,730,284千円】

財源（国庫：1,090,943千円，特定：176,222千円，一財：463,119千円）

＜対策のポイント＞

火山活動に伴う降灰等による農作物への被害を防止・軽減するため、「防災営農施設整備計画」に基づき、被覆施設や洗浄施設の整備等を行う。

＜政策目標＞

降灰等による農作物被害の防止・軽減
第17次防災営農施設整備計画（令和5～7年）

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

降灰等による被害を防止・軽減するため、被覆施設や洗浄施設の整備等を行い、農業者の経営安定、地域農業の健全な発展を図る

2 事業主体（※負担割合）

市町村，農業協同組合，土地改良区，農業者団体等
（被害激甚地域 100分の75以内
一般地域 100分の65以内
被覆資材の更新 100分の50以内）

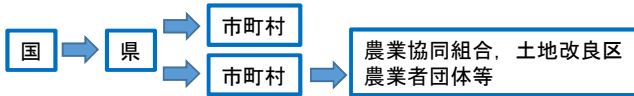
3 事業内容

- (1) 降灰地域土壌等矯正事業
- (2) 降灰防止・降灰除去施設等整備
 - ・畑地かんがい施設整備
 - ・降灰地域茶安定対策
 - ・降灰地域たばこ安定対策
 - ・降灰地域野菜安定対策
 - ・降灰地域花き安定対策
 - ・降灰地域果樹安定対策
 - ・降灰地域飼料作物確保対策

4 事業期間

昭和50年～

＜事業の流れ・補助率等＞



＜事業イメージ＞

＜火山噴火による被害＞



インゲン



茶



飼料作物

＜降灰対策の実施＞



被覆施設



摘採前洗浄施設



飼料作物収穫調整用等機械施設

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課地域農業振興係（099-286-3113）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-2）

■ かごしまの農業未来創造支援事業【継続】

【令和5年度予算額 322,479千円】

財源（国庫：116,000千円，一財：151,479千円，県債：55,000千円）

＜対策のポイント＞

新規就農者を確保・育成するため、就農後の機械・施設等の導入を支援するとともに、地域の特性を生かした営農確立に向け共同機械導入等を支援します。

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 1 人づくり・地域づくりの強化
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

本県の農業の未来を担う新規就農者を確保・育成するため、就農後の機械・施設等の導入を支援するとともに、地域の特性を生かした営農確立に向け共同機械導入や小規模なかんがい排水等の整備を支援します。

2 事業主体等

- (1) 市町村（国・県3/4以内）
＜交付対象者＞50歳未満の認定新規就農者（令和4年度以降に新たに農業経営を開始する者）
- (2) 市町村，農業協同組合，土地改良区（県4/10以内）
- (3) (4) 市町村，3戸以上の農業者で組織する団体等（県1/3以内等）

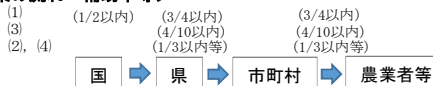
3 事業内容

- (1) 新規就農者育成対策
機械・施設等の取得・改良又はリース，家畜導入，果樹・茶の新植・改植等
- (2) 産地づくり対策
栽培施設，共同利用機械，共同利用施設等
- (3) 農業農村整備対策
かんがい排水，畑地かんがい，農道，客土等
- (4) 農村づくり対策
環境施設，加工施設，交流施設等

【予算額】(1)174,000千円，(2)～(4)148,479千円

4 事業期間：令和4年度～

＜事業の流れ・補助率等＞



＜事業のイメージ＞

【新規就農者育成対策】



機械の導入



家畜の導入

【産地づくり対策等】



共同利用機械



かんがい施設整備



直売所

※(2)，(3)，(4)については、原則として、国の補助事業の対象とならないものが対象です。

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課地域農業振興係（099-286-3113）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-5）

■ 地域農業経営構造確立支援事業【継続】
（地域農業経営構造確立支援整備事業）

【令和5年度予算額 - 】

<対策のポイント>

経営規模の小規模・零細な地域等における意欲ある経営体が、農作業の共同化や農地の利用集積の促進等により、生産性の向上や農作業の効率化等を図るために必要となる共同利用機械等の導入を支援する。

<政策目標>

経営規模の小規模・零細な地域等における意欲ある経営体の育成・確保

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

経営規模の小規模・零細な地域等における意欲ある経営体が、農作業の共同化や農地の利用集積の促進等により、生産性の向上や農作業の効率化等を図るために必要となる共同利用機械等の導入を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

市町村（国1/2以内等）

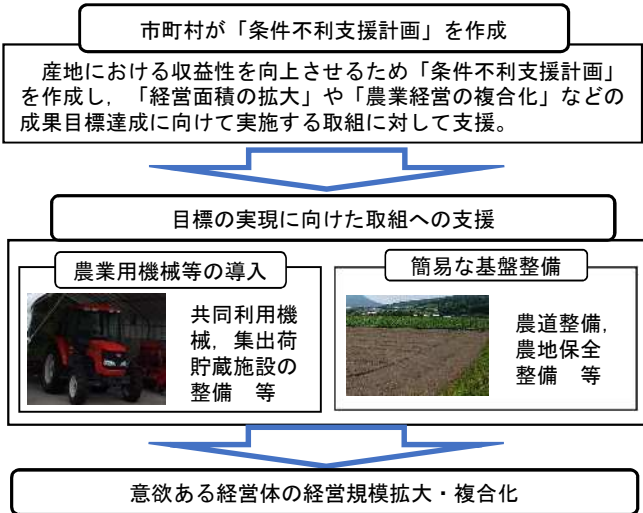
3 事業内容【予算額：0千円】

- (1) 農業用機械等の導入
- (2) 簡易な基盤整備

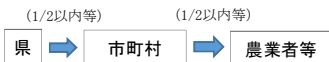
4 事業期間

平成25年度～

<事業イメージ>



<事業の流れ・補助率等>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課地域農業振興係（099-286-3113）

9 農村振興に関する施策（9-3）

■ 奄美農業支援プロジェクト事業【継続】

【令和5年度予算額 1,778千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

イオン九州株式会社及び株式会社ダイエーからの寄付金を財源として、奄美群島の農業・農村振興等に寄与することを目的に、奄美群島の農産物等の販売戦略強化に向けた取組等を支援する。

<政策目標>

奄美群島の農産物等の販売戦略強化（販売チャネル拡大等）

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

奄美群島の農業・農村の振興を図るため、農産物等の新たな販売チャネルの開拓等に対する取り組みを支援する。

2 事業主体（※負担割合）

奄美群島農政推進協議会（定額）

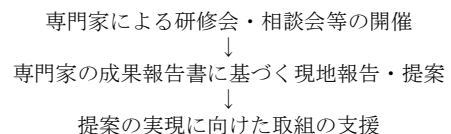
3 事業内容【予算額：1,778千円】

農産物等の販売戦略強化を目指した取組への支援

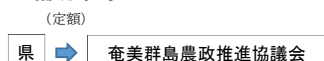
4 事業期間

令和4～6年度（3か年）

<事業イメージ>



<事業の流れ・補助率等>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課地域農業振興係（099-286-3113）

2 食育及び地産地消に関する施策（2-1, 2）

■ かがしまの“食”推進事業（推進体制の整備）

【令和5年度予算額 399千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

食育推進基本計画及び県食育計画（かがしまの“食”交流推進計画）に掲げられた目標達成に向けて、関係者が連携して取り組む食育・地産地消の活動を重点的かつ効率的に推進します。

<政策目標>

かがしまの“食”交流推進計画の目標の達成

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

かがしまの“食”交流推進計画を推進するため、食育・地産地消を進める体制（かがしまの“食”交流推進会議、地域協議会等）の円滑な運営を図る。

2 事業主体

県

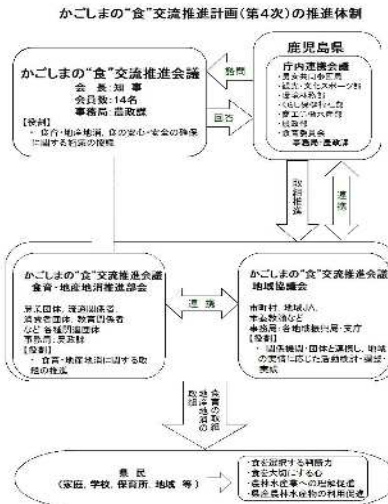
3 事業内容

- (1) かがしまの“食”交流推進会議の運営
 - ・ かがしまの“食”交流推進会議の開催
 - ・ 食育・地産地消推進部会の開催
- (2) 地域協議会の運営（10地域）

4 事業期間

令和3年度～令和7年度（5か年）

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かがしまの食輸出・ブランド戦略室
6次産業化支援係（099-286-3194）

2 食育及び地産地消に関する施策（2-1, 2）

■ かがしまの“食”推進事業（かがしまの“食”活動推進）

【令和5年度予算額 11,104千円】
財源（国庫：（国庫7,503千円，繰入金1,521千円，一財：2,080千円）

<対策のポイント>

かがしまの“食”交流推進計画に基づき、県民が家庭、学校、職場、地域社会などでライフステージに合わせて、地産地消を基本とした健康で豊かな食生活を実現できるよう、「かがしまの“食”」を推進します。

<政策目標>

かがしまの“食”交流推進計画の目標の達成

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

地産地消を基本とした健康で豊かな食生活を実現するため「かがしまの“食”」に関わる人材育成、活動支援、「かがしまの“食”」の理解促進を図る。

2 事業主体

県

3 事業内容

- (1) つなぐ!食育推進ネットワーク構築【予算額：7,259千円】
 - ・ 食育シニアアドバイザーの登録・紹介
 - ・ 食育推進に向けたネットワークの強化
 - ・ 食育に係る人材育成及びマッチング支援
- (2) 「かがしまの“食”」の理解促進【予算額：3,259千円】
 - ・ かがしま地産地消推進店，サポーターの登録・支援
 - ・ 地域農産物等の活用促進（高校生等を対象としたメニューコンテストの開催や情報発信等）
 - ・ 「かがしまの米」の理解促進と消費推進
 - ・ かがしまの“食”交流推進セミナーの開催
- (3) 機能性に注目した県産農産物の高付加価値化支援【予算額：586千円】
 - ・ 栄養機能等の表示による農産物の高付加価値化に向けたモデルづくり

4 事業期間

令和3年度～令和7年度（5か年）

<事業イメージ>



食育を担う人材育成に向けた講座等の開催



食育の取組拡充に向けたマッチング



高校生を対象としたメニューコンテストの開催



県産農産物の高付加価値化支援

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農政課かがしまの食輸出・ブランド戦略室
6次産業化支援係（099-286-3194）

2 食育及び地産地消に関する施策（2-1, 2）

■ かのしまの“食”推進事業（市町村等推進事業）

【令和5年度予算額 9,540千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

食育推進基本計画（国）及び県食育推進計画（かのしまの“食”交流推進計画）に掲げられた目標達成に向けて、地域関係者が連携して取り組む食育活動を重点的かつ効率的に推進します。

<政策目標>

食育推進基本計画及び県食育推進計画（かのしまの“食”交流推進計画）の目標の達成

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

食育推進基本計画（国）及びかのしまの“食”交流推進計画の目標達成に向け、市町村・団体等の食育に関する取組への支援を行う。

2 事業主体（※負担割合）

国1/2, 事業主体1/2（R5当初予算）

国10/10（R4補正予算）

※消費・安全対策交付金のうち地域での食育の推進事業

3 事業内容

地域における食育活動への支援（補助金）

- ・課題解決に向けたシンポジウム等の開催
- ・地域における共食の場の提供
- ・農林漁業体験機会の提供
- ・学校給食における地場産物活用の促進
- ・地域食文化の保護継承や日本型食生活の実践

4 事業期間

令和3年度～令和7年度（5か年）

<事業イメージ>

目標（食育推進基本計画・かのしまの“食”交流推進計画）

- ・意識して県産農林水産物を購入する人の割合を増やす。
- ・地域で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承し、伝えている人の割合を増やす。
- ・農林漁業体験者を増やす。

目標達成に資する地域の取組を支援

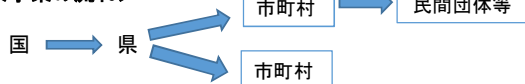


高校生への郷土料理講習会



学校での農業体験学習

<事業の流れ>



食育推進基本計画・県食育推進計画の目標達成を目指す

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政課かごしまの食輸出・ブランド戦略室
6次産業化支援係（099-286-3194）

生産振興、販売・流通等に関する施策（6-4）

■ かのしまの農林水産物輸出促進ビジョン推進事業【一部新規】

【令和5年度予算額 207,419千円】

財源（国庫（地方創生推進交付金）：25,226千円）

国庫（国庫補助金）：148,480千円、一財：33,713千円

※ 令和4年度3月補正 100,000千円（国庫）を含む

<対策のポイント>

アジア、米国、EUなどへの県産農林水産物の輸出拡大を図るため、輸出に意欲的な生産者による輸出産地形成に向けた支援や、県産農産物の海外販路開拓支援、「かごしま茶」の新たな販路開拓支援など、海外へのPR・販売促進活動を実施します。

<政策目標>

令和7年度における県産農林水産物の輸出額：約500億円（県産農林水産物輸出促進ビジョンにおける目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 4-10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 3販路拡大・輸出拡大

※ マニフェスト 3県民が豊かになる産業振興 ○農林水産業の振興 No19, 22



1 目的

県農林水産物輸出促進ビジョンに掲げる、令和7年度輸出額約500億円を目指して、アジア、米国、EUなどへの県産農林水産物の輸出拡大を図るため、官民一体となって「生産体制」と「販売力」の強化に取り組む。

2 事業主体

3(1)ア, (2)：民間団体等（10/10※一部1/2）、3(1)イ：農業者等（2/3）

3(3)ア：県茶業会議所（1/2）

3(3)イ, ウ, エ, (4)：県（一部生産者等）（10/10）等

3 事業内容

(1) 輸出に意欲的な生産者の確保・育成【つくる】（54,000千円）

ア グローバル産地づくり支援（48,000千円）

イ グローバルファーマー育成支援（6,000千円）

(2) 県産農産物の海外販路開拓への支援【あつめる・はこぶ】（24,500千円）

(3) 海外へのPR・販売促進活動の強化【うる】（25,500千円）

ア 「かごしま茶」の新たな販路開拓支援（2,850千円）

イ かごしま茶「せいめい」研究会の活動支援等（2,150千円）

ウ デジタルコンテンツによる県産農産物プロモーション（13,000千円）

エ 海外フェア、商談会の開催等（7,500千円）

(4) GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト（100,000千円）

【つくる】【あつめる・はこぶ】【うる】

(5) 推進事務費（3,419千円）

4 事業期間

令和5年度～7年度

<事業の流れ・補助率等>

10/10補助（3(1)ア, 3(2), (4)）

2/3補助（上限額1,000千円）（3(1)イ）

1/2補助（3(2), (3)ア）

3(1), 3(2) 国, 県 → 民間団体等

3(3)ア

【つくる】輸出に意欲的な生産者の確保・育成



【あつめる・はこぶ】県産農産物の海外販路開拓支援



【うる】PR・販売促進活動の強化



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政課 かごしまの食輸出・ブランド戦略室 輸出戦略係（099-283-3093）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策

■ かがしまの農林水産物認証制度普及事業【継続】

【令和5年度予算額 12,981千円】
財源（国庫：12,241千円，一財：740千円）

<対策のポイント>

「かがしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」や国際水準GAPの普及を図り、安心・安全な県産農林水産物の生産を促進します。

<政策目標>

令和6年度のK-GAP及び国際水準GAPの認証件数：**500件**（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値）

※ **未来創造ビジョン体系** VI 安心・安全な県民生活の実現，X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

消費者等の食品の安全性に対する関心の高まりがある中、「かがしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」の認証取得促進、普及拡大を進めるとともに、消費者等の理解促進を図る。

また、国際水準GAPの取組の拡大を図るため、GAP指導体制の充実を図るとともに農業教育機関等における認証取得の支援を行う。

2 事業主体（※負担割合）

・3（1）～（4）：県（一部国庫：定額）

・3（5）：国庫（定額）

3 事業内容【予算額：12,981千円】

(1) K-GAP認証制度の推進

GAPの推進方策や認証基準等の検討 等

(2) 普及組織等によるGAP手法の導入・普及

生産者に対するGAPの普及指導

(3) 生産者、流通業者、消費者等への理解促進

K-GAPのPRフェアの開催、K-GAPマスターの認定 等

(4) 国際水準GAPの取組促進

GAP研修会の開催、GAP指導員資格取得支援 等

(5) 国際水準GAPの認証取得への支援

農業教育機関や環境負荷低減に取り組む団体の国際水準GAPの認証取得の支援

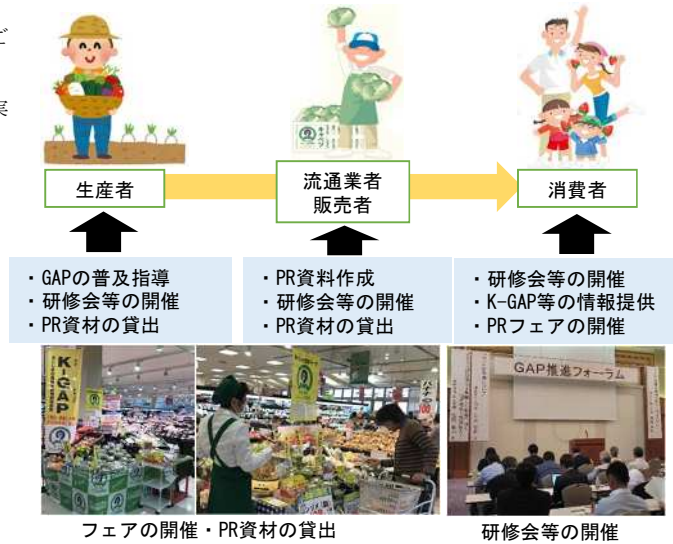
4 事業期間

3-（1）～（3）平成16年度～，3-（4）～（5）令和2年度～

<事業の流れ>

県実施

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 農政課 かがしまの食輸出・ブランド戦略室
食の安全推進係 (099-286-3095)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-2）

■ 「かがしまブランド」確立推進事業【継続】

【令和5年度予算額 971千円】
財源（国庫：201千円，一財：770千円）

<対策のポイント>

県産農畜産物の付加価値向上に向けて、関係機関・団体一体となって「かがしまブランド」確立運動を総合的に推進します。

<政策目標>

令和6年度のかごしまブランド産品販売額：**平成30年度比6%増**（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値）

※ **未来創造ビジョン体系** 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

県産農畜産物のブランド力を高めるため、生産者団体、流通関係者、行政機関等が一体となって、県産農畜産物の生産拡大と消費宣伝対策等に取り組む必要があります。

2 事業主体（※負担割合）

県（10/10）

3 事業内容

かがしまブランド確立運動の推進 【予算額：971千円】

(1) かがしまブランド推進本部会議の開催

(2) 研修会の開催

(3) かがしまブランド制度等の周知

4 事業期間

平成3年度～令和5年度（3か年）

<事業の流れ>

県実施

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 農政課
かがしまの食輸出・ブランド戦略室 ブランド対策班
(099-286-3179)

<事業イメージ>



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-1, 2）

■ かがしまの食販売促進強化事業【継続】

【令和5年度予算額 21,485千円】

財源（国庫：9,636, 特定：700千円, 一財：11,149）

<対策のポイント>

安心・安全で良質な県産農畜産物のブランド力を高めるため、安定的に生産・出荷できる産地づくりと、県産農畜産物のイメージアップや各産品の特性等に応じた販路拡大に取り組みます。

<政策目標>

令和6年度のかごしまブランド産品販売額：平成30年度比6%増（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

県内で生産された農畜産物が適正に評価され、有利販売につながるよう、安心・安全を前提に、定時・定量・定質な生産・出荷ができる産地づくりと、市場関係者や消費者等に県産農畜産物の良さを伝える必要があります。

2 事業主体（※負担割合）

- ・ 3(1), (2)ア, イ, エ: 県 (10/10)
- ・ 3(2)ウ: 農業協同組合, 農事組合法人, 農地所有適格法人, 生産者等（補助率（定額）: 上限1,000千円以内）

3 事業内容

(1) 産地づくり 【予算額：2,553千円】

- ア 品質の高位平準化に向けた取組支援
- イ GI産品の登録申請に向けた個別支援と登録産品PR

(2) 販路拡大 【予算額：18,932千円】

- ア かがしまブランド産品をはじめとする県産農畜産物の販路拡大
- イ 新たな販売促進活動の展開（新キャッチコピーの製作等）
- ウ 高品質で希少性のある果物の生産者等が取り組む販売促進活動への支援
- エ ウェブサイトを活用した県産農畜産物等の情報発信

4 事業期間

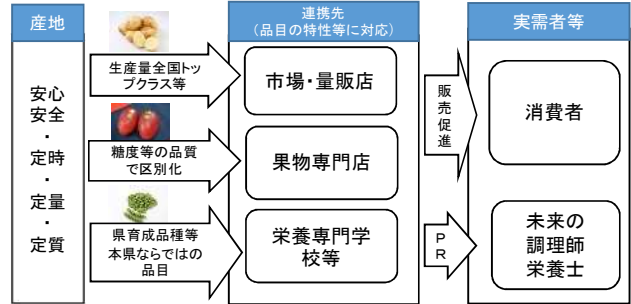
令和4年度～令和6年度（3か年）

<事業の流れ>

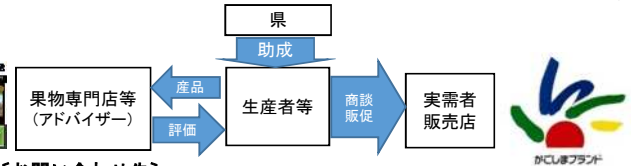


<事業イメージ>

○かがしまブランド産品をはじめとする県産農畜産物の販路拡大



○高品質で希少性のある果物の生産者等が取り組む販売促進活動への支援



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農政課
 かがしまの食輸出・ブランド戦略室 ブランド対策班 (099-286-3179)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-5）

■ かがしまの6次産業化推進事業【継続】

【令和5年度予算額 29,806千円】

財源（国庫：25,060千円, 一財：4,746千円）

<対策のポイント>

県産農林水産物の付加価値向上を図るため、関係機関・団体と連携し、6次産業化事業者等への継続的な支援を行います。

<政策目標>

県産農林水産物を活用した加工品等の新規商談成立数：50件/5年（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値）

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化, 付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 0 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

県産農林水産物の新たな付加価値を生み出す6次産業化の取組に対し、関係機関・団体等が連携して各6次産業化事業者等の状況に応じたきめ細やかな支援を継続することにより、農林漁業者の所得向上を図る。

2 事業主体

(1)～(4) 県 (10/10)

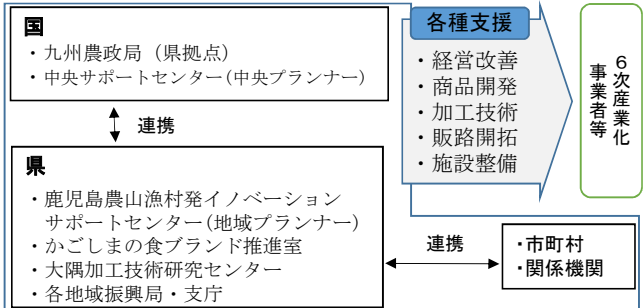
3 事業内容

- (1) 支援体制の整備・運営 【予算額：25,060千円】
鹿児島農山漁村発イノベーションサポートセンターの設置・運営等
- (2) 6次産業化事業者の育成・確保 【予算額：770千円】
食プロ育成セミナーの開催等
- (3) 6次産業化商品の販路開拓の支援 【予算額：3,289千円】
商談・販売機会の提供等
- (4) 優良事例集の作成 【予算額：687千円】
6次産業化事業者の優良事例集作成

4 事業期間

令和4年度～令和6年度（3か年）

<事業イメージ>



商談機会の提供



販売機会の提供

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農政課 かがしまの食輸出・ブランド戦略室
 6次産業化支援係 (099-286-2888)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-5）
■ 大隅加工技術研究センター関連事業【継続】

【令和5年度予算額 72,042千円】
 財源（国庫：1,594千円，特定：7,531千円，
 一財：62,917千円）

<対策のポイント>

県産農産物の付加価値を高めるための加工技術や流通・貯蔵技術の研究・開発を推進します。

<政策目標>

県産農林水産物を活用した加工品等の新規商談成立数：50件/5年（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における目標値）

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化，付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 〇 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

県産農産物の付加価値を高めるため，消費者や実需者が求める加工品製造技術の研究・開発を進める。また県産農産物等の販路拡大に資するため，品質（鮮度）保持技術の研究・開発を進める。

2 事業主体

県（一部に受託収入を充当予定）

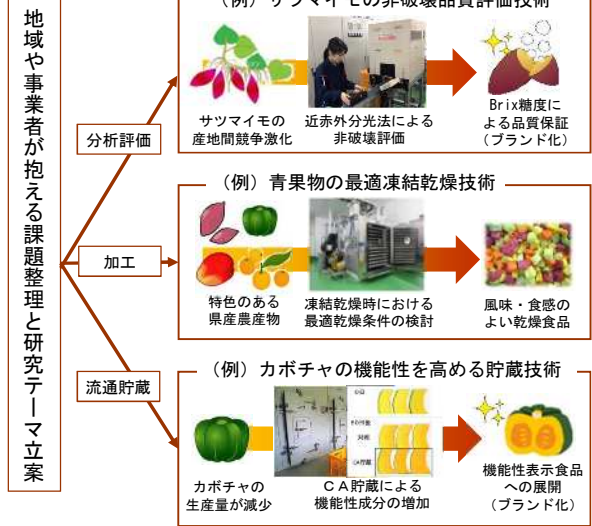
3 事業内容

- (1) 大隅加工技術研究センター運営事業
センターの円滑な運営・管理 【予算額：54,875千円】
- (2) 大隅加工技術研究センター企画調整事業
試験研究成果の広報や普及，指導 【予算額：1,242千円】
- (3) 大隅加工技術研究センター試験研究事業
 - ・ 分析評価，加工，流通貯蔵分野に関わる試験研究
 - ・ 公募型試験研究 【予算額：15,925千円】

4 事業期間

- (1), (2) 平成27年度～
- (3) 令和元～5年度（公募型試験研究は平成27年度～）

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農政課 かごしまの食輸出・ブランド戦略室
 6次産業化支援係（099-286-2888）

9 農業振興に関する施策（9-1）
■ むらづくり活動推進事業
 （むらづくり実践活動支援事業）【継続】

【令和5年度予算額 19,842千円】
 財源：共生・協働の地域社会づくり基金3,079千円
 地方創生推進交付金 763千円
 農山漁村振興交付金16,000千円

【様式7】

<対策のポイント>

農村環境の維持・保全に係る新たな仕組みづくりなどにより，持続可能な農村集落の実践活動を支援します。

<政策目標>

地域共同で保全活動を実施する集落割合：55%（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

1 目的

農村の課題解決に向けて，次代を担うリーダーを育成するとともに，農村集落と多様な主体との連携活動や農村環境の維持・保全に係る新たな仕組みづくりなどの取組を推進し，農村集落の新たな担い手の育成・確保を図る。

2 事業主体

県（10/10），地域協議会（10/10）

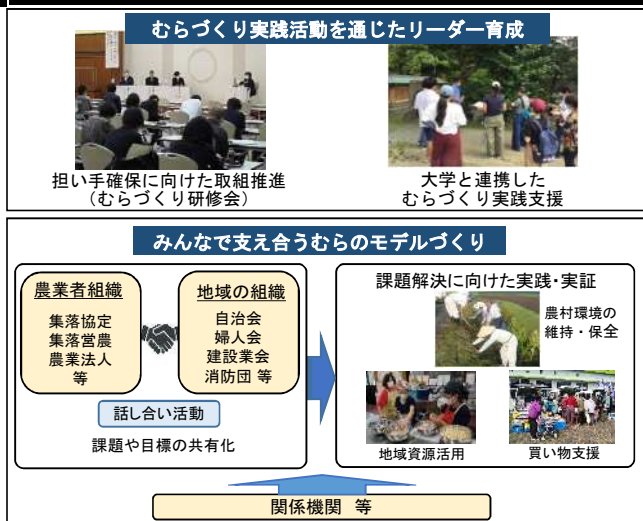
3 事業内容

- (1) 持続可能な農村集落の育成
 - ア むらづくり実践活動を通じたリーダー育成
 - ・ 農村集落の新たな担い手確保に向けた取組の推進
 - ・ 大学と連携したむらづくり実践支援
 - イ みんなで支え合うむらのモデルづくり
 - ・ 農村RMOモデル形成支援
 - ・ 農村RMO伴走支援
- (2) むらづくり活動の波及
 - ア 関係機関との連携
 - イ 優良事例の波及

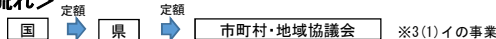
4 事業期間

令和4年度～令和7年度（4か年）

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

9 農業振興に関する施策 (9-1)

【様式7】

■ むらづくり活動推進事業

(活かそう!むらの宝★ビジネス応援事業) 【継続】

【令和5年度予算額 3,705千円】
財源(国庫:1,551千円,一財:2,154千円)

<対策のポイント>

地域資源を活用し、新たな雇用創出につながるコミュニティビジネスに取り組む集落のスタートアップを支援します。

<政策目標>

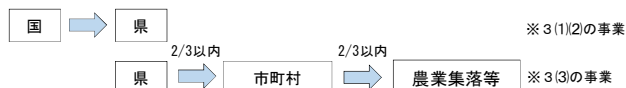
地域共同で保全活動を実施する集落割合:55%('かごしま食と農の県民条例'に基づく基本方針)における令和7年度目標値)

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

- 1 目的
多様な形で農村に関わる人材を確保するため、コミュニティビジネスなど地域資源を活用した農村の新たなしごとづくりを支援する。
- 2 事業主体
県(10/10), 農業集落等(2/3以内)
- 3 事業内容
(1) 計画検討会の開催
(2) 活動報告会の開催
(3) 地域資源を活用したコミュニティビジネスに取り組む集落への支援(補助金:1地区1,000千円以内×3地区)
- 4 事業期間
令和4年度~令和7年度(4カ年)

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】
鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係 (099-286-3108)

【様式7】

9 農業振興に関する施策 (9-1)

■ 中山間ふるさと・水と土保全対策事業 【継続】

(中山間ふるさと・水と土保全対策事業)

【令和5年度予算額 10,908千円】
財源(中山間地域等保全対策基金繰入金:10,908千円)

<対策のポイント>

中山間地域における農地や土地改良施設の利活用を基本とする地域住民活動の多様な展開を促進します。

<政策目標>

大学との連携による保全活動計画作成地区数(令和7年度):17地区

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

- 1 目的
中山間地域において、農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等を促進する。
- 2 事業主体
県(中山間地域等保全対策基金:国1/3, 県2/3)
- 3 事業内容
(1) 調査研究事業
ふるさと探検隊の実施
ふるさと水土里の探検隊の実施 等
(2) 研修事業
施設補修技術研修会
リーダー育成研修会 等
(3) 推進事業
省力化技術普及研修会 等
- 4 事業期間
平成10年度~

<事業イメージ>

ふるさと探検隊(ふるさと水土里の探検隊)の取組

- 地域を複数のコースに分けて集落点検を実施
- 点検結果をもとに集落点検マップを作成し課題等の把握
- 地域住民によるワークショップ活動
 - ・点検マップによる地域資源の評価や課題整理
 - ・課題解決に向けた改善策の検討や保全活動計画の作成



【集落点検】



【課題等の把握】



【地域資源の評価や課題整理】

【お問い合わせ先】
鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係 (099-286-3108)

9 農村振興に関する施策（9-2）

■ 中山間ふるさと・水と土保全対策事業【継続】
（棚田地域等保全対策事業）

【令和5年度予算額 8,993千円】
財源（中山間地域等保全対策基金繰入金：8,993千円）

＜対策のポイント＞

棚田地域等の機能を良好に発揮させるため、農地等の保全・利活用に係る都市住民も交えた継続的な地域住民の共同活動を推進します。

＜政策目標＞

- 指定棚田地域数（令和7年度）：10地域
 ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
 ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

＜事業の内容＞

1 目的

棚田地域において、農地等の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等を促進する。

2 事業主体

県（中山間地域等保全対策基金：国1/3、県2/3）

3 事業内容

- (1) 保全ネットワーク推進事業
 ア 棚田カード、棚田ガイド作成・配布
 イ 棚田パネルの作成・展示
 ウ 棚田セミナーの開催
 エ 棚田地域の魅力発信
 (2) 保全活動推進事業
 ア 保全活動組織に対する助言・指導
 イ 人材育成研修会の開催
 (3) 保全活動支援事業

4 事業期間

平成10年度～

＜事業のイメージ＞

(1) 保全ネットワーク推進事業
都市住民等の保全活動への参加を推進



【棚田カード】

【交流体験】

(2) 保全活動推進事業、(3) 保全活動支援事業
住民組織が行う保全活動を推進、支援



【人材育成研修会】

【里道補修】

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

9 農業振興に関する施策（9-1）

■ 多面的機能支払交付金【継続】

【令和5年度予算額 1,768,223千円】
財源（国庫：1,194,078千円、一財：574,145千円）

＜対策のポイント＞

地域共同で行う、多面的機能を支える活動や農地、水路、農道など地域資源の質的向上を図る活動を支援します。

＜政策目標＞

地域共同で保全活動を実施する集落割合：55%（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
 ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 農業者等で構成される活動組織
（国1/2、県1/4、市町村1/4）
 (2) 県、市町村等（国10/10）

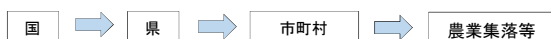
3 事業内容

- (1) 多面的機能支払交付金（図1のとおり）
「農地維持支払」、「資源向上支払」
 (2) 多面的機能支払推進交付金
県、市町村等による事業の推進

4 事業期間

平成26年度～

＜事業の流れ＞



※交付単価は図2のとおり

＜事業イメージ＞

図1



図2

	交付単価 (円/10a)					
	山間農地			中山間農地		
	農地維持支払 (国1/2)	資源向上支払 (県1/4)	多面的機能支払 (国10/10)	農地維持支払 (国1/2)	資源向上支払 (県1/4)	多面的機能支払 (国10/10)
田	3,000	2,400	4,400	2,300	1,920	3,400
畑	2,000	1,440	2,000	1,000	480	600
草地	250	240	400	130	120	400

- ①5年間以上実施した地区は、②に75%単価を適用。
 ※1：②、③の資源向上支払は、①の農地維持支払と併せて取り組むことが必要
 ※2：①、②と併せて③の長寿命化に取り組む場合は、②に75%単価を適用
 ※3：③の長寿命化において、直営地を行わない等の場合は、5/6単価を適用

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

1 県民の農業及び農村に対する理解促進に関する施策 ■ グリーン・ツーリズム農泊推進事業 【継続】

【令和5年度予算額 3,000千円】
財源（国庫：3,000千円）

<対策のポイント>

農泊に取り組む地域の育成や旅行者の安心・安全な受入態勢の整備、地域資源を活用した体験プログラムの企画等を支援します。

<政策目標>

農泊地域の増加（令和5年度）：28地区

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

地域内の飲食店・観光業者等との連携を強化し、旅行者の安心・安全な受入態勢の整備や地域資源を活用した農泊の取組を推進する。

2 事業主体（※負担割合）

県（国10/10）

3 事業内容

- (1) 農泊の推進
 - ア 農泊シンポジウムの開催
 - イ 農泊地域内連携研修会の開催
- (2) 農泊実践者の育成
- (3) 旅行者の安心・安全な受入態勢整備
 - ア 安心・安全な受入態勢整備
 - イ 体験プログラムの企画
- (4) インバウンド等の受入拡大



研修会の開催



農家民宿へのアドバイス



体験プログラム企画のための現地検討

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課むらづくり推進係（099-286-3108）

8 農業災害防止等に関する施策 ■ 鳥獣被害対策推進事業 【継続】 (鳥獣被害対策実践事業)

【令和5年度予算額 800,026千円】
財源（国庫：799,926千円、一財：100千円）

<対策のポイント>

地域関係者が一体となった市町村の被害防止計画に基づく取組を支援します。

<政策目標>

野生鳥獣による農作物被害額を令和3年度被害額以下にする。(R3年度は過去10年間で最も低い被害額：3.33億円)

- ※ ビジョン体系 8 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進、12 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

野生鳥獣による農作物被害の防止・軽減を図るため、「寄せ付けない」、「侵入を防止する」、「個体数を減らす」の3つの取組をソフト・ハード両面から総合的かつ一体的に推進する。

2 事業主体

県（国10/10）、市町村・地域協議会（国10/10、1/2以内）

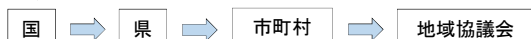
3 事業内容

- (1) 鳥獣被害対策普及啓発活動
 - ア 推進会議の開催：県推進会議、地域推進会議
 - イ 人材育成活動：集落研修、指導者育成研修 等
 - ウ 広域捕獲活動
 - エ 新技術実証・普及活動
 - オ 鳥獣被害防止対策運動
 - カ ジビエ利用拡大：ジビエ活用研修会 等
- (2) 県広域捕獲活動実施
- (3) 鳥獣被害防止活動支援
 - ア 推進事業：実施隊の活動、捕獲機材導入の支援 等
 - イ 緊急捕獲活動支援：捕獲活動経費の支援
 - ウ 整備事業：侵入防止柵等の整備支援

4 事業期間

平成25年度～

<事業の流れ>

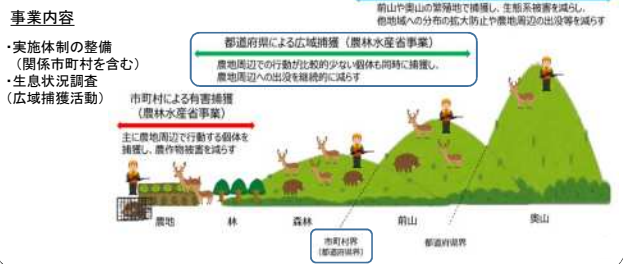


<事業イメージ>

【鳥獣被害対策普及啓発活動・鳥獣被害防止活動支援】

- 【寄せ付けない】
集落研修
住民を対象とした鳥獣の生態や対策を学ぶ講義、実習
- 【侵入を防止する】
侵入防止柵の整備支援
自力施工の場合は資材費を定額支援 等
- 【個体数を減らす】
捕獲活動経費の支援
獣種毎に捕獲活動経費を定額支援

【県広域捕獲活動実施】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課中山間・鳥獣害対策係（099-286-3114）

9 農村振興に関する施策（9-2）

■ 中山間地域等直接支払事業【継続】

【令和5年度予算額 607,156千円】
財源（国庫：402,592千円、一財：204,564千円）

<対策のポイント>

農業生産条件の不利益を補正することにより、将来に向けて農業生産活動を維持するための活動を支援します。

<政策目標>

中山間地域等直接支払の実施集落割合：17%（実施集落数/農地を有する集落数）

※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

中山間地域等における荒廃農地の発生を防止し、農業・農村の多面的機能を確保するため、集落協定に基づき農業者等が行う農業生産活動等を支援する。

2 事業主体

- (1) 市町村（国1/2，県1/4，市町村1/4 等）
- (2) 県，市町村（国1/2）

3 事業内容

- (1) 中山間地域等直接支払交付金
 - ・対象地域：地域振興8法と棚田法等指定地域及び知事が定める特認地域
 - ・対象農用地：急傾斜等生産条件が不利な一団の農用地
 - ・対象者：集落協定等に基づき5年以上継続して耕作を行う農業者等
 - ・交付単価：地目、傾斜度により定額（加算措置あり）
- (2) 中山間地域等直接支払推進交付金
制度の適正かつ円滑な実施に向けた推進体制の強化を支援

4 事業期間

令和2年度～6年度（第5期対策）

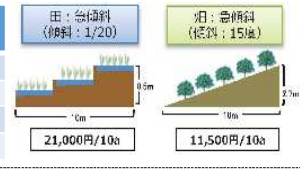
<事業の流れ>



<事業イメージ>

【交付単価】

地目	区分	交付単価 (円/10a)
田	急傾斜(1/20～)	21,000
	緩傾斜(1/100～)	8,000
畑	急傾斜(15度～)	11,500
	緩傾斜(8度～)	3,500



【加算措置】

加算項目（取組目標の設定・達成が必要）	10aあたり単価
棚田地域振興活動加算	
棚田地域振興法に基づく認定棚田地域振興活動計画の対象棚田等（田1/20以上、畑15度以上）の保全と地域の振興を支援（超急傾斜農地管理加算、集落機能強化加算、生産性向上加算との重複は不可）	10,000円 （田・畑）
棚田地域振興活動加算を受ける農地のうち超急傾斜農地（田1/10以上、畑20度以上）（超急傾斜農地管理加算、集落機能強化加算、生産性向上加算との重複は不可）	14,000円 （田・畑）
超急傾斜農地保全管理加算	6,000円 （田・畑）
超急傾斜農地（田1/10以上、畑20度以上）の保全や有効利用を支援	
集落協定広域化加算 【上限額：200万円/年】	3,000円 （地目にかかわらず）
広域で集落協定を締結し、将来の集落維持に向けた活動を支援	
集落機能強化加算 【上限額：200万円/年】	
新に人材の確保、営農以外の組織との連携体制の構築等の取組を支援	
生産性向上加算 【上限額：200万円/年】	
農地の集積・集約や所得向上、省力化技術の導入等の取組を支援	

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課中山間・鳥獣害対策係（099-286-3114）

9 農村振興に関する施策（9-2）

■ 中山間地農業ルネッサンス事業【継続】
（中山間地農業ルネッサンス推進事業）

【令和5年度予算額 8,238千円】
財源（国庫：8,238千円）

<対策のポイント>

中山間地域の特性を活かした活動を支援するとともに、優先枠等を講じた各種支援事業の活用を推進します。

<政策目標>

中山間地域等直接支払の実施集落割合：17%（実施集落数/農地を有する集落数）

※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

中山間地の特色を活かした農業・農村の振興を図るため、県の地域別農業振興計画や市町村の将来ビジョンに基づき地域の創意工夫あふれる取組を支援する。

2 事業主体

県（国10/10）

3 事業内容

- (1) 地域別農業振興計画の支援
- (2) 地域の創意工夫あふれる取組を支援するためのアドバイザーの派遣

4 事業期間

平成29年度～

<事業の流れ>



<事業イメージ>

【地域別農業振興計画に基づく活動への支援】



【主な支援事業（優先枠等）】

- ・強い農業づくり総合支援交付金のうち産地基幹施設等支援タイプ
- ・機構集積協力金交付事業のうち地域集積協力金交付事業
- ・農業農村整備関係事業
- ・集落営農活性化プロジェクト促進事業
- ・持続的生産強化対策事業のうち果樹農業生産力増強総合対策事業（未来型果樹農業等推進条件整備事業）
- ・持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等支援対策
- ・みどりの食料システム戦略推進交付金のうち、バイオマス産地消対策
- ・農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策等）
- ・多面的機能支払交付金
- ・環境保全型農業直接支払交付金
- ・鳥獣被害防止総合対策交付金のうち整備事業
- ・畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち国産飼料資源生産利用拡大対策（放牧活用型持続的畜産生産推進）
- ・森林・山村多面的機能発揮対策交付金

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課中山間・鳥獣害対策係（099-286-3114）

5 農地利用, 基盤整備等に関する施策 (5-1)

■ 農地集積推進事業【継続】
(農地中間管理機構事業)

【令和5年度予算額 307,604千円】
財源(国庫:303,249千円, 一財:4,355千円)

<対策のポイント>

農地中間管理機構を利用して, 長期に渡り安心して農地を借りられる環境を整備します。

<政策目標>

担い手への農地集積率(令和5年度): 90%(農地中間管理事業の推進に関する基本方針における令和5年度目標値)

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的(必要性, 背景)

農地中間管理機構の農地賃料の支払事務費や農地の保全管理費等に要する経費を助成することにより, 担い手へ農地の集積・集約化を進める。

2 事業主体

- (1) 県農地中間管理機構(国7,9.5,10/10, 県3,0.5/10)
- (2),(3) 県農地中間管理機構(国10/10)
- (4) 県(国10/10)

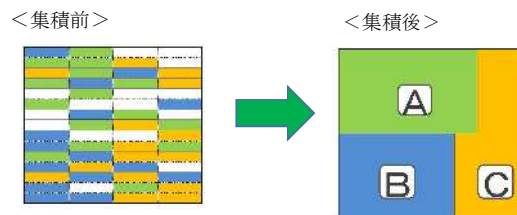
3 事業内容

- (1) 借受農地管理等事業
機構が借り受けた農用地等の賃料及び保全管理費及び研修用農業ハウス設置費等
- (2) 機構事務
機構運営・事業推進費
- (3) 遊休農地解消緊急対策事業
遊休農地の集積等への支援
- (4) 県事務(県の事業推進費)

4 事業期間

平成26年度～

<事業の流れ>



担い手への農地の集積・集約化(イメージ)

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課農地利用推進係(099-286-3109)

5 農地利用, 基盤整備等に関する施策 (5-1)

■ 農地集積推進事業【継続】
(機構集積協力金交付事業)

【令和5年度予算額 264,342千円】
財源(特定:264,342千円)

<対策のポイント>

農地中間管理機構を利用して, 担い手への農地の集積・集約化に取り組む地域や農地の出し手を支援します。

<政策目標>

担い手への農地集積率(令和5年度): 90%(農地中間管理事業の推進に関する基本方針における令和5年度目標値)

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

農地中間管理機構に対し農地を貸し付け集積・集約化に取り組む地域及び個人を支援することにより, 担い手へ農地の集積・集約化を進める。

2 事業主体

- (1),(2),(3) 市町村(国定額)
- (4) 県, 市町村(国定額)

3 事業内容

- (1) 地域集積協力金交付事業
農地を機構に貸し付ける地域への支援
- (2) 集約化奨励金交付事業
農地の集約化に取り組む地域への支援
- (3) 経営転換協力金交付事業
農地を機構に貸し付ける個人への支援
- (4) 機構集積協力金推進事業
市町村及び県の事業推進費

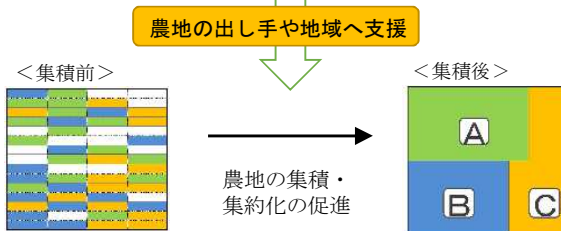
4 事業期間

平成26年度～

<事業の流れ・補助率等>



- 地域集積協力金交付事業
機構に農地を貸し付けて, 担い手への農地の集積又は集約化に取り組む地域に対する協力金
- 集約化奨励金交付事業
機構に農地を貸し付けて, 耕作地の交換等により農地の集約化に取り組む地域に対する協力金
- 経営転換協力金交付事業
経営転換又はリタイアした農業者及び農地の相続人が機構に農地を貸し付けることに対する協力金



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課農地利用推進係(099-286-3109)

5 農地利用，基盤整備等に関する施策（5-1）

■ 農地集積推進事業【継続】
（農地売買支援事業）

【令和5年度予算額 10,362千円】
財源（国庫：6,217千円，一財：4,145千円）

<対策のポイント>

農地中間管理機構が農地を買い入れて担い手に売り渡し，担い手の規模拡大を支援します。

<政策目標>

担い手への農地集積率（令和5年度）：90%（農地中間管理事業の推進に関する基本方針における令和5年度目標値）

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

農地中間管理機構が，規模縮小農家等から農地を買い入れ，担い手に農地を売り渡すことにより，農業経営の規模拡大，農地の集団化などを促進する。

2 事業主体

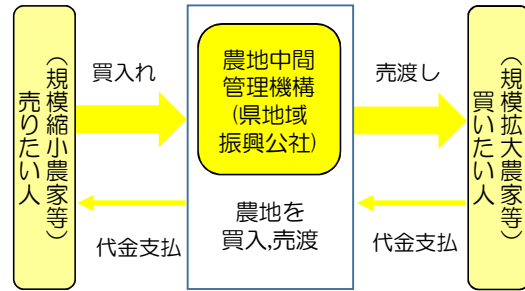
県農地中間管理機構（国 6/10，県4/10）

3 事業内容

機構が行う農用地等の売買業務等に要する経費

4 事業期間

平成26年度～



<事業の流れ・補助率等>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政課農村振興課農地利用推進係（099-286-3109）

5 農地利用，基盤整備等に関する施策（5-1）

■ 農地集積推進事業【継続】
（最適土地利用推進事業）

【令和5年度予算額 672千円】
財源（国庫：672千円）

<対策のポイント>

荒廃農地の解消や低コスト土地利用の支援などにより農地の有効活用を推進します。

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

地域ぐるみの話し合いにより，営農を続け守るべき農地，粗放的利用を行う農地等を区分し，実証的な取組を行いつつ，土地利用構想を作成し，その実現に必要な農用地保全のための活動，基盤整備や周辺環境整備の取組を支援する。

2 事業主体

市町村，農業委員会，JA，土地改良区，農地中間管理機構，地域協議会，地域運営組織（国 10/10，5.5/10等）

3 事業内容

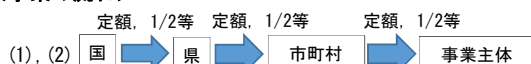
- (1) 最適土地利用総合対策推進事業
土地利用構想の策定及び実現に必要な調査等の取組，実証事業，省力化機械の導入等を支援
- (2) 最適土地利用総合対策整備事業
粗放的利用（放牧，蜜源作物，省力作物等）のための条件整備や農用地保全のための基盤整備及び農業環境整備の取組を支援

4 事業期間

令和3年度～



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政課農村振興課農地利用推進係（099-286-3109）

5 農地利用, 基盤整備等に関する施策 (5-1)
■ 農業委員会・農業委員会ネットワーク機構補助事業【継続】

【令和5年度予算額 453,640千円】
 財源(国庫:431,065千円, 一財:22,575千円)

<対策のポイント>

農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り, 農業の健全な発展に寄与するため, 農業委員会活動の促進を図ります。

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

1 目的

農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り, 農業の健全な発展に寄与するため, 農業委員会活動の促進を図る。

2 事業実施主体

- (1) 市町村
- (2) 県農業委員会ネットワーク機構
- (3) 県

3 事業内容

- (1) 農業委員会費補助事業
 農業委員, 農地利用最適化推進委員の活動経費, 事務局経費 等
- (2) 農業委員会ネットワーク機構費補助事業
 農業委員会の活動の支援, 研修, 連絡調整 等
- (3) 農業委員会等指導事業
 農業委員会, 農業委員会ネットワーク機構に対する助言・指導 等

4 事業期間

昭和26年度～

<事業イメージ>



<事業の流れ・補助率等>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農村振興課農地管理調整係 (099-286-3116)

4 担い手確保・育成に関する施策

■ 農業制度資金利子補給補助事業【継続】
 (農業近代化資金利子補給事業)

【令和5年度予算額 154,779千円】
 財源(一財)

<対策のポイント>

農業近代化資金の融資を農業者が低利で受けられるよう, 融資機関に対し利子補給を行う。

- ※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

1 目的

農協等の民間金融機関に利子補給を行うことで, 意欲と能力を持った農業者等の経営展開に必要な資金の円滑な融通を図り, 農業経営の展開に繋げる。

2 事業主体

県

3 事業内容

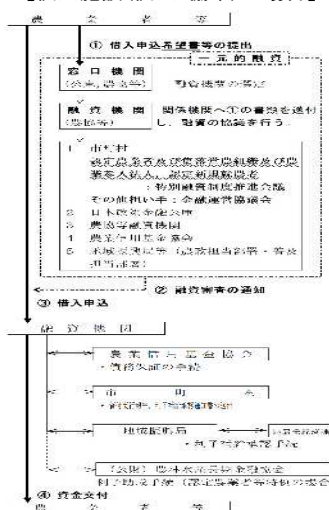
農業近代化資金を融資した融資機関への利子補給

4 事業期間

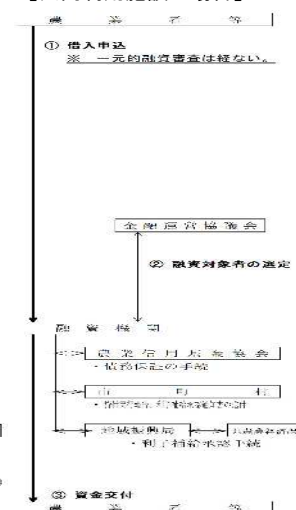
昭和36年度～(継続)

<事業イメージ>

【個人施設(個人・協業)の場合】



【共同利用施設の場合】



<事業の流れ>



(※) 実際には融資機関が代理受領するため, 直接借受者に利子助成金が支払われるものではありません。
 (※※) 認定農業者に対する特例(スーパーL資金並みの貸付利率)とするためのもの

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農業経済課金融係 (099-286-3131)

4 担い手確保・育成に関する施策

■ 農業制度資金利子補給補助事業【継続】
(農業経営負担軽減支援資金利子補給事業)

【令和5年度予算額 3,364千円】
財源(一財:3,345千円, 特定:19千円)

<対策のポイント>

農業経営負担軽減支援資金の融資を農業者が低利で受けられるよう、融資機関に対し利子補給を行う。

※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

1 目的

農協等の民間金融機関に利子補給を行うことで、農業経営の改善を積極的に推進しようとする農業者に対して、経済環境の変化等によって償還が困難となっている既往債務の償還負担の軽減に必要な資金の融通を図る。

2 事業主体

県

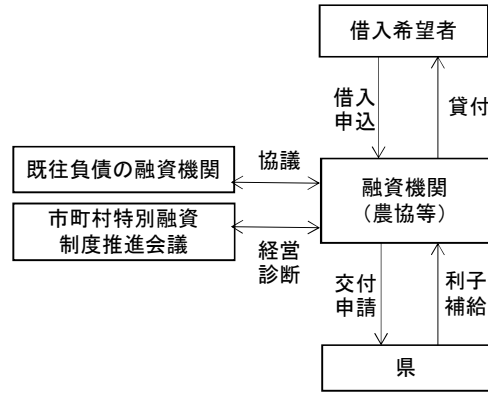
3 事業内容

農業経営負担軽減支援資金を融資した金融機関への利子補給

4 事業期間

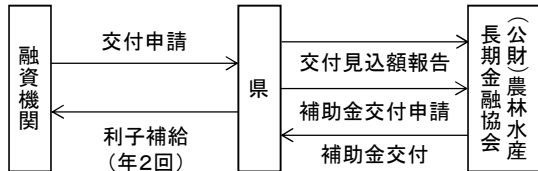
平成13年度～(継続)

<事業イメージ>



<事業の流れ>

○利子助成等補助金事務の流れ



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農業経済課金融係 (099-286-3131)

4 担い手確保・育成に関する施策

■ 農業経営改善促進資金貸付原資造成事業【継続】

【令和5年度予算額 79,500千円】
財源(特定)

<対策のポイント>

農業経営改善促進資金の融資を認定農業者が低利で受けられるよう、農業信用基金協会に低利預託基金を造成する。

※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

1 目的

農業信用基金協会に造成される低利預託基金と農協等の民間金融機関の協調融資により、認定農業者に必要な運転資金を低利で、かつ、円滑に融通する。

2 事業主体

県(全体の負担割合: 県1/2, 農業信用基金協会1/2)

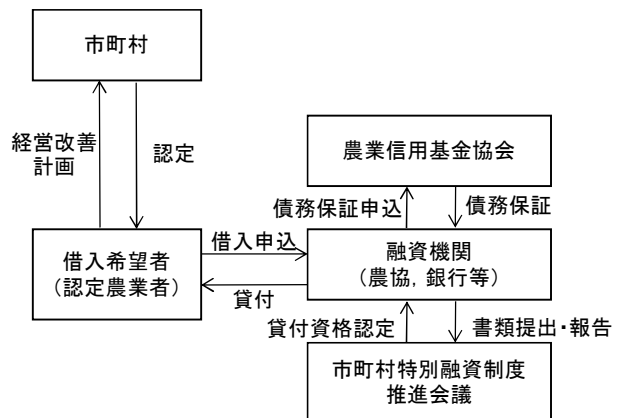
3 事業内容

農業信用基金協会に低利預託基金を造成する。

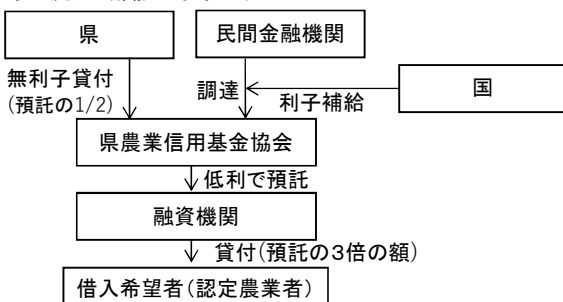
4 事業期間

平成6年度～(継続)

<事業イメージ>



<事業の流れ(預託の仕組み)>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農業経済課金融係 (099-286-3131)

日本政策金融公庫所管

【お問い合わせ先】

(株)日本政策金融公庫 農林水産事業 099-805-0511

農林漁業セーフティネット資金

<事業の内容>

1 目的

意欲と能力がありながら、不慮の災害、経営環境の変化等により、農林漁業経営の維持安定が困難な農林漁業者に対し、経営の維持安定のために必要な長期の運転資金を融資し、よって、効率的かつ安定的な農林漁業経営の育成に資することを目的とする。

2 事業主体

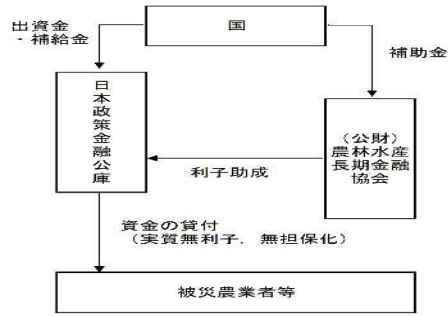
(株)日本政策金融公庫

3 事業内容

自然災害や、社会的・経済的環境変化等一時的な影響に対し、緊急的に対応するために必要な長期資金を日本政策金融公庫等が融資する。

<事業イメージ>

※ 無利子化、無担保化措置の場合



経営体育成強化資金

<事業の内容>

1 目的

意欲と能力を持って農業を営むものに対し、経営展開に必要な前向き投資のための資金と営農負債の償還負担を軽減するための資金を長期低利で融資する。

2 事業主体

(株)日本政策金融公庫

3 事業内容

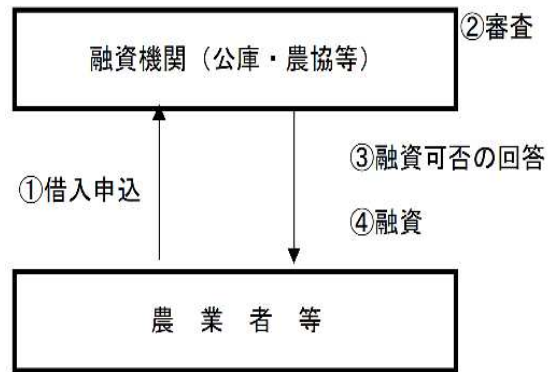
(1) 経営改善に係る資金

認定農業者以外の、主業農業者、認定新規就農者、継続的農地利用者、集落営農組織、農業参入法人等が利用する経営改善のための一般的な資金

(2) 負担軽減に係る資金

認定農業者以外の、主業農業者、認定新規就農者、継続的農地利用者等で、主として制度資金等の償還負担の軽減が必要な農業者に対して融資する資金

<事業イメージ>



日本政策金融公庫所管

【お問い合わせ先】

(株)日本政策金融公庫 農林水産事業 099-805-0511

農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)

<事業の内容>

1 目的

認定農業者に対して、農業経営改善計画に即して規模拡大その他の経営改善を図るために必要な長期低利資金を融資する。

2 事業主体

(株)日本政策金融公庫

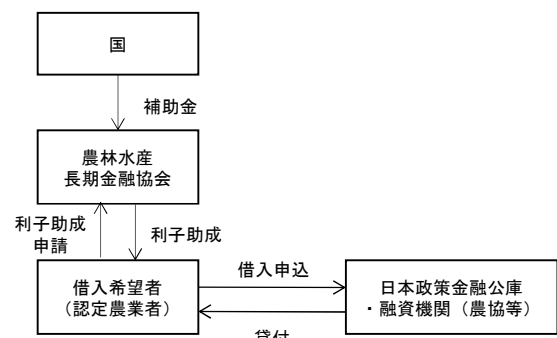
3 事業内容

下記のような農業経営改善計画の達成に必要な長期資金全般を融資する。

- ・ 農地等の取得 ・ 農地等の改良等
- ・ 農業経営用施設・機械等の改良、造成、取得
- ・ 農産物の加工処理・流通販売施設、観光農業施設等の改良、造成、取得
- ・ 借地権、機械等の利用権その他の無形固定資産の取得等
- ・ 家畜・果樹等の導入、農地賃借料の支払その他農業経営の改善を図るのに必要な長期資金
- ・ 農業経営の改善の前提としての経営の安定に必要な長期資金

<事業イメージ>

※公庫直貸の場合



農業改良資金

<事業の内容>

1 目的

国又は県から各種計画の認定を受けた農業者等に対して、新作物や新技術の導入、農畜産物の加工の開始など、チャレンジ性のある取組 (農業改良措置) を実施するために必要な無利子資金を融資する。

2 事業主体

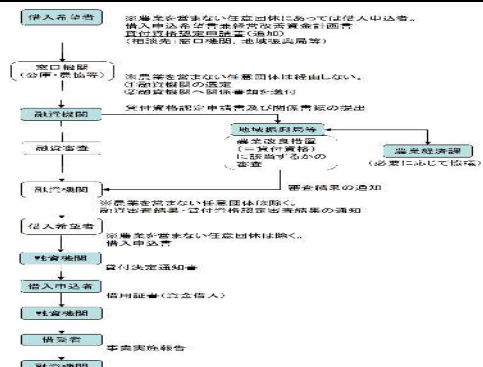
(株)日本政策金融公庫

3 事業内容

下記のような農業改良措置を実施するために必要な資金を融資する。

- ・ 農地等の改良等
- ・ 農業経営用施設・機械等の改良、造成、取得
- ・ 農産物の加工処理・流通販売施設、観光農業施設等の改良、造成、取得
- ・ 借地権、機械等の利用権その他の無形固定資産の取得等
- ・ 家畜・果樹等の導入、農地賃借料の支払その他農業経営の改善を図るのに必要な長期資金

<事業イメージ>



7 生産性向上に関する施策（7-1, 2）

■「稼ぐ力」を向上するスマート農業導入促進事業【新規】

【令和5年度当初予算額 22,531千円】
財源（一財：22,531千円）

<対策のポイント>

ロボット技術やIoT、AI等を活用して、労働力不足の解消や、超省力・高品質生産等を可能にするスマート農業を推進するため、農業者の理解促進や体制づくり、現地における技術実証活動等の実装化に向けた取組を支援する。

<政策目標>

令和6年度までのスマート農業技術の導入件数：1,200件（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における令和6年度目標値）

※対象となるスマート農業技術：農業用ドローン、施設園芸環境制御技術、畜産の発情発見・分娩監視システム

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

スマート農業の導入を促進するため、農業者の更なる理解促進やデータを活用した農業の実践を支援する人材育成を図るとともに、ハイテクを取り入れた技術開発支援や現地での実証活動等の実装化に向けた取組を推進します。

2 事業主体

県、協議会

3 事業内容

- (1) 農業者の理解促進 【予算額：3,759千円】
 - ・地域特性に応じたスマート農業研修会の開催
 - ・かごしまスマートアグリファーマー育成セミナーの開催
- (2) 体制づくり 【予算額：4,072千円】
 - ・スマート農業人材育成セミナーの開催
 - ・地域特産品目対応の先端技術開発支援
 - ・かごしまスマート農業技術開発プロジェクト
- (3) 実装に向けた取組展開 【予算額：14,700千円】
 - ・スマート・ビレッジ「モデル産地」育成実証活動の実施
 - ・県内各地における実証活動の支援 等

4 事業期間

令和5～6年度（2か年）

<事業の流れ>



(3)の一部 協議会等 (1),(2),(3)の一部は県実施

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係 (099-286-3148)

7 生産性向上に関する施策（7-2）

■ 普及活動事業【継続】

【令和5年度予算額 51,402千円】
財源（国庫：45,863千円、一財：5,539千円）

<対策のポイント>

開発技術の迅速な普及・定着や担い手の経営発展のため、普及指導員が関係機関等と連携し、農業者の高度で多様なニーズ及び地域農業の技術・経営に関する課題等に的確に対応した普及指導活動を展開する。

※ 未来創造ビジョン体系 XIII 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

技術の迅速な普及・定着や担い手の経営発展のため、普及指導員が関係機関等と連携し、農業のニーズ及び地域課題等に的確に対応した普及指導活動を展開する。

2 事業主体

県

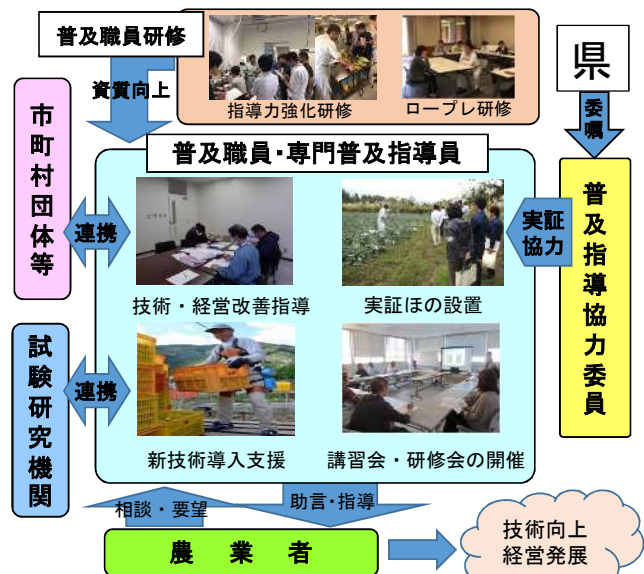
3 事業内容

- (1) 普及職員研修事業 【予算額：3,963千円】
 - 実践・専門指導力強化研修、企画・運営能力強化研修 等
- (2) 普及活動事業 【予算額：47,054千円】
 - 農業者等への情報提供、巡回指導及び相談、実証ほの設置、講習会・研修会の開催、調査研究の実施 等
- (3) 普及指導協力委員活動事業 【予算額：385千円】
 - 普及指導協力委員の委嘱、実証試験への協力 等

4 事業期間

昭和23年～（継続）

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係 (099-286-3148)

7 生産性の向上に関する施策（7-1）
■ 新産地育成普及活動事業【継続】

【令和5年度予算額 142千円】
 財源（国庫：142千円）

<対策のポイント>

生産者及び実需者をはじめとする関係者が連携して、新品種・新技術の評価等を行うとともに、産地・実需者等とのマッチングを行うことで、ポストコロナに対応した産地づくりの取組を支援する。

<政策目標>

新品種・新技術の導入を各地で実現

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

有効活用されていない品種・技術や新たに開発された品種・技術等について、特徴や有効性の評価、生産者・実需者をはじめとする関係者のコーディネートを行うことにより、「強み」のある産地形成を図る。

2 事業主体

県

3 事業内容

【予算額：142千円】

- (1) **新品種・新技術等の特性把握**
 品種・技術の特性把握、産地・実需者の意向・ニーズ調査、産地・実需者等のマッチング活動
- (2) **産地・実需者等の連携による実証等を通じた生産技術の確立**
 適応性試験、生産性向上・経営改善効果分析等
- (3) **新品種・新技術の普及等に関する手引きの作成**

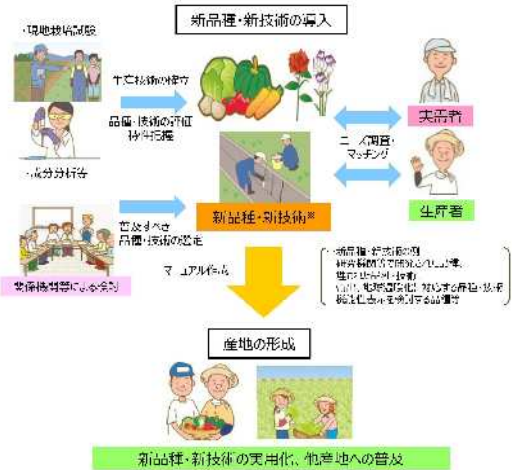
4 事業期間

平成26年度～

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係（099-286-3148）

7 生産性向上に関する施策（7-1）
■ 「稼ぐ力」を引き出す大規模畑かん営農展開推進事業【継続】

【令和5年度予算額 1,287千円】
 財源（一財：1,287千円）

<対策のポイント>

大規模畑かんががい施設整備事業地区において、水利用の理解促進、畑かん営農を担う経営体等の育成、畑かんを活用した多様な産地育成などの取組により、通水後の円滑な畑かん営農の定着を図る。

<政策目標>

地域ごとの畑かんががい営農ビジョンに位置づけた推進品目の面積拡大

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

大規模畑かんががい施設整備事業地区で、各地区ごとに策定された畑かん営農ビジョンに基づく推進活動等により、通水後の円滑な畑かん営農の定着に向けた支援を行う。

2 事業主体

県、農業者組織

3 事業内容

- (1) 水利用（畑かん営農）の理解促進
- (2) 畑かん営農を担う経営体等の育成
- (3) 畑かんを活用した多様な産地育成

4 事業期間

令和4～8年度（5か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>



畑かん利用技術の実証・展示



散水器具取扱研修会の開催

水利用技術・効果の波及

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係（099-286-3148）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-3）

■ キラリ輝く☆女性農業者応援事業【新規】

【令和5年度予算額 4,975千円】

財源（国庫：2,873千円，一財：2,102千円）

＜対策のポイント＞

女性の農業経営や地域農業への積極的な参画を促進するため、研修会等を通じたリーダー育成や女性目線で農業の魅力を紹介する取組等を支援する。

＜政策目標＞

令和9年度末における女性農業経営士認定者数：550人（鹿児島県男女共同参画基本計画における令和9年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 XIII 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

基幹的農業従事者の約4割を占める女性農業者の農業経営や地域農業への積極的な参画を促進するため、研修会等を通じたリーダー育成や女性目線で農業の魅力を紹介する取組等を支援し、女性農業者の活躍を推進する。

2 事業主体

県，女性農業者等

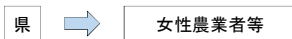
3 事業内容

- (1) 次世代女性リーダー確保・育成【予算額：4,030千円】
スキルアップ講座，海外研修，活躍事例の情報発信等
- (2) 女性農業者が農業経営や地域づくりに積極的に参画できる環境づくり【予算額：345千円】
女性農業経営士養成及び認定，農林漁業連携研修会等
- (3) 女性農業者グループ等の活動支援【予算額：600千円】
異業種と連携した活動支援，資質向上研修等

4 事業期間

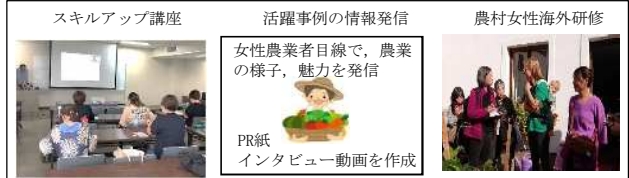
令和5～7年度（3か年）

＜事業の流れ＞

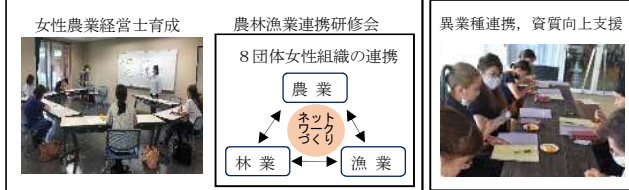


＜事業イメージ＞

次世代女性リーダー育成（人材育成）



女性が積極的に参画できる環境づくり 女性農業者グループ活動支援



女性農業者の活躍拡大，そして農業の魅力を次世代に伝える！

地域の核となるキラリ輝く☆女性農業者の育成

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係（099-286-3148）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1，2，5）

■ 担い手育成推進事業【継続】

【令和5年度予算額 119,970千円】

財源（国庫：119,648千円，一財：322千円）

＜対策のポイント＞

認定農業者や集落営農組織など担い手等の確保・育成を図るため，農業用機械・施設の導入などを支援する。

＜政策目標＞

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

認定農業者や集落営農などの担い手確保と農業所得の向上を図る。

2 事業主体

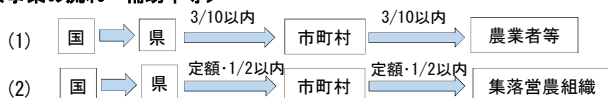
県，市町村，集落営農組織，農業者等

3 事業内容

- (1) 農地利用効率化等支援事業【予算額：93,910千円】
地域計画のうち目標地図に位置づけられた者等が，経営改善に必要な農業用機械等を導入する取組を支援
- (2) 集落営農活性化プロジェクト促進事業【予算額：25,773千円】
集落の将来ビジョンづくりと，実現のために必要な共同利用機械等を導入する取組を支援
- (3) 担い手農家育成研修事業【予算額：89千円】
農林漁業関係団体への人権問題に関する啓発推進
- (4) 担い手農家台帳管理システム保守管理事業【予算額：198千円】
担い手の支援状況等を管理するシステムの保守管理（委託）

4 事業期間 令和3～5年度（3か年）

＜事業の流れ・補助率等＞



＜事業イメージ＞

【農地利用効率化等支援事業】



【集落営農活性化プロジェクト促進事業】



担い手の確保・育成

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係（099-286-3152）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1, 2, 5）

【令和5年度予算額 3,899千円】
財源（一財：3,899千円）

■ 農業人材確保対策事業【継続】

<対策のポイント>

「鹿児島県農業労働力支援センター」において、人材確保や労力軽減に関する相談対応や情報の収集・提供等の活動、外国人材の確保に係る情報収集・提供等を行う。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）
※ 未来創造ビジョン体系 XIII 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業分野における安定的な労働力の確保を図るため、県農業労働力支援センターにおいて、農業法人等の労働力確保に係る相談対応や情報収集・提供、国内労働力の掘り起こし等を行う。

2 事業主体

県農業労働力支援センター、県

3 事業内容

- (1) 県農業労働力支援センターの運営【予算額：3,799千円】
- ・ 求人・求職者のマッチングに向けた支援
 - ・ 国内人材の掘り起こし
 - ・ 労働力確保に関する相談対応及び情報収集等
- (2) 労働力確保対策の検討・推進【予算額：100千円】
- ・ 地域における労働力確保の仕組みづくり

4 事業期間

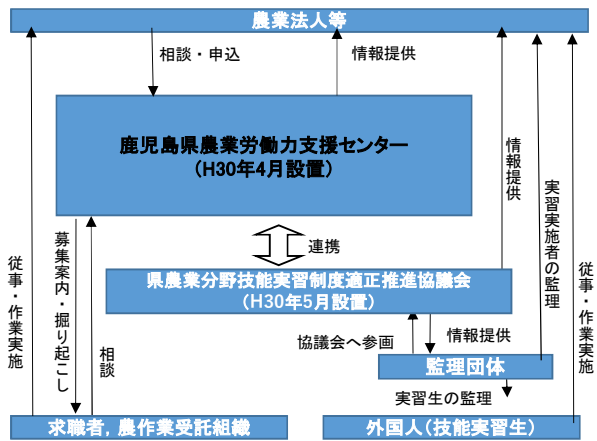
令和3～5年度（3か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

【農業労働力確保に係る支援体制】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係 (099-286-3152)

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1, 2, 5）

【令和5年度予算額 2,322千円】
財源（国庫：1,541千円、一財：781千円）

■ 農福連携推進事業【新規】

<対策のポイント>

農福連携の取組に対する理解促進を図るとともに、農福連携を実践・支援する人材の育成、地域における連携体制の整備などにより、農業分野における農福連携の取組を推進する。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）
※ 未来創造ビジョン体系 XIII 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業分野における農福連携の取組を推進し、障害者の農業への参画を促進する。

2 事業主体

県、農業者等

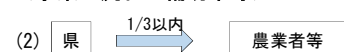
3 事業内容

- (1) 農福連携の制度の周知や理解促進 【予算額：400千円】
農福連携の取組を「知る」「見る」「体験する」場の設置
- (2) 農福連携を実践・支援する人材の育成【予算額：1,841千円】
実践手法等をアドバイスする人材育成研修会の開催
農福連携技術支援者の育成
- (3) 地域における連携体制の整備 【予算額：81千円】
地域の農業・福祉関係者による課題の検討等

4 事業期間

令和5～7年度（3か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係 (099-286-3152)

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1, 2, 5）

■ 農業分野外国人材確保推進事業【継続】

【令和5年度予算額 2,031千円】
財源（一財：2,031千円）

<対策のポイント>

農業分野における外国人技能実習制度及び特定技能制度の適正な実施を図るため、制度の普及・啓発活動を進める。また、就業・生活環境を改善する取組を支援し、本県で活躍する外国人材の確保を図り、農業分野における労働力を確保する。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 XIII 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業分野における外国人技能実習制度の普及・啓発活動等の実施や、外国人材の就業・生活環境を改善するモデル的な取組を支援する。

2 事業主体

県、県農業分野技能実習制度適正推進協議会、農業法人等

3 事業内容

(1) 県農業分野技能実習制度適正推進協議会の運営

【予算額：295千円】

- ・ 研修会や意見交換会の開催等

(2) 農業技能実習事業協議会鹿児島県支部の運営

【予算額：336千円】

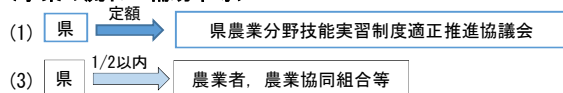
- ・ 農作業請負方式技能実習制度のガイドラインに基づく計画の確認、現地検査等

(3) 外国人材受入環境整備モデル事業【予算額：1,400千円】

- ・ 外国人材の就業・生活環境を改善する取組を支援

4 事業期間 令和4～6年度（3か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

【県農業分野技能実習制度適正推進協議会】

- 構成機関等
監理団体、農業団体、県

- 主な内容
・ 研修会や意見交換会の開催
・ 農業法人等からの相談対応等



【農業技能実習事業協議会鹿児島県支部】

- 構成機関等
県、九州農政局、農業団体

- 主な内容
・ 農作業請負方式技能実習に係る計画等の確認
・ 技能実習の実施状況の現地確認等



【外国人材受入環境整備モデルづくり】

- 取り組める主な内容
・ スキルアップ支援(資格取得やセミナー開催)
・ 生活環境の改善(個室環境整備など)
・ 就業環境の改善(ほ場トイレ設置など)
・ その他外国人材の定着に資する取組



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係（099-286-3152）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1, 2, 5）

■ かごしまの農業経営・就農支援事業【新規】

【令和5年度予算額 33,759千円】
財源（国庫：12,905千円、特定：3,416千円、一財：17,438千円）

<対策のポイント>

就農・就業希望者への相談対応や第三者への経営継承などの就農支援のほか、農業経営の法人化や経営改革ビジネスプランの作成など、経営発展段階に応じた支援を行う。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

「農業経営・就農支援センター」を中心とした支援体制を整備し、担い手の確保・育成を図る。

2 事業主体 県、民間団体等

3 事業内容

(1) 就農支援事業 【予算額：12,313千円】

就農・就業希望者への相談対応や第三者への経営継承を支援するとともに、就農後の体系的研修や現地就農トレーナーによる助言・指導等を行う。

(2) 農業経営発展支援事業 【予算額：16,652千円】

生産技術や経営管理能力の向上支援、農業経営の法人化など経営発展段階に応じた課題解決を支援する。

(3) 農業経営イノベーション事業 【予算額：4,794千円】

経営改革のための取組を支援し、農業経営の発展と地域農業の維持・発展を両立する企業的農業法人を育成する。

4 事業期間 令和5～9年度（5か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

農業経営・就農支援センターを中心とした経営発展段階に応じた支援



【お問い合わせ先】

- (1) 鹿児島県農政部 経営技術課 就農対策係（099-286-3160）
- (2)(3) 鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係（099-286-3152）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1, 2, 5）

■ 地域計画推進支援事業【新規】

【令和5年度予算額 83,231千円】
財源（国庫：83,231千円）

<対策のポイント>

農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、農業者等による話し合いを踏まえ、地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した「地域計画」の策定に必要な取組を支援する。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）
※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

地域農業の現状や課題を共有し、将来の在り方や農地集約の方向性等の検討と、それらを示した計画の作成、実現に向けた取組を推進する。

2 事業主体

県、市町村、農業委員会

3 事業内容

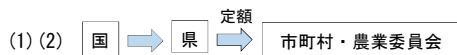
【予算額：83,231千円】

- (1) 地域計画策定に向けた取組
協議の場の設置等地域計画策定に向けた取組を推進
- (2) 目標地図素案作成に向けた取組
目標地図素案作成に向けた取組を推進
- (3) 地域計画の普及・推進
地域計画推進研修会の開催など

4 事業期間

令和5年度～

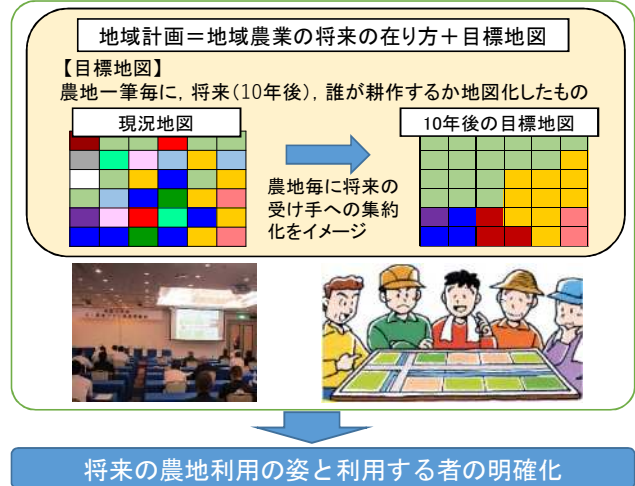
<事業の流れ・補助率等>



【お問い合わせ先】

市町村：鹿児島県農政部 経営技術課 経営体育成係（099-286-3152）
農業委員会：鹿児島県農政部 農村振興課 農地利用推進係（099-286-3109）

<事業イメージ>



4 担い手確保・育成に関する施策（4-2）

■ 農業次世代人材投資事業【継続】

【令和5年度予算額 770,915千円】
財源（国庫：770,915千円）

<対策のポイント>

新規就農者を確保・育成するため、次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修段階及び就農直後の経営確立に資する資金を交付する。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）
※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業就業人口が減少する中、本県の基幹産業である農業を持続的に発展させるため、新規就農者の確保・育成を図る。

2 事業主体

県、市町村

3 事業内容

- (1) 農業次世代人材投資事業 【予算額：334,015千円】
令和3年度までに新規採択された者が対象
- (2) 新規就農者育成総合対策事業 【予算額：436,900千円】
令和4年度の新規採択者が対象

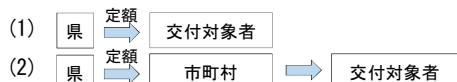
<準備型（就農準備資金）>（年間最大150万円/人）
県立農業大学校・農業公社等の研修機関で研修を受ける者に対して資金を交付

<経営開始型（経営開始資金）>（年間最大150万円/人）
市町村の地域計画、人・農地プランに位置付けされている（見込みを含む）原則50歳未満の独立・自営就農者に対して資金を交付

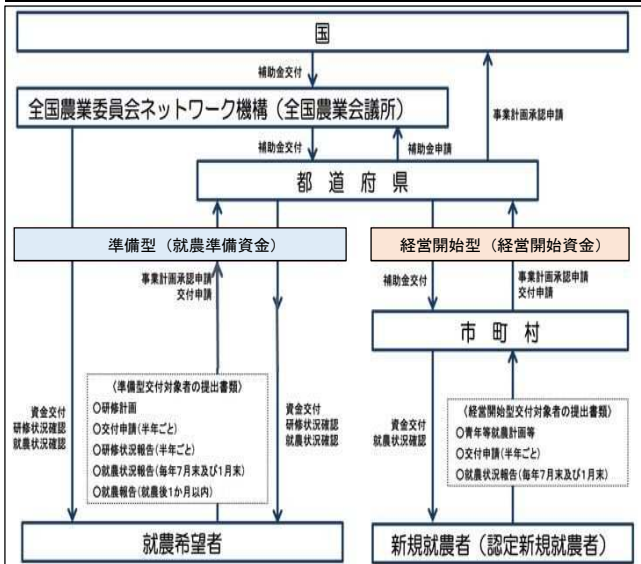
4 事業期間

平成24年度～

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 就農対策係（099-286-3160）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 特殊病害虫対策事業【継続】

【令和5年度予算額 484,221千円】
財源（国庫：480,066 一財：4,155）

<対策のポイント>

ミカンコミバエやアリモドキゾウムシなどの特殊病害虫のまん延防止を図るため、未発生地域における侵入警戒調査を行うとともに、喜界島におけるアリモドキゾウムシや徳之島以南のカンキツグリーンング病の根絶に向けた防除を実施する。

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

ミカンコミバエやアリモドキゾウムシ等の特殊病害虫の未発生地域におけるまん延防止，発生地域における根絶を図る。

2 事業主体 県

3 主な事業内容

- (1) リミバエ等調査事業 【予算額：151,972千円】
ミカンコミバエやアリモドキゾウムシ等特殊病害虫の未発生地域における侵入警戒調査を実施するとともに，侵入が確認された場合には，速やかに初動対応を実施
- (2) アリモドキゾウムシ根絶事業 【予算額：238,041千円】
喜界島での根絶に向け，不妊虫放飼と密度抑圧防除を実施
- (3) アリモドキゾウムシ防除施設整備事業 【予算額：36,582千円】
喜界島でのアリモドキゾウムシの根絶に不可欠な不妊虫生産のための施設の整備・更新を実施
- (4) カンキツグリーンング病緊急対策事業 【予算額：57,475千円】
奄美群島において，発生調査や媒介虫（ミカンキジラミ）の防除を実施。発生地域では，感染樹の伐採処分を実施
- (5) プラムボックスウイルス侵入警戒調査事業 【予算額：151千円】
県内におけるプラムボックスウイルスの侵入警戒調査を実施

4 負担割合

- (1)，(2)，(4)，(5)：国10/10
- (3)：国9/10以内，県1/10

<事業イメージ>

【侵入警戒調査や防除対策を実施している主な病害虫】



ミカンコミバエ



アリモドキゾウムシ



ミカンキジラミ
(カンキツグリーンング病の媒介虫)



カンキツグリーンング病



イモゾウムシ

※ この他、アフリカマイマイ、プラムボックスウイルスなどの侵入警戒調査を実施

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 技術環境係 (099-286-3155)

■ 農作業事故防止対策推進事業【継続】

【令和5年度予算額 235千円】
財源（一財：235千円）

<対策のポイント>

地域ぐるみの農作業安全意識の醸成及び農作業安全対策を推進し，農作業事故防止を図る。

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業の機械化や高齢化が進展する中で，農作業事故は，県内で毎年13件程度の死亡事故が発生している状況にある。安定した農業経営を継続するため，地域ぐるみの農作業安全意識の醸成及び総合的な農作業安全対策を推進する。

2 事業主体 県

3 事業内容

- (1) 農作業事故実態調査
- (2) 農作業事故防止の啓発
- (3) 農作業安全対策研修会の開催
- (4) 地域農作業安全体制の推進

4 事業期間

令和3～7年度（5か年）

5 KPI（アウトカム指標）

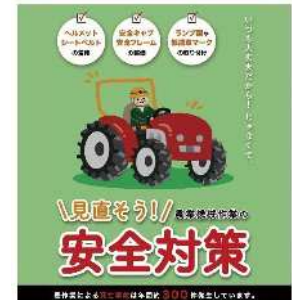
令和2年比で，令和7年の事故件数を半減

<事業イメージ>

○ 農作業安全研修会



○ 農作業事故防止の啓発



「見直そう！」農作業事故防止の
安全対策

目標とするには、今年度、300軒以上を目標とする。

令和4年 春の農作業安全運動 開催中！

開催期 令和4年4月1日～5月31日

鹿児島県・鹿児島県農業機械運搬協会

鹿児島県農業機械士連絡協議会

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 技術環境係 (099-286-3155)

7 生産性向上に関する施策（7-1）

■ 農業開発総合センター大隅支場移転・集約整備事業【新規】

【令和5年度予算額 268,660千円】
財源（県債：151,000千円，
一財：117,660千円）

<対策のポイント>

農業開発総合センターにおける研究の効率化・高度化・総合化の一環として、大隅支場園芸作物研究室と環境研究室の吹上・金峰地区への移転、大隅支場の加工業務用野菜と農薬登録に係る研究機能は大隅加工技術研究センターに集約し、整備を進める。

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業開発総合センター大隅支場の園芸作物研究室と環境研究室を吹上・金峰地区へ移転・集約するとともに、大隅支場の一部機能を大隅加工技術研究センターに集約することにより、研究の効率化、高度化、総合化を図る。

大隅支場園芸作物研究室と環境研究室の移転・移設や施設・設備、試験ほ場の整備等を進める。

2 事業主体

県

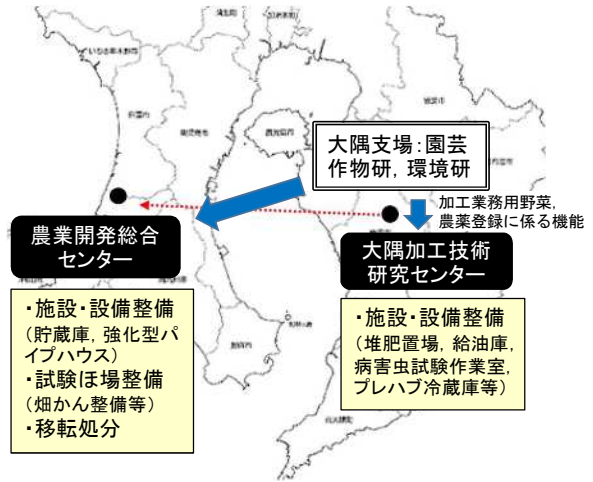
3 事業内容

- (1) 施設・設備整備
- (2) 試験ほ場整備
- (3) 移転処分
- (4) 整備事務

4 事業期間

令和5年度

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課
技術環境係（099-286-3155）

7 生産性向上に関する施策（7-1）

■ 試験研究事業【継続・事項新規】

【令和5年度予算額 284,122千円】

財源（特定：226,904千円，一財：57,218千円）
（県単独試験事業，県単試験研究事業，公募型試験研究事業）

<対策のポイント>

農畜産物の生産性を高め、農家所得の向上を図るため、優良品種・優良種畜の育成・造成や新技術の開発を進める。

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

生産力強化やスマート農業の実現、農産物の高付加価値化、持続可能な農業の推進、新たな品種及び新技術の開発を進め、農畜産物の生産性を高めて農家所得の向上を図る。

2 事業主体

県（農業開発総合センター）

3 事業内容

農業試験研究推進構想の4つの基本テーマに基づき、134の研究課題を実施

- ・「稼ぐ力」を引き出す輸出品目の生産技術等の確立
- ・スマート農業拠点施設を活用した次世代技術開発
- ・多様な用途に適応する「かごしま抹茶」の生産・加工技術の確立
- ・種雄牛造成の効率化を目指した胚操作技術の改良
- ・第5系統豚造成試験 等

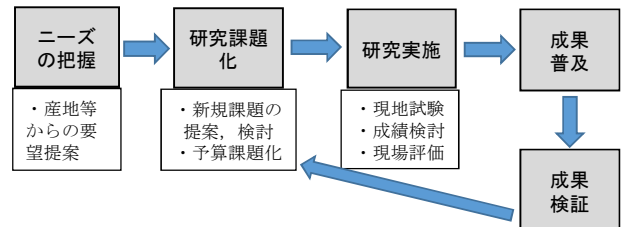
4 事業期間

研究課題毎に複数年（主に3～5年）

5 KPI（アウトカム指標）

試験研究の着実な推進

<事業イメージ>



「かごしま黒豚」の第5系統豚造成



スマート農業技術開発（高性能ドローン）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 技術環境係（099-286-3155）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

【令和5年度予算額 8,140千円】
財源（国庫：7,019千円，
一財：1,121千円）

■ 環境と調和した防除推進事業（うち、病虫害発生予察事業）【継続】

＜対策のポイント＞

巡回調査等に基づく適期・的確な発生予察情報の提供や病虫害検定等を行うとともに、難防除病虫害の防除等の開発を行う。

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

環境と調和した病虫害防除を推進するため、巡回調査等に基づく適期・的確な発生予察情報の提供や病虫害検定等を行うとともに、難防除病虫害の防除等の開発を行う。

2 事業主体

- (1) 国：定額， (2) 県：10/10
- (3) 国：定額， (4) 国：1/2， 県：1/2

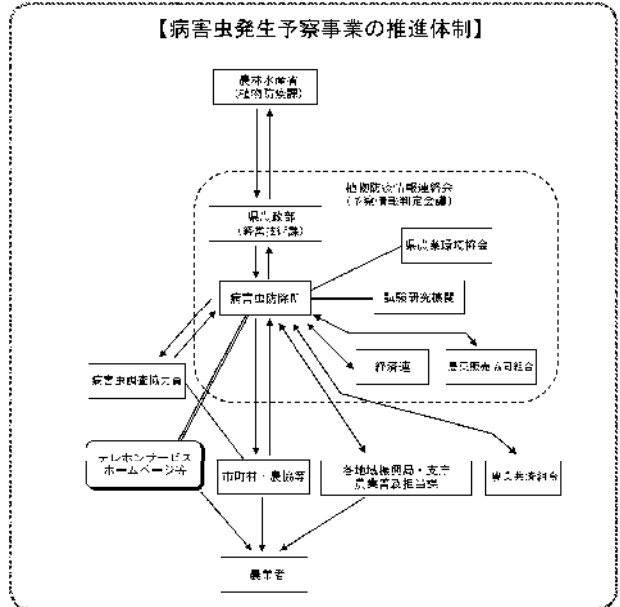
3 主な事業内容 【予算額：8,140千円】

- (1) 指定病虫害の発生予察情報の提供
指定有害動植物の発生予察に係る発生予察調査を実施
- (2) 指定外病虫害の発生予察情報の提供
指定外病虫害の発生予察に係る発生予察調査を実施
- (3) 発生予察情報に係る検定の実施
指定有害動植物の発生予察に係る検定等の実施
- (4) 難防除病虫害の予察技術・防除技術の開発

4 KPI（アウトカム指標）

病虫害発生予察情報の提供回数 年12回

＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 技術環境係 (099-286-3155)

7 生産性向上に関する施策（7-3）

【令和4年度3月補正予算額 8,250千円】
財源（国庫：8,250千円）

■ 病虫害侵入調査・発生予察用モニタリングシステム整備事業【新規】

＜対策のポイント＞

アリモドキゾウムシ、ミカンコミバエなど、国外等から県内に侵入した病虫害のまん延を防止するためには、発生時の速やかな初動対応が重要であることから、発生予察の精度向上が求められている。

※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

精緻かつ省力的な病虫害調査機器の整備を行い、調査業務を効果的・効率的に実施することで、侵入病虫害の早期発見及び発生予察調査の精度向上を図る。

2 事業主体

県（国：10/10）

3 主な事業内容 【予算額：8,250千円】

侵入調査の強化に資する機器の整備

- (1) スマート害虫モニタリングシステム
太陽光パネルによる独立電源を有し、害虫のカウントやデータの送信により、害虫の侵入調査を自動で行う機器
- (2) 自動撮影IoTカメラ
フェロモントラップへ誘引された害虫の自動撮影を行う機器

4 KPI（アウトカム指標）

病虫害の侵入・まん延防止

＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 技術環境係 (099-286-3155)

■ 環境と調和した農業推進事業【継続】
(環境保全型農業直接支援対策事業)

【令和5年度予算額 97,753千円】
財源 (国庫65,749千円, 一財32,004千円)

<対策のポイント>

農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るとともに、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、農業生産に由来する環境負荷を軽減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援する。

<事業の内容>

- 1 目的 (必要性, 背景)**
農業の有する多面的機能の発揮の促進を図るため、自然環境の保全に資する農業生産活動を支援する。
- 2 事業主体**
農業者の組織する団体等
(国1/2, 県1/4, 市町村1/4)
- 3 事業内容** 【予算額 97,753千円】
農業者の組織する団体等が化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援
- 4 事業期間**
令和2年～

<事業イメージ>

対象取組		交付単価 (円/10a)
有機農業	そば等雑穀・飼料作物以外	12,000
	うち、炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合に限り、2千円を加算	
	そば等雑穀・飼料作物	3,000
カバークロープ		6,000
堆肥の施用		4,400
リビングマルチ (うち小麦・大麦等)		5,400 (3,200)
取組拡大加算		4,000



有機農業

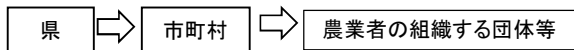


堆肥の施用



カバークロープ

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 生産環境係 (099-286-2891)

■ 環境と調和した農業推進事業【継続】
(土づくり展開事業)

【令和5年度予算額 10,000千円】
財源 (全額国庫)

<対策のポイント>

牛ふん等の堆肥の施用による土づくり効果の実証を通じて、堆肥による継続的な土づくりの取り組みを推進し、農業の生産基盤として不可欠な農地・土壌の生産力の維持・増進を図る。

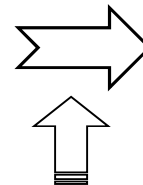
<事業の内容>

- 1 目的 (必要性, 背景)**
県内の地力の低下が懸念されるほ場・品目について、堆肥施用等の実証に取り組むとともに、その効果を検証し、継続的な堆肥施用等による土づくりの展開を図る。
- 2 事業主体**
農業者の組織する団体等 (取組主体)
- 3 事業内容** 【予算額 10,000千円】
(1) 堆肥等の実証的な活用に向けた実証ほの設置
(2) 堆肥等の実証的な活用の効果確認のための土壌及び作物体の分析
(3) (1)及び(2)の取組の効果的な推進に必要な指導及び検討会開催等の取組
- 4 事業期間**
令和2年～

<事業イメージ>



地力低下による
生育不良



地力向上による
産地の維持・拡大

継続的な堆肥施用による土づくりの展開



(実証ほの設置)

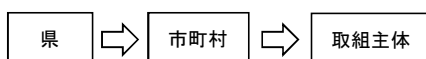


(土壌の分析)



(検討会の開催)

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 生産環境係 (099-286-2891)

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策
■ 環境と調和した防除推進事業【継続】
 (農薬適正使用推進事業)

【令和5年度予算額 2,056千円】
 財源(国:1,028千円, 一財:1,028千円)

<対策のポイント>

安心・安全な農産物供給のため、農薬取締法に則った農薬の適正使用とマイナー作物等の農薬登録を促進する。

<事業の内容>

1 目的(必要性、背景)

県産農産物の安心・安全の確保と環境への負荷をできるだけ軽減し、環境と調和した病害虫防除を徹底させるため、農薬の適正使用を推進する。

2 事業主体
 県

3 事業内容 【予算額:2,056千円】

- (1) 農薬適正使用等の指導
- (2) 農薬適正使用研修会の開催
- (3) 農薬指導士の養成
- (4) マイナー作物等の農薬登録促進

4 事業期間

昭和46年度～

<事業イメージ>

<課題>

地域における農薬の
 適正使用・管理等の
 推進

<事業内容>

農薬危害防止運動
 ・研修会、講習会、啓発活動
 ・記帳指導



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 生産環境係 (099-286-2891)

■ **みどりの食料システム戦略推進総合対策事業【継続】**

【令和5年度予算額 51,150千円】
 財源(国庫:48,155千円, 特定:2,995千円)

<対策のポイント>

環境負荷軽減と持続的発展に向けて、有機農業や化学農業・化学肥料の使用量低減に地域ぐるみで取り組むモデル的先進地区を創出する。

<事業の内容>

1 目的(必要性、背景)

国が策定した「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、有機農業の産地づくりや環境にやさしい栽培技術・省力化に資する取組を推進する。

2 事業主体

県、市町村、農業関係機関・団体で組織する協議会、有機農業者が組織する団体

3 事業内容

【予算額:51,150千円】

- (1) 県段階の取組
 - ① 推進検討会の開催
 - ② 有機農業に取り組む農業団体への補助
 - ③ 消費者への理解促進
 - ④ 消費地での情報収集・販路拡大
 - ⑤ 有機JAS指導員の育成
- (2) 市町村段階の取組(有機農業産地づくり)
- (3) グリーンな栽培体系への転換サポート

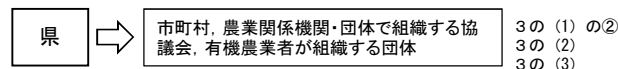
4 事業期間

令和4～6年度

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 生産環境係 (099-286-2891)

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1, 2）

■ 農業・農村研修事業【継続】

【令和5年度予算額 3,535千円】
財源（特定：819千円，一財：2,716千円）

<対策のポイント>

農業大学校において、就農予定者、新規就農者、農業担い手、女性農業者等が農業経営や技術を習得するため、体系的な研修を実施する。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）
※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

新規就農支援研修、農業者研修、農村生活課題解決研修において、農業者等の発展段階に応じた技術習得研修を行い、農業を担う人材の確保・育成を図る。

2 事業主体

県（農業大学校）

3 事業内容

- (1) 新規就農支援研修 【予算額：2,342千円】
新規就農希望者等に対し、新規就農に必要な基礎的な技術や知識を習得させるための研修を実施。
- (2) 農業者研修 【予算額：418千円】
農業担い手等に対し、農業経営に必要な大型特殊機械の操作技術の習得や免許取得のための研修を実施。
- (3) 農村生活課題解決研修 【予算額：775千円】
女性農業者等に対し、農畜産加工の起業化に必要な知識・技術習得のための研修を実施。

4 事業期間

平成20年度～

<事業イメージ>



新規就農支援研修（就農・就業チャレンジ研修）におけるバレイショの植付実習



農業者研修におけるトラクター技能実習



農産加工基礎研修における加工品の包装技術実習

【お問い合わせ先】

鹿児島県立農業大学校 農業研修課（099-245-1071）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-2）

■ 農大魅力アップ・情報発信事業【継続】

【令和5年度予算額 3,427千円】
財源（国庫：3,427千円）

<対策のポイント>

農業大学校における農業教育の高度化を図るため、農業教育高度化プランに基づき農業教育のカリキュラムの強化、若者の就農意欲を喚起する活動等を支援する。

<政策目標>

効率的かつ安定的な農業経営の実現を目指す担い手確保数：10,000経営体
（「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」における令和7年度目標値）
※ 未来創造ビジョン体系 X 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

本県農業の将来を担う優れた担い手を確保・育成するため、農業大学校における教育内容の充実や就農・就業に向けた取組を強化するとともに、農業大学校の魅力を県内外に広く発信する。

2 事業主体

県（農業大学校）

3 事業内容

- (1) 入口対策 【予算額：138千円】
就農意欲喚起のための研修・教育
- (2) 教育内容の充実・強化 【予算額：3,210千円】
県外先進農家及び農業法人等でのインターンシップ、スマート農業やGAPの修得のための教育、国際化に対応できる人材の育成など
- (3) 出口対策 【予算額：79千円】
雇用就農を希望する学生に対する農業法人との就業相談やマッチング支援

4 事業期間

令和3～5年度

<事業イメージ>

県農業教育高度化プラン

- 1 地域の担い手育成の課題や農業教育の目的
- 2 目標（新規就農者数など）
- 3 農業教育機関の役割分担
- 4 高度化する農業教育の内容と必要な取組 など

プランに基づき、目標達成に必要な取組を実施



農大の主な取組

卒業生出前授業

スマート農業等の実践

農業インターンシップ

農業法人との就業相談

目標

本県農業の将来を担う優れた人材の育成を目指す（就農・就業率向上）

【お問い合わせ先】

鹿児島県立農業大学校 教務指導課（099-245-1071）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ かがしま園芸産地総合対策事業
（かがしま園芸産地整備事業）

【令和5年度予算額 1,100千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

消費者・実需者ニーズを踏まえた国産農畜産物の安定的供給体制の構築を図るため、産地や担い手の発展の状況に応じて必要となる集出荷施設等の産地の基幹施設の整備を通じて、園芸産地の育成を総合的に支援する。

<政策目標>

・意欲ある担い手の育成・確保（国の政策目標）

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 〇 農林水産業の振興

<事業の内容>

- 1 目的
園芸作物の生産出荷体制の確立や消費者ニーズ等に対応した産地の育成を図るため、集出荷貯蔵施設の整備等を進める。
- 2 事業主体 市町村、農業者の組織する団体等
- 3 事業内容
(1) 強い農業づくり総合支援交付金〔1/2, 3/10以内〕
・集出荷貯蔵施設、農産物処理加工施設等の整備
(2) 持続的畑作生産体系確立緊急支援事業〔定額, 1/2以内〕
・種ばれいしよの生産開始のための農業機械等の導入
・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の導入
(3) 園芸産地における事業継続強化対策〔定額, 1/2以内〕
・既存ハウスの補強等の被害防止対策の実施
- 4 事業期間 令和5年度～

<事業イメージ>

産地や担い手の発展に必要な基幹施設の整備



【支援事例】
ばれいしよ選果機の整備



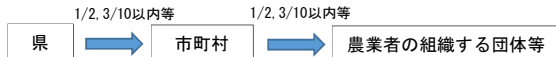
【支援事例】
だいこん集出荷施設の整備

生産基盤強化による園芸産地の育成

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農産園芸課 野菜係（099-286-3181）

<事業の流れ・補助率等>



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 産地パワーアップ事業【継続】

【令和5年度予算額 3,644,793千円】
財源（国庫：3,644,657千円（3,506,982千円（R4.3月補正）, 137,675千円（R5当初））、一財：136千円）

<対策のポイント>

地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者等が高収益作物・栽培体系への転換等を図るため、施設整備や農業機械及び省エネ機器の導入等を支援する。

<政策目標>

品質向上や高付加価値化等により販売額を10%以上向上等（国の政策目標）

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 〇 農林水産業の振興

<事業の内容>

- 1 目的
収益力向上に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な施設整備や農業機械及び省エネ機器の導入等に係る経費を支援する。
- 2 事業主体及び事業内容
(1) 整備事業〔国庫：1/2以内等〕
事業主体：農業者、農業者の組織する団体等
農産物処理加工施設、集出荷貯蔵施設等の整備
(2) 生産支援事業〔国庫：1/2以内〕
事業主体：農業者、農業者の組織する団体等
農業機械及び省エネ機器の導入等
- 3 事業期間
平成28年度～

<事業イメージ>

地域協議会が「産地パワーアップ計画」を作成

市町村や農協、農業関連団体等で構成する地域協議会等が産地の収益力を向上させるため「販売額増加」や「コスト低減」などの目標を設定し、その実現を図るために産地内の農業者や農業者団体が参加する「産地パワーアップ計画」を作成。

目標の実現に向けた「産地パワーアップ計画」の実践

整備事業

集出荷貯蔵施設等の整備

生産支援事業

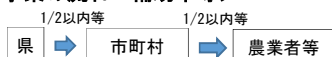
農業機械や省エネ機器の導入等

高収益作物・栽培体系への転換・産地の収益力向上

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農産園芸課 野菜係（099-286-3181）

<事業の流れ・補助率等>



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 新規需要対応型産地育成緊急対策事業【継続】

【令和5年度当初予算額 7,321千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

水田を利用した、焼酎会社の需要が高い加工用米の生産と、加工・業務用向け野菜や輸出向けさつまいもの産地づくりの取組を支援

<政策目標>

水田の高度利用による稲作農家の経営安定と生産性の高い水田農業の確立を図る。

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

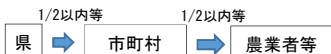
加工用米（焼酎用）や、加工・業務用野菜など新たな需要に対応した産地づくりを推進する。

2 事業主体及び事業内容

項目	事業主体	補助率	事業内容
加工用米安定確保対策事業	加工用米生産者協議会、生産者団体、民間事業者	県：定額、1/2以内(上限45万円)	加工用米生産者協議会が地域需要に対応した加工用米(焼酎用)の生産・確保に向けて行う取組に対する支援
水田を利用した加工・業務用野菜の産地づくり	市町村、農業協同組合、農業者の組織する団体	県1/2以内	加工・業務用野菜について、水田を利用した産地づくりを行う取組に対する支援
さつまいもの輸出向け産地づくり	市町村、農業協同組合、農業者団体等	県1/2以内	産地関係者が一体となって、海外の需要に対応したさつまいもの輸出向け産地づくりを行う取組に対する支援

3 事業期間 令和元～5年度（5か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

○加工用米安定確保対策事業



○水田を利用した加工・業務用野菜の産地づくり

【支援事例】
実需者の需要に応じた加工用ばれいしょの品質・収量向上



○さつまいもの輸出向け産地づくり

【支援事例】
海外への輸出方法や病害対策を含めた品質・収量向上



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課
水田農業対策係（099-286-3197）
【加工用米安定確保対策事業】
野菜係（099-286-3181）
【水田を利用した加工・業務用野菜の産地づくり】
【さつまいもの輸出向け産地づくり】

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 農業者経営所得安定対策推進事業【継続】

【令和5年度当初予算額 154,476千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

国の経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金（以下「経営所得安定対策等」）の普及・推進。

<政策目標>

国の経営所得安定対策等の普及・推進活動（加入申請等）を通じて、稲作農家の経営安定を図る。

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

農業者の経営安定を図るため、市町村等が行う経営所得安定対策等の普及・推進活動を支援する。

2 事業主体（※負担割合 国：定額）

- (1) 県段階
県、県農業再生協議会
- (2) 地域段階
市町村、地域農業再生協議会

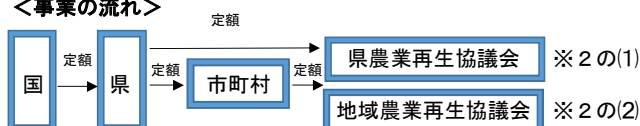
3 事業内容

推進事業 【予算額：154,476千円】
・経営所得安定対策等の円滑な実施に必要な取組を支援

4 事業期間

平成25年～

<事業の流れ>



<事業イメージ>

○経営所得安定対策等の普及推進活動



会議の開催



説明会の開催



パンフレット等の配布

○交付金の交付スケジュール等

当年度												次年度			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
加入申請				対象作物の作付確認・数量払の数量確認											
交付申請書、事業計画書等の交付				現地調査や提出書類で確認 → 確認後、農業者情報の整理 → 交付事務											
申請書類の取りまとめ、農業者情報の入力				ゲタ対策、水田活用の直接支払交付金の農業者への交付											
次年度対策の普及・推進、説明会の開催、広報資料の作成・配布等															

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課水田農業対策係（099-286-3197）

6 生産振興、販売、流通等に関する施策（6-3）

■ 【生産性の高い水田農業確立推進事業】

【令和5年度当初予算額 10,094千円】
財源（一財）

＜対策のポイント＞

需要に応じた米生産を推進するため、需給調整の取組のほか、売れる米づくりや食料自給力向上に向けた飼料用米・米粉用米生産の推進、水田のフル活用等による野菜等の高収益作物の導入・定着に向けた取組を推進。

＜政策目標＞

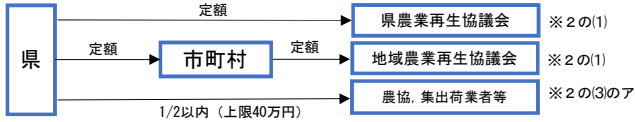
稲作農家の経営安定と本県の特徴を生かした生産性の高い水田農業の確立を図る。

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 0 農林水産業の振興

＜事業の内容＞

- 1 目的（必要性、背景）
新たな米政策に対応し、需用に応じた米生産を推進するため、実効性のある需給調整の取組を支援するとともに、稲作農家の経営安定と本県の特徴を生かした生産性の高い水田農業の確立を図る。
- 2 事業主体及び事業内容
 - (1) 実効性のある需給調整の推進
 - ア 「生産の目安」に設定に必要な情報収集、助言指導等（県）
 - イ 県及び地域農業再生協議会への取組支援〔県：定額〕
 - (2) 売れる米づくりの推進
 - ア 推進業務委託（委託先：県米・麦等対策協議会）〔県：定額〕
 - イ 有望な品種等の栽培技術の普及、技術指導等（県）
 - (3) 飼料用作物や高収益作物等の生産拡大の推進
 - ア 飼料用米の生産拡大の推進〔県：1/2以内（上限40万円）〕
事業主体：農協、集荷業者、農業者で組織する団体等
 - イ 高収益作物等の導入・定着に向けた排水対策の推進（県）
- 3 事業期間
令和5年度～令和9年度（5年間）

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

- 1 実効性のある需給調整の推進
 - 「生産の目安」の設定、情報提供〔県→地域→生産者〕
 - 県内の需給動向の把握
- 2 売れる米づくりの推進



現地検討会の開催



「あきほなみ」展示ほ設置



県産米のPR資料作成・配布

- 3 飼料用米や高収益作物等の生産拡大の推進



飼料用米の生産・集出荷

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課水田農業対策係（099-286-3197）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ かごしま茶産地力向上条件整備事業【継続】

【令和5年度予算額 153千円】
財源（国庫：一千円、一財：153千円）

＜対策のポイント＞

担い手の育成や産地力の強化に必要な荒茶加工施設や防霜施設の整備を行い、「品質・量ともに日本一の茶産地」の実現を目指す。

＜政策目標＞

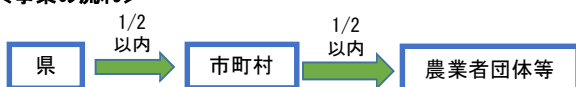
本県荒茶の全国シェアの拡大（32%【平成29年】→ 40%【令和10年】）

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 0 農林水産業の振興

＜事業の内容＞

- 1 目的
担い手の育成や産地力の強化に必要な荒茶加工施設等の整備を支援する。
- 2 事業主体
市町村、農業協同組合、農業者の組織する団体 等
- 3 事業内容
 - (1) 農産物処理加工施設（荒茶等加工施設）の整備支援（国：1/2以内）
 - (2) 農作物被害防止施設（防霜施設）の整備支援（国：1/2以内）
- 4 事業期間
平成17年度～

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



需要に対応した荒茶等加工施設の整備



「品質・量ともに日本一の茶産地」の実現

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課茶業係（099-286-3200）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 「かごしま茶」魅力創出事業【継続】

【令和5年度予算額 19,035千円】
財源（国庫：19,035千円、
一財： -千円）

<対策のポイント>

「かごしま茶」の販路拡大を図るため、県内茶商等が行う営業活動や認知度向上、付加価値の向上及び新たな販路開拓等を支援する。

<政策目標>

「かごしま茶」販売協力点数の増加（336点舗【令和2年】→370点舗【令和5年】）

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

「かごしま茶」の販路拡大を図るため、県内茶商等が行う営業活動や認知度向上、付加価値の向上及び新たな販路開拓などの取組を支援する。

2 事業主体

下記3(1)(2)：県 定額 (1)(3)：県内茶商等 1/2以内、
(2)：(公社)茶業会議所 1/3以内

3 事業内容

- (1) 営業活動の強化対策 【予算額：3,233千円】
- (2) 「かごしま茶」PR対策 【予算額：10,692千円】
- (3) 「かごしま茶」付加価値向上対策 【予算額：5,110千円】

4 事業期間 令和3年～令和5年度（3か年）

<事業イメージ>

- 1 営業活動の強化（かごしま茶のシェア拡大）対策(3,233千円)
 - ・ 県内外の消費地での「かごしま茶」販売協力店等と連携した販路拡大及び、県内茶商等による「かごしま茶」を使用した商品開発等による販路拡大・消費拡大に係る取組を支援

2 「かごしま茶」PR対策（10,692千円）

- ・ かごしま茶屋・県内イベントの実施、かごしま茶販売キャンペーン、認知度向上に向けSNSや団体等のイベントに合わせたPRの実施



「かごしま茶」販売キャンペーン等

3 「かごしま茶」付加価値向上対策（5,110千円）

- ・ 「フリーズドライ緑茶」の商品化支援
- ・ 有機栽培茶の品質向上支援



「フリーズドライ緑茶」の商品化支援

「かごしま茶」の付加価値向上による安定的な取引を展開

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課茶業係（099-286-3200）

<事業の流れ>



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ さとうきび産地活性化事業【継続】

【令和5年度予算額 32,745千円】
財源（国庫[奄振交付金]：16,084千円、一財：16,661千円）

<対策のポイント>

さとうきびの生産安定を図るため、「さとうきび増産計画」に基づく取組の推進、優良種苗の原苗ほの設置、農作業受託等に必要の農業機械の導入等を支援する。

<政策目標>

県増産計画…R7年度：収穫面積 約1万ha、単収 約6t/10a、生産量 約63万t

- ※ ビジョン体系 9-1 島々の魅力を生かした奄美・離島の振興、10-2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

さとうきびの生産安定を図るため、「さとうきび増産計画」に基づき、優良種苗の原苗ほの設置や農作業受託等に必要の農業機械の導入等を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) さとうきび産地活性化推進事業：県（10/10）
- (2) さとうきび産地活性化実践事業：市町村等（1/3以内）
- (3) さとうきび機械導入等支援事業：3戸以上の農業者で組織する団体等（1/3以内）

3 事業内容

- (1) 増産計画の着実な実施等 【予算額：751千円】
- (2) 原苗ほ設置に対する補助 【予算額：8,438千円】
- (3) 農業機械導入やハーベスタ等の機能向上に対する補助 【予算額：23,556千円】

4 事業期間

- (3) 令和4～6年度（3か年）

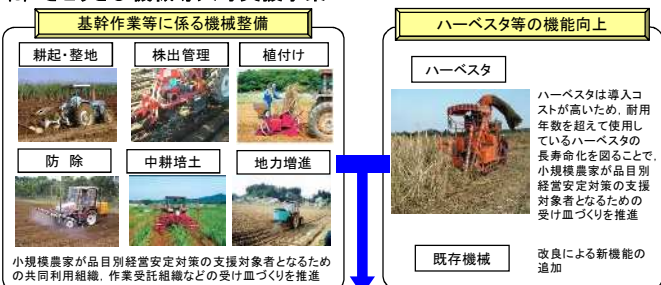
<事業イメージ>

(2) さとうきび産地活性化実践事業（優良種苗供給確保事業）

市町村等が設置する原苗ほに要する経費への補助

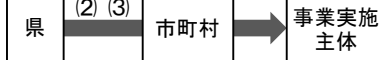


(3) さとうきび機械導入等支援事業



全ての生産者が品目別経営安定対策の支援対象となる基盤を強化し、さとうきびの持続的生産を推進

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課糖業特産作物係（099-286-3202）

7 生産性向上に関する施策

■ サツマイモ基腐病対策推進事業【継続】

【令和5年度予算額 531,819千円】
財源（国庫：500,000千円、一財31,819千円）

<対策のポイント>

サツマイモ基腐病対策の基本である基腐病菌をほ場に「持ち込まない」「増やさない」「残さない」対策を総合的に推進する。

<政策目標>

令和2年産単収1,970kg/10a ⇒ 令和7年産単収2,300kg/10a

※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上

※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

サツマイモ基腐病の被害軽減のため、健全苗の確保に係る資材等支援、排水対策支援、対策技術の普及・啓発活動、防除技術の確立を図る。

2 事業主体（※負担割合）

(1) サツマイモ基腐病対策実践事業：民間育苗業者等（1/2）、県

(2) サツマイモ基腐病防除技術の確立：県

(3) サツマイモ基腐病排水等対策事業：市町村、農業法人等（1/2）

3 事業内容

(1) 健全苗確保や指導体制の強化 【予算額：26,028千円】

民間育苗業者等への健全苗・種いも確保に係る資材等及び普及・啓発活動に要する経費を支援

(2) 基腐病防除技術の確立 【予算額：5,791千円】

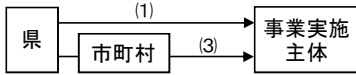
生産現場で実践しやすく、効果的な防除技術等を開発

(3) ほ場の排水対策等の支援 【予算額：500,000千円】

排水対策及び土層改良を支援

4 事業期間 令和4～6年度（3か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

持ち込まない	増やさない	残さない
(1)民間育苗業者等による健全苗の確保 健全苗確保に要する肥料、農業、暖房機等の導入などの支援 	(3)排水対策等の支援 排水溝 	 堆肥散布  混層耕

(1)地域協議会等による農業者等への対策技術の普及・啓発活動

(2)防除技術の確立

(例)「みちしずく」の優良苗生産技術 効果的な農業散布体系

生産現場で実践しやすく、効果的な防除技術を開発する。




基本対策の実践による基腐病の被害軽減

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課糖業特産作物係（099-286-3202）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ かごしまの希少フルーツポテンシャル向上支援事業【新規】

【令和5年度予算額 8,000千円】
財源（一財：8,000千円）

<対策のポイント>

国産へのニーズが高まるアボカドなど、希少性果物の産地育成により、農業者の所得向上や地域活性化を図るため、生産安定・拡大等の取組を総合的に支援する。

<政策目標>

希少性果物の生産額 R2年産 52百万円 → R12年産 342百万円

※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上

※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 0 農林水産業の振興

<事業の内容>

1 目的

希少性果物の産地育成により、農業者の所得向上や地域活性化を図るため、生産安定・拡大等の取組を総合的に支援する。

2 事業主体

市町村、JA、農業者で組織する団体等

3 事業内容

(1)希少性果物の生産安定・拡大、品質向上に向けた取組の支援

(2)希少性果物の付加価値向上に向けた取組の支援

4 事業期間

令和5～7年度（同一の事業主体を3か年継続して支援）

<事業の流れ・補助率等>

○ 事業主体（市町村）（補助率：1/2以内、補助金額の上限：1,500千円）



○ 事業主体（市町村以外）（補助率：定額、補助金額の上限：1,500千円）



<事業イメージ>



<支援対象品目>

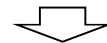
希少性果物：県内で生産される希少性のある熱帯果樹（アボカド、ピタヤ、ライチ、アテモヤの4品目）

1 希少性果物の生産安定・拡大、品質向上に向けた取組の支援

生産安定技術の導入や適品種の選定、新規栽培者の育成等の取組に対する支援、生産した果実の品質や商品づくりに対する実需者による評価の実施

2 希少性果物の付加価値向上に向けた取組の支援

新たな加工品の開発や6次化等の取組に対する支援



本県農業の稼ぐ力の向上
（希少性果物の生産額 R2年産 52百万円 ⇒ R12年産 342百万円）

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農産園芸課 花き果樹係（099-286-3183）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）
■ 茶・施設園芸燃油高騰対策緊急支援事業【継続】

【令和4年度補正予算額 117,000千円】
 財源（国庫：93,996千円、
 一財：23,004千円）

＜対策のポイント＞

燃料高騰による茶工場及び施設園芸農家の経営への影響緩和を図るため、国のセーフティネット構築事業への加入時に生産者が負担する経費の一部を支援する。

＜政策目標＞

- 国の茶セーフティネット構築事業への加入割合（15%【令和3事業年度】→70%【令和4事業年度】）
 国の施設園芸セーフティネット構築事業への加入割合（20%【令和3事業年度】→70%【令和4事業年度】）
 ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
 ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

＜事業の内容＞

1 目的

燃料高騰により経営に影響を受けている茶工場及び施設園芸農家が、国の施設園芸セーフティネット構築事業への加入時に負担する積立金の一部を緊急的に支援し制度への加入を促進するとともに、農家経営への燃料高騰の影響緩和を図る。

2 事業主体

各市町茶業振興会等
 鹿児島県燃油価格高騰緊急対策協議会

3 事業内容

茶工場及び施設園芸農家が負担する国の燃料高騰対策の積立に要する経費のうち、農家が積み立てる積立金単価に対し、段階的に支援する（国は、令和4年度補正予算において、対象燃料に、A重油等に加えてLPガス等を追加）。

4 事業期間 令和4年度～

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

・国のセーフティネット構築事業において、選択肢（積立方式）別に農家が積み立てる積立金単価に対し、支援を行う。

燃料	選択肢(積立方式)	支援単価 (円/ℓ・kg・m ³)
A重油 灯油 LPガス LNG	燃料価格の115%相当までの高騰に備え積み立てる場合	1円
	燃料価格の130%相当までの高騰に備え積み立てる場合	2円
	燃料価格の150%相当までの高騰に備え積み立てる場合	3円
	燃料価格の170%相当までの高騰に備え積み立てる場合	

※支援単価は茶及び施設園芸で同額（灯油は施設園芸のみ）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課野菜係・茶業係(099-286-3181・3200)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）
■ 県産麦生産性向上対策事業【継続】

【令和4年度3月補正予算額 39,908千円】
 財源（国庫：39,908千円）

＜対策のポイント＞

麦類等の安定した収量と品質向上を図るため、国の麦・大豆生産技術向上事業等の補助金を活用し、排水対策等の営農技術や機械施設の整備等を支援する。

＜政策目標＞

麦類作付面積の拡大 現状：74ha【R3】→目標：121ha【R7】

- ※ ビジョン体系 1 0 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 2 生産・加工体制の強化、付加価値の向上
 ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興 ○ 農林水産業の振興

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

麦類等の安定した収量と品質向上を図るため、国の麦・大豆生産技術向上事業等の補助金を活用し、排水対策等の営農技術や機械施設の整備等を支援する。

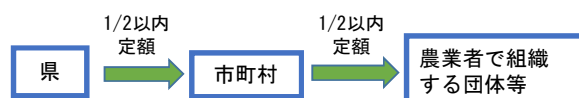
2 事業主体及び事業内容

- (1)事業主体：農業者で組織する団体等
 (2)事業内容
 ア団地化等の推進 (定額)
 イ先進的な営農技術の導入 (最大10千円/10a)
 ウ機械・施設の導入 (1/2以内)

3 事業期間

令和5年度（1年間）

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1 団地化等の推進

団地化、ブロックローテーション等の生産性向上推進のために必要な会議費、ほ場調査等の経費について支援



話し合い活動等の取組

2 先進的な営農技術の導入

生産性の向上に向けた技術や品種を導入する際、その内容に応じて10,000円/10a以内で定額支援
 (例)排水対策 2,000円/10a
 土壌診断 3,000円/10a



排水対策等の実施

3 機械・施設の導入

生産拡大に必要な機械・施設の導入を支援

※ 補助率は1/2以内、5,000万円未満の機械・施設の導入が支援対象



農業機械等の導入

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農産園芸課水田農業対策係(099-286-3197)

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 獣医師確保対策事業【継続】

【令和5年度予算額 34,510千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

本県獣医師の確保を図るため、大学訪問による受験勧誘や修学資金の貸与を行うほか、獣医師の採用後のスキルアップのための立案型研修等を実施する。

<政策目標>

本県における獣医師の確保・育成

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現, 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

日本有数の畜産県である本県にとって、必要不可欠な専門技術者である県獣医師の確保を図る。

2 事業主体（※負担割合）

県（10/10 ※一部国庫1/2）

※一部団体（公財）畜産協会（獣医師養成確保修学資金）

3 事業内容

・ 県獣医師への勧誘対策（獣医系16大学の訪問）

【予算額：2,310千円】

・ 職員立案型研修の実施

【予算額：1,600千円】

自ら立案した国外・国内の研修に対し、一定額を上限として助成（国外1人：100万円以内、国内2人：30万円以内）

・ 獣医師確保対策修学資金の貸与【予算額：30,600千円】

① 獣医師確保対策修学資金貸与（県単）

（国公立：月額10万円 私立：月額12万円）

② 獣医師養成確保修学資金貸与（国庫活用）

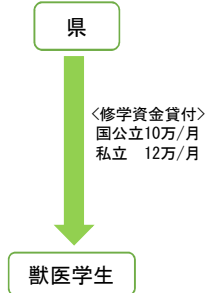
（国公立：月額10万円 私立：月額18万円）

4 事業期間

平成21～

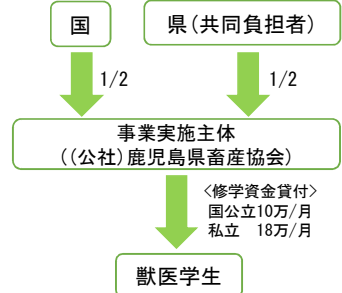
獣医師確保修学資金

① 県単



※貸与期間の3/2の期間鹿児島県獣医師として従事すれば返還免除

② 国庫



※貸与期間の3/2(私立5/3)の期間鹿児島県獣医師として従事すれば返還免除

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課管理係 (099-286-3216)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-2, 4）

■ 「魅力発信」畜産物販路拡大対策事業【継続】

【令和5年度予算額 1,762千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

「かごしま黒豚」や「かごしま地鶏」等の販路拡大を図るため、大都市圏で開催される展示会・商談会に出展する。また、県内において、本県の畜産・畜産物への理解醸成や、消費拡大を図るためPR活動を実施する。

<政策目標>

県産畜産物の販路拡大と県内における畜産業への理解醸成

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 7 各種メディアの活用とトップセールスで、鹿児島の「食」をPRし、販路拡大に努めます。

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

「かごしま黒豚」、「かごしま地鶏」等、本県畜産物の認知度向上及び販売量の拡大を目指す。

2 事業主体（※負担割合）

鹿児島県黒豚生産者協議会、鹿児島県地鶏振興協議会、「かごしま畜産の日」実行委員会、県

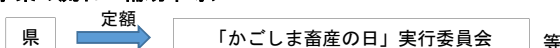
3 事業内容

- (1) 安全・安心な県産畜産物の情報を提供するフェア開催等
- (2) 大都市圏で開催される展示会・商談会に出展
- (3) 販売促進資材の作成
- (4) 広報活動の実施
- (5) 「かごしま畜産の日」の推進 等

4 事業期間

令和4～6年度（3か年）

<主な事業の流れ・補助率等>



東京 展示商談会出展
(かごしま黒豚)



福岡 展示商談会出展
(かごしま地鶏)



県内 畜産フェア開催



県内 出前授業

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課企画経営係 (099-286-3218)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-2, 4）

■和牛日本一の「鹿児島黒牛」PR事業【新規】

【令和5年度予算額 31,505千円】
財源（一財）

＜対策のポイント＞

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会で和牛日本一となった「鹿児島黒牛」の国内外における販路拡大を図るため、首都圏の消費者や仲卸等の実需者へのPRを強化するほか、アジアへの継続した取組に加え、EU・米国に対する取組を強化します。

＜政策目標＞

県産牛肉の国内外における販路拡大

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 7 各種メディアの活用とトップセールスで、鹿児島の「食」をPRし、販路拡大に努めます。

＜事業の内容＞

1 目的

国内外における「鹿児島黒牛」「KAGOSHIMA WAGYU」等のPR活動を強化し、販路拡大を図る。

2 事業主体（※負担割合）

県

鹿児島黒牛黒豚銘柄販売促進協議会（1/2以内、定額）

鹿児島県食肉輸出促進協議会（1/2以内）

3 事業内容

(1) 国内向け対策

- ・首都圏におけるPR広告やSNSを活用した情報発信
- ・飲食店シェフ・食肉仲卸などの実需者を対象とした産地視察の実施等

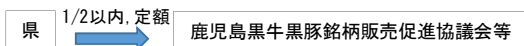
(2) 海外向け対策

- ・食品展示会・商談会への出展等によるPRや商談等（EU・アメリカに対する取組の強化）

4 事業期間

令和5年度～

＜主な事業の流れ・補助率等＞



＜事業イメージ＞



首都圏におけるPR広告(イメージ)



仲卸等による産地視察



食品展示会・商談会への出展



商標・地理的表示（GI）登録による差別化

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課企画経営係（099-286-3218）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-2）

■「JGAP家畜・畜産物」等推進事業【継続】

【令和5年度予算額 2,081千円】
財源（国庫）

＜対策のポイント＞

「JGAP家畜・畜産物」に係る制度の普及・啓発を図り、農場における認証の取得を推進するとともに、JGAP指導員等の育成・確保を図ります。

＜政策目標＞

畜産農家等が「JGAP家畜・畜産物」の認証取得等を通じて畜産物の安全を確保し、より良い生産工程管理を実現

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現, 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

＜事業の内容＞

1 目的

今後、本県畜産物の国内外での販路拡大等に繋げるため、畜産物の安全を確保し、より良い生産工程管理を実現する「JGAP家畜・畜産物」の認証取得を推進する。

2 事業主体（※負担割合）

県（国・県、定額（一部上限額あり））

3 事業内容

(1) 認証取得の支援

生産者の認証取得に係る経費を助成（上限額は右図のとおり）

(2) JGAP指導員の育成・確保

指導員の研修参加に必要な経費を助成

4 事業期間

令和4年度～令和6年度（3か年）

＜事業イメージ＞

JGAPの実施の例 → 農場内を点検し、課題や問題点を見つけ、改善。

<p>＜食品安全・家畜衛生＞</p> <p>農場・畜舎への出入りを制限する</p> <p>農場内専用の長靴、服などを着用する</p>	<p>＜環境保全＞</p> <p>畜舎排泄物を場内に野積みさせない</p> <p>畜舎排泄物を推把し、農地へ還元</p>	<p>＜労働安全＞</p> <p>労働災害を未然に予防する注意表示</p> <p>落下防止網を設置する</p>
<p>＜アニマルウェルフェア＞</p> <p>農場の暑熱対策や冬の寒冷対策を実施する</p>	<p>＜人権保護＞</p> <p>適切な労働契約・管理</p> <p>労働者との意見交換、研修生等の受入条件の遵守</p>	<p>JGAP認証農場マーク</p> <p>登録番号 123456789</p>

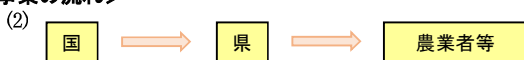
● 認証取得助成上限額（個別認証の場合）

認証の種別	助成額の上限 (消費税は対象外)
JGAP家畜・畜産物(農場HACCPとの差分審査)	60千円/戸
JGAP家畜・畜産物(上記以外)	150千円/戸

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課企画経営係（099-286-3216）

＜事業の流れ＞



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-2, 4）

■畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業【継続】

【令和5年度予算額 525,014千円】
財源（国庫：525,014千円）

<対策のポイント>
新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が懸念されることから、輸出相手国のニーズに対応するなど輸出拡大に向けた各コンソーシアムが行う産地の特色を活かしたプロモーション等や、生産農場や食肉処理施設における牛への頭絡装着の普及・定着や同処理施設における血斑発生低減に向けた試験的取組へ支援します。

<政策目標>
令和7年度における牛肉の輸出量：3,000 t（県農林水産物輸出促進ビジョンにおける目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>	<事業イメージ>
<p>1 目的 TPP11や日EU・EPAに続き、日米貿易協定の発効など、国際的な経済連携が進展中、「攻め」の対策として「鹿児島牛」と、「かごしま黒豚」等の更なる輸出拡大を図る。</p> <p>2 事業主体 県内各コンソーシアム （定額（国庫）うち(2)の設備改良・導入、(4)は1/2補助）</p> <p>3 事業内容 (1) コンソーシアムの設立・運営支援 (2) 輸出先国の求めに応えるためのコンソーシアムの取組等支援 (3) 新たなコンソーシアムの育成支援 (4) 市場ニーズに対応するためのコンソーシアム取組支援（畜産物の品質保持・実証試験）</p> <p>4 事業期間 令和5年度（1か年）</p> <p><事業の流れ・補助率等> 定額（一部1/2補助） 定額（一部1/2補助） 国 → 県 → 各コンソーシアム</p>	<p>1. コンソーシアムの設立・運営</p> <p>2. 輸出先国の求めに応えるためのコンソーシアムの取組</p> <p>① 動物福祉対応及び血斑発生低減 ② 血斑発生低減には食肉処理施設の設備改良・導入も必要 → 支援対象に追加</p> <p>3. 新たなコンソーシアムの育成</p> <p>コンソーシアムの育成を支援 ・マーケット調査 ・品質輸出</p> <p>【お問い合わせ先】 鹿児島県 農政部 畜産課 企画経営係（099-286-3216）</p>

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■肉用牛振興システム整備強化事業【継続】

【令和5年度予算額 2,074千円】
財源（一財）

<対策のポイント>
肉用牛関係者が意思統一を図りつつ、強力かつ総合的な指導を行うため、「鹿児島県肉用牛振興協議会」を通じた推進指導体制の整備・強化に取り組みます。

<事業の内容>	<事業イメージ>
<p>1 目的 肉用牛関係機関・団体の緊密な連携のもとに、肉用牛振興の基本方針等について協議し、生産から流通販売に至るまでの諸課題の早期解決を図り、農家所得の向上に資する。</p> <p>2 事業主体 鹿児島県肉用牛振興協議会（事務局：県畜産課）</p> <p>3 負担割合 県（1/3以内）</p> <p>4 事業内容 ・本部活動 専門部会（「生産改良」、「情報経営」、「流通販売」） 牛飼塾、技術員研修会の開催など ・支部活動（11支部） 技術員・農家研修会の開催、農家の技術指導など</p> <p>5 事業期間 平成7年度～</p>	<p>鹿児島県肉用牛振興協議会の概要</p> <p>協議会の構成メンバー 鹿児島県（事務局：畜産課）、各市町村、県農協中央会、県経済連、全和県支部、県畜産協会、共済組合、県衛指協、県系統畜産連協、県獣医師会、県農協連、県人工授精師連合会、県種雄牛協会、開拓農協、県家畜商協、県配飼協、県食肉生活衛生同業組合、鹿大、(株)JA食肉かごしま、(株)ナンテック、サンキョーミート(株)、(株)カミテック、スターゼン(株)、各農協、各畜連 会員79</p> <p>生産基盤強化推進本部 企業推進会議 ・生産・改良部会：生産現場の課題解決 ・情報・経営部会：情報の活用促進 ・流通・販売部会：消費販売の拡大 ・技術者研修・生産者研修：意思統一を図り、統一した指導体制</p> <p>11支部 鹿児島・日置支部、指宿支部、川辺支部、川籠支部、出水支部、始良支部、伊佐支部、曾於支部、肝煎支部、熊毛支部、大島支部 技術指導・経営指導・情報交換など</p> <p>肉用牛農家 統一された適切な技術指導や最新の経営実績に基づく助言等により、所得向上と経営の安定を図る。</p> <p>【お問い合わせ先】 鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3223）</p>

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 全国和牛能力共進会出品対策事業【新規】

【令和5年度予算額 17,311千円】
財源（特定：13,500千円、一財：3,811千円）

<対策のポイント>

第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けて、関係機関・団体が一体となり、出品対策に取り組みます。

<政策目標>

第13回全共北海道大会における「和牛日本一」の獲得と「鹿児島黒牛」の更なる改良とブランド力向上

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

令和9年に北海道で開催される全国和牛能力共進会で優秀な成績を収め、「鹿児島黒牛」の銘柄確立とより一層の販路拡大を図るため、関係機関・団体が一体となり、出品対策を実施する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 第13回全国和牛能力共進会鹿児島県推進協議会（県1/3）
- (2) 市町村（県10/10）

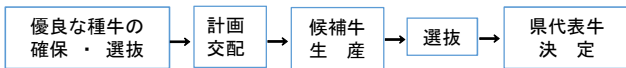
3 事業内容

- (1) 「チーム鹿児島」強化対策事業 【予算額：2,811千円】
 - ・ 優良種雄牛及び優良雌牛の選定
 - ・ 優良雌牛からの採卵実施
- (2) 第13回全国和牛能力共進会出品対策事業 【予算額：14,500千円】
 - ・ 優良繁殖雌牛の導入及び短期肥育技術実証への支援

4 事業期間

令和5年度～令和9年度（5か年）

<県代表牛決定までの流れ>



<事業イメージ>

導入した優良繁殖雌牛を畜産共進会に出品
改良状況の確認と地域内の改良基礎牛として保留
KPI：県内保留率85%以上

県内の中堅技術員に対して
和牛審査眼の統一、調教技術の修得を実施
鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3223）

【お問い合わせ先】
鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3223）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 肉用子牛価格安定対策事業【継続】

【令和5年度予算額 45,991千円】
財源（特財：18,927千円、一財27,064千円）

<対策のポイント>

肉用子牛生産農家の経営安定を図るため、肉用子牛生産者補給金制度の生産者積立金の一部を支援します。

<事業の内容>

1 目的

肉用子牛（月齢12か月未満）の生産者に対し、生産者補給金を交付すること等により、肉用子牛の生産及び価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展に資する。

2 事業主体

（公社）鹿児島県畜産協会

3 事業内容

- ・ 肉用子牛の平均売買価格が合理化目標価格を下回った場合に交付される生産者補給金の交付財源となる生産者積立金の一部を助成する。
- ・ 肉用子牛生産者補給金制度の円滑な推進を図るため（独）農畜産業振興機構からの委託により、指定協会に対し助言、指導、調整等を行う。

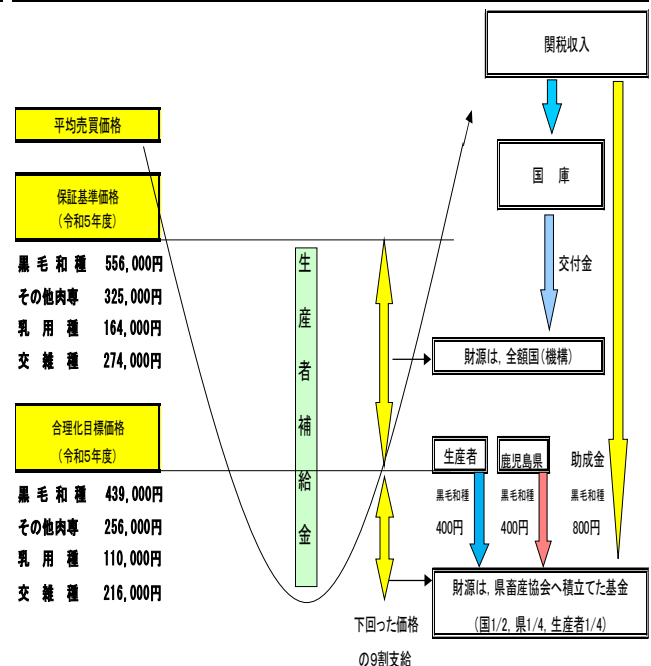
4 事業期間

令和2年度～令和6年度

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3223）

<事業イメージ>



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 肥育牛価格安定対策事業【継続】

【令和5年度予算額 63,876千円】
財源（特財：28,000千円、一財35,876千円）

<対策のポイント>

肥育農家の経営安定を図るため、肉用牛肥育経営安定交付金制度の生産者積立金の一部を支援します。

<事業の内容>

1 目的

肥育経営が悪化した場合に肥育経営を維持するのに必要な経費を軽減するための助成を行い、肥育経営の安定に資する。

2 事業主体

（公社）鹿児島県畜産協会

3 事業内容

肥育経営の安定を図るため、肉用牛肥育経営が悪化した場合に、肥育経営を継続するのに必要な経費を軽減するための補填金の交付財源となる基金の生産者積立金の一部を助成する。

※ 肥育牛1頭あたりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肥育牛生産者に補填金が交付される。

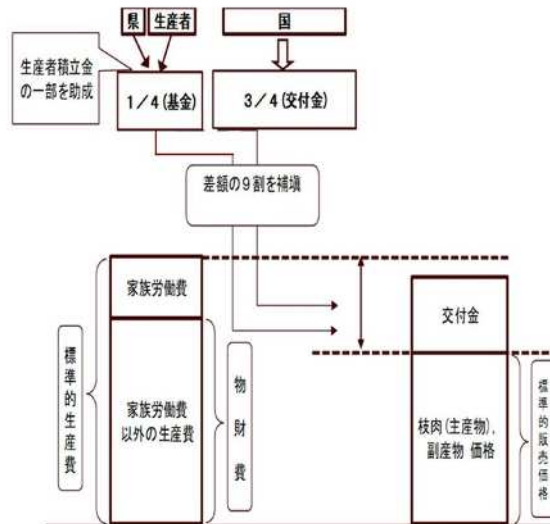
4 事業期間

令和4～6年度

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3223）

<事業イメージ>



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 家畜導入事業（実施主体間調整事業）【継続】

【令和5年度予算額 4,000千円】

<対策のポイント>

家畜導入事業基金を有効に活用するため、家畜導入が活発な市町村に財源を割り当て直し、家畜導入を促進する。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

県内の畜産農家を対象に繁殖雌牛の導入を推進し、肉用牛資源の確保を図る。

2 事業主体

市町村

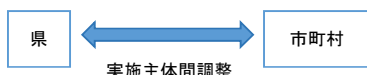
3 事業内容

- ・ 市町村が家畜導入事業基金を活用して、繁殖雌牛を導入し、農家に貸付を行う。
- ・ 家畜導入事業基金を有効に活用するため、家畜導入が活発な市町村に財源を割り当て直す。（実施主体間調整事業）

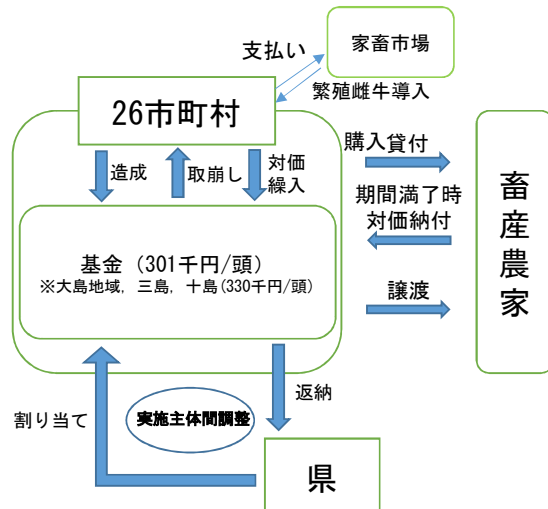
4 事業期間

平成24年度～

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3223）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

鹿児島黒牛」改良増殖推進事業【継続】

【令和5年度予算額 98,502千円】
財源（特定：83,675千円，一財：14,827千円）

<対策のポイント>

「肉量・肉質」のバランスのとれた優良種雄牛を選抜・育成し、「鹿児島黒牛」の銘柄確立と更なる畜産振興を図ります。

<政策目標>

「鹿児島黒牛」の銘柄確立

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

受精卵移植や遺伝子診断技術を活用した候補種雄牛の生産や産肉能力検定を実施し、産肉性や飼料効率に優れた種雄牛の選抜・造成に取り組む。

2 事業主体（※負担割合）

県（県 100%）

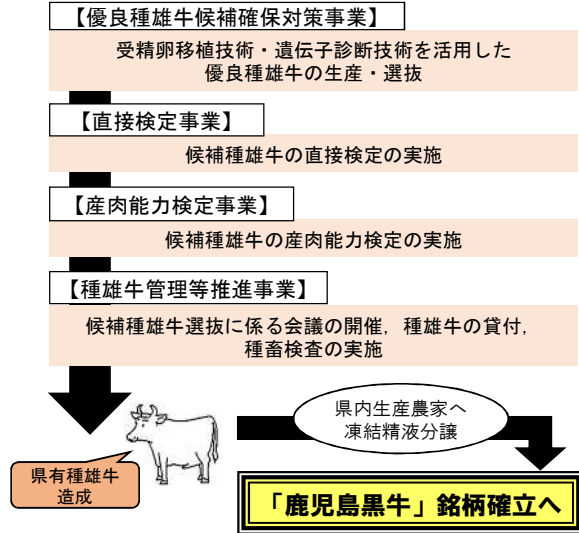
3 事業内容

- (1) 優良種雄牛候補確保対策事業 【予算額：7,029千円】
- (2) 直接検定事業 【予算額：19,013千円】
- (3) 産肉能力検定事業 【予算額：71,331千円】
- (4) 種雄牛管理等推進事業 【予算額：1,129千円】

4 事業期間

平成22年度～

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3223）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

乳用牛改良増殖対策事業【継続】
（乳用牛群検定普及定着化事業）

【令和5年度予算額 2,759千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

組織的な能力検定の普及定着化，分析データに基づく飼養管理等の指導強化を行います。

<政策目標>

酪農の生産基盤の維持・拡大（県酪農・肉用牛生産近代化計画 目標：経産牛頭数9,500頭（R12年度））

<事業の内容>

1 目的

検定の実施と検定データのフィードバックによる管理指導の強化により、酪農家の経営安定に資する。

2 事業主体（※負担割合）

鹿児島県酪農業協同組合（県10/10，事業費の42.2%以内）

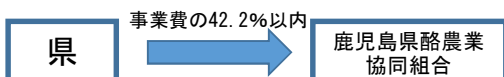
3 事業内容

- 牛群検定組合により、毎月実施される牛群検定に係る検定経費の一部を助成する。
- ・ 検定事業の内容
 - (1) 乳量測定及び成分分析用サンプル採取
 - (2) 繁殖・飼養管理に関する調査
 - (3) 技術指導等

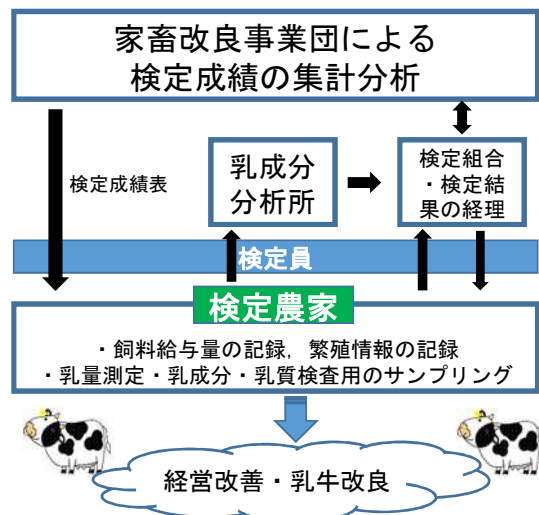
4 事業期間

平成2年度～

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3221）

6-3 農畜産物の生産振興及び銘柄産地の育成に関する施策

【様式7】

■ 生乳流通改善対策事業
(加工原料乳生産者補給金等交付事業) 【継続】

【令和5年度予算額 180千円】
財源(国庫:180千円)

<対策のポイント>

- ・ 生乳の再生産の確保及び生産者の経営安定を図るため、加工原料乳生産者補給金を交付する。
- ・ 加工原料乳の大幅な価格変動の影響緩和のための補てん金を交付し、価格形成の合理化と牛乳及び乳製品の価格安定、酪農・乳業の健全な発展を促進する。

<事業の内容>

1 目的(必要性、背景)

加工原料乳地域の生乳の再生産を確保し、生産者の経営安定を図るため、加工原料乳生産者補給金を交付するとともに、加工原料乳の大幅な価格変動の影響を緩和するための補てん金を交付することにより、生乳の価格形成の合理化と牛乳及び乳製品の価格安定と酪農・乳業の健全な発展を促進する。

2 事業主体

事業主体: 県
負担割合: (独) 農畜産業振興機構(10/10)

3 事業内容

加工原料乳生産者補給金制度に係る原料乳数量確認事務

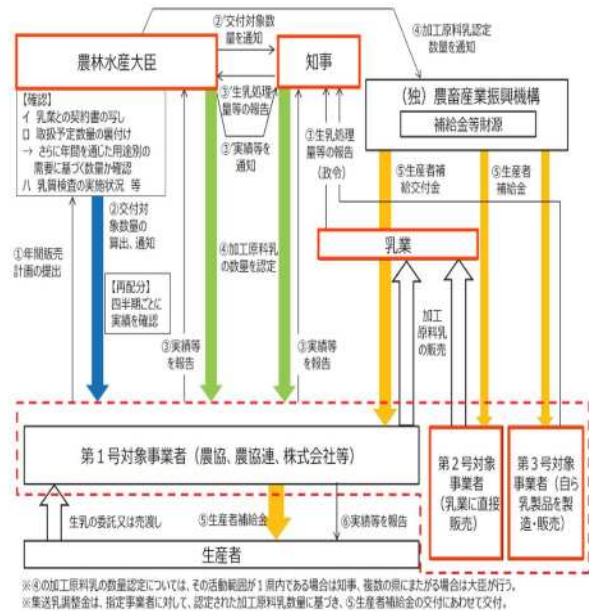
4 事業期間

昭和41年度~

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係(099-286-3223)

<事業イメージ>



6 生産振興、販売・流通等に関する施策(6-3)

■ 乳用育成牛確保支援事業【継続】

【令和5年度予算額 3,300千円】
財源(一財)

<対策のポイント>

生乳生産基盤の維持・拡大を図るため、乳用牛の育成部門の分業化及び県内で育成された優良な乳用育成牛の確保を支援します。

<政策目標>

乳用育成牛の地域内生産体制の確立

<事業の内容>

1 目的

生乳生産基盤を維持・拡大するため、県内で育成された優良な乳用後継牛を導入・確保し、搾乳牛を増頭する取り組みを行う。

2 事業主体(※負担割合)

鹿児島県酪農業協同組合(県1/2以内)

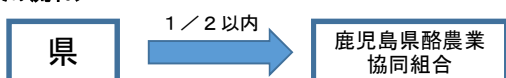
3 事業内容

県酪農業協同組合が、乳用牛の育成部門の分業化を推進する取組及び県内で育成された優良な乳用育成牛を導入・確保し、搾乳牛を増頭する取り組みに対して補助する。

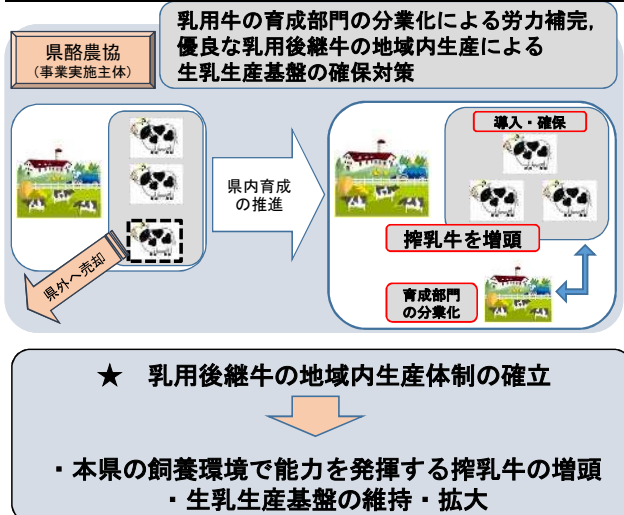
4 事業期間

令和3~5年度(3か年)

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係(099-286-3221)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 持続可能な酪農振興対策事業【新規】

【令和5年度予算額 2,885千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

新規就農者の確保により生産基盤を維持するとともに、ヘルパー組織の強化による労働負担軽減及び生産性の向上を通じた収益の確保を支援します。

<政策目標>

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

担い手の確保や労働負担軽減、生乳生産量確保により、本県酪農の生産基盤を維持・強化し、持続可能な酪農の振興を図る。

2 事業主体（負担割合等）

鹿児島県酪農協同組合（補助率：県1/2以内）
県（負担割合10/10）

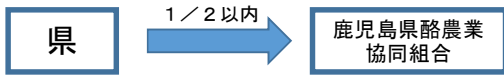
3 事業内容

- (1) 酪農経営及び酪農支援組織への参入者の確保
担い手の確保
酪農家の労働負担軽減
【予算額：1,335千円】
- (2) 生産性の向上による収益確保
生乳生産量の確保
【予算額：1,550千円】

4 事業期間

令和5～7年度（3か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1 担い手の確保

- ・新規就農者支援組織が実施する活動との連携強化
- ・酪農振興施策の推進（県事務費）



2 酪農家の労働負担軽減

- ・新人ヘルパースキルアップ研修
- ・ヘルパー組合利用促進



3 生乳生産量の確保

- ・衛生害虫駆除技術の普及による牛のストレス低減
- ・受精卵受胎率向上に有効な繁殖機資材の普及



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課肉用牛酪農係（099-286-3221）

6-（3）農畜産物の生産振興及び銘柄産地の育成に関する施策

■ 豚改良増殖対策事業【継続】

【令和5年度予算額 3,345千円】
財源（一財：2,945千円，財産収入：400千円）

<対策のポイント>

本県の養豚振興及び家畜改良増殖計画の達成に向けて計画的に取り組む。

<政策目標>

県内の養豚関係機関・団体等との意見調整を図り、本県の豚の改良増殖及び養豚振興を促進する。また、民間の種豚生産者による育種改良組織（指定種豚場）において、優良種豚の検定を実施し、種豚の改良増殖を推進する。

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

国・県において、豚の生産性や肉質の向上に向けた「家畜改良増殖目標」を策定し、国際化の進展等に対応した豚肉生産を推進する。

2 事業主体（※負担割合）

鹿児島県（県10/10）
※事業内容の（2）、（3）は委託事業（委託先：県畜産協会）

3 事業内容

- (1) 豚改良増殖推進事業 【予算額：852千円】
県内の養豚関係機関・団体等との意見調整を図り、本県の豚の改良増殖及び養豚振興を促進
- (2) 優良種豚育種効率向上推進事業 【予算額：238千円】
指定種豚場における優良種雌豚の現場検定（※委託事業）
- (3) 豚産肉能力検定事業 【予算額：2,255千円】
指定種豚場における種雄豚候補の現場検定（※委託事業）

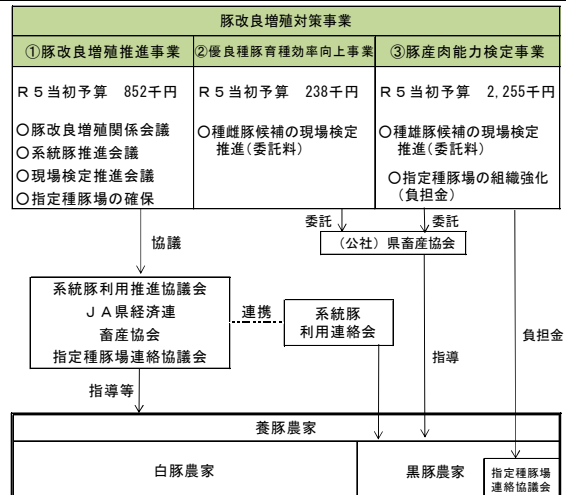
4 事業期間

昭和49年度～

<事業の流れ>

右図〈事業イメージ〉のとおり

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係（099-286-3224）

6-(3) 農畜産物の生産振興及び銘柄産地の育成に関する施策
■ 系統豚適正管理事業【継続】

【令和5年度予算額 3,466千円】
 財源（一財：3,466千円）

＜対策のポイント＞

系統豚「ニューサツマ」・「サツマ2001」・「クロサツマ2015」の能力調査や適正な血統管理を行うとともに、この3つの系統豚の有効かつ長期的な活用を図るため、農家等に譲渡した種豚の繁殖能力調査及び肉豚の産肉成績を調査する。

＜政策目標＞

系統豚の適正な維持増殖による、かごしま黒豚の生産振興

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

県で造成した系統豚の供給体制を整備するために、維持群の血統管理と能力調査を行うとともに、農家等に譲渡した種豚の繁殖能力等及び肉豚用子豚の成績を調査し、優良系統豚の増殖に資する。

2 事業主体（※負担割合）

県（（一社）県種豚改良協会に委託）（県 10/10）

3 事業内容

- (1) 系統豚の血統管理 【予算額：723千円】
- ① 適正飼養管理
 - ② 血統管理
 - ③ 能力調査
- (2) 譲渡した系統豚の能力調査 【予算額：2,743千円】
 （現地調査）
- ① 繁殖能力調査
 - ② 産肉能力調査

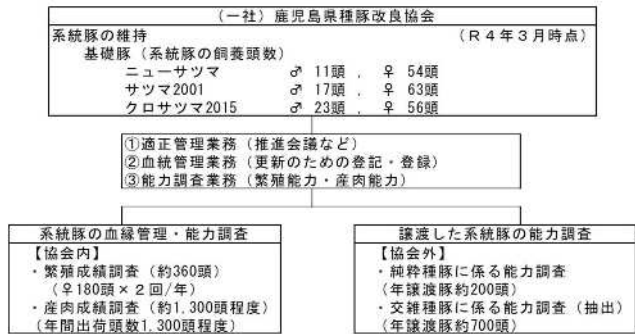
4 事業期間

平成8年度～

＜事業の流れ＞

県 → （一社）種豚改良協会

＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係 (099-286-3224)

6-(3) 農畜産物の生産振興及び銘柄産地の育成に関する施策
■ 肉豚価格安定対策事業【継続】

【令和5年度予算額 84,451千円】
 財源（一財：84,451千円）

＜対策のポイント＞

畜産経営の安定に関する法律に基づく肉豚経営安定交付金の生産者等負担金に対して助成を行ない、養豚経営の安定を図る。

＜政策目標＞

肉豚価格安定交付金の適正な運用による養豚経営の安定

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

養豚経営においては、豚肉相場の低下や配合飼料価格の高騰等により収益性が悪化していることから、肉豚経営安定交付金における生産者等負担金に対して助成を行ない、養豚経営の安定を図る。

2 事業主体（※負担割合）

養豚経営者（県団体等）（県 定額(60円/頭)）

3 事業内容

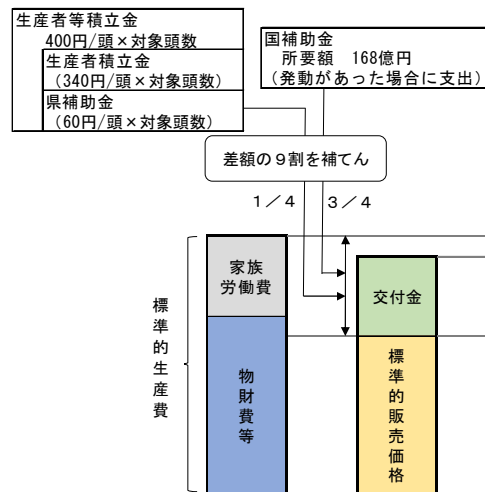
- (1) 補てん額 【予算額：84,451千円】
 （標準的生産費－標準的販売価格）× 9割
- (2) 補てん方法
 四半期毎に1頭あたりの標準的販売価格と標準的生産費を算定（注）し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、生産者と国の積立金から差額の9割を補てん金として交付（注）四半期終了時に計算（前の四半期に発動がなかった場合は通算）

4 事業期間 平成7年度～

＜事業の流れ＞

県 → 畜産協会、南九州養豚会

＜事業イメージ＞



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係 (099-286-3224)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 鶏改良増殖対策事業【継続】

【令和5年度予算額 921千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

本県養鶏産業の振興方針や課題解決に向けた検討，飼養衛生管理技術の向上，地鶏改良のための能力調査を実施する。

<政策目標>

本県の養鶏産業（肉用鶏，採卵鶏）振興や本県産地鶏のブランド力向上

<事業の内容>

1 目的

本県の養鶏産業（肉用鶏，採卵鶏）振興のため，県全体の振興方針や課題解決に向けた検討を行うほか，飼養衛生管理技術向上のための普及啓発を行い，競争力の高い養鶏産地を育成する。

あわせて，本県が作出した肉用地鶏（さつま若しゃも，さつま地鶏，黒さつま鶏）のブランド力向上のための普及活動を行う。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 鹿児島県（10/10）

3 事業内容【予算額：921千円】

- (1) 地域推進活動及び研修会等の開催
 - (2) 生産農場及び処理・加工場の現地調査
 - (3) 全国会議及びPRイベントへの参加
 - (4) 研修会及び普及推進資料の作成・配布
 - (5) 商標登録更新
 - (6) 地鶏能力調査に要する経費
- 【予算額：396千円】
- 【予算額：525千円】

<事業イメージ>



【研修会の開催】



【全国会議：鶏改良推進中央会議】



【「かごしま地鶏」の能力調査】
・種鶏・肥育鶏の能力調査・分析
（育成率，産卵率，健全率等）
・流通・販売成績の収集・分析
（出荷先，流通価格等）

4 事業期間

平成7年度～

<事業の流れ>

県 → 県地鶏振興協議会（地鶏能力調査の委託）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係（099-286-3226）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 鶏卵価格安定対策事業【継続】

【令和5年度予算額 25,260千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

鶏卵生産者の経営安定を図るため，国の「鶏卵生産者経営安定対策事業」に対して，生産者積立金の一部を助成する。

<政策目標>

鶏卵の需給動向に対応した計画的な生産の推進による鶏卵生産者の経営安定

<事業の内容>

1 目的

配合飼料価格の高騰や卵価の下落などにより，鶏卵生産者の経営が悪化した場合に損失の補てんを行い，経営安定を図る。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 鹿児島県経済農業組合連合会
 - (2) （一社）日本養鶏協会
- （県 定額（0.2円/kg））

3 事業内容【予算額：25,260千円】

鶏卵生産者経営安定対策事業に参加している生産者の補てん積立金の一部（0.2円/kg）を助成する。

4 事業期間

令和5～令和7年度（3か年）

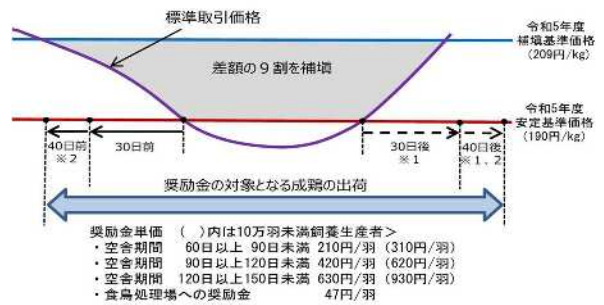
<事業の流れ>

県 → 県経済農業協同組合連合会
（一社）日本養鶏協会

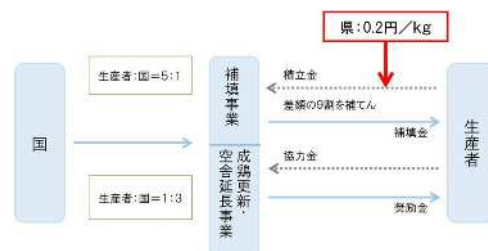
【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係（099-286-3226）

<事業イメージ>



※1 安定基準価格を上回る日の前日までに，食鳥処理場に予約されている場合。
※2 10万羽未満飼養生産者に限る。



6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）
■ ブロイラー価格安定対策事業【継続】

【令和5年度予算額 93,552千円】
 財源（一財）

<対策のポイント>

ブロイラー生産農家の経営安定を図るため、県畜産協会が行う「ブロイラー価格安定対策事業」に対して、生産者積立金の一部を助成する。

<政策目標>

ブロイラー生産農家の経営安定

<事業の内容>

1 目的

配合飼料価格の高騰や輸入鶏肉の増加等による鶏肉価格の下落などにより、ブロイラー生産農家の経営が悪化した場合、ブロイラー生産農家の経営安定を図る。

2 事業主体（※負担割合）

公益社団法人鹿児島県畜産協会（県 定額0.64円/羽）

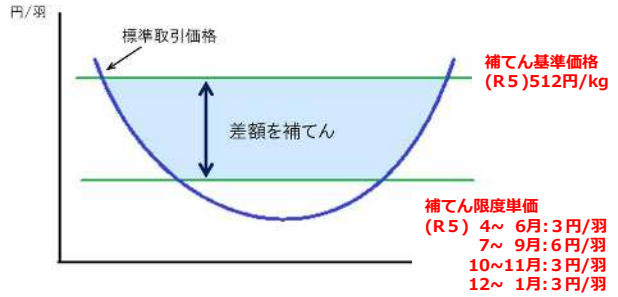
3 事業内容【予算額：93,552千円】

公益社団法人鹿児島県畜産協会が行うブロイラー価格安定基金への積立金の一部を助成する。

4 事業期間

令和3～令和5年度（3か年）

<事業イメージ>



<事業の流れ>

県 → （公社）県畜産協会

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係（099-286-3226）

積立金の負担区分（R5年度）

生産者	1. 17円/羽	(39.3%)
出荷組合	1. 17円/羽	(39.3%)
県	0. 64円/羽	(21.4%)
計	2. 98円/羽	

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）
■ 新交雑鶏等生産出荷体制整備事業【継続】

【令和5年度予算額 424千円】
 財源（一財）

<対策のポイント>

本県が開発した地鶏の生産・流通体制やブランド確立を図るため、地鶏の生産を一元的に振興する鹿児島県地鶏振興協議会の活動を支援する。

<政策目標>

本県産地鶏の生産・流通体制やブランドの確立

<事業の内容>

1 目的

本県では、県が開発した「さつま若しゃも」「さつま地鶏」「黒さつま鶏」の3種の地鶏が生産され、平成29年5月には3種の地鶏が「かごしま地鶏」として「かごしまブランド」の産地指定を受けた。

今後、さらなる本県産地鶏の生産・流通体制やブランドの確立を図るため、地鶏の生産を一元的に振興する鹿児島県地鶏振興協議会の活動を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

鹿児島県地鶏振興協議会（県 1/2）

3 事業内容【予算額：424千円】

- 地域推進体制の整備に要する経費【予算額：70千円】
- 生産技術向上対策・流通対策に要する経費【予算額：255千円】
- 銘柄確立対策に要する経費【予算額：99千円】

4 事業期間

平成22年度～

<事業イメージ>



【生産技術向上・流通対策セミナー】



【県内イベント（畜産フェア）】



【販促資材：パンフレット】



【販促資材：地鶏食べ歩きマップ】

<事業の流れ>

県 → 県地鶏振興協議会

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課中小家畜係（099-286-3226）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1）

■ 畜産基盤再編総合整備事業（公共）【継続】

【令和5年度予算額 955,723千円】
財源（国庫：577,000千円一財：378,723千円）

<対策のポイント>

自給飼料増産のための草地、飼料畑の開発整備を行い、飼料生産基盤に立脚した畜産主産地の形成を促進します。

<政策目標>

飼料基盤の造成・整備：263.1ha（「鹿児島県酪農・肉用牛生産近代化計画」における令和12年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

飼料基盤の開発整備、農業用施設の整備等を行うとともに、畜産生産の核となる経営体を創出することにより、畜産主産地の形成を促進する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) （公財）鹿児島県地域振興公社（本土：国50%，県22.5%
離島：国55%，県25% 奄美：国2/3，県25%）
- (2) 県（県1/2，国1/2）

3 事業内容

- (1) 整備事業 【予算額：950,223千円】
草地、飼料畑等の基本施設整備や、畜舎等の農業用施設整備など、畜産経営に必要な施設整備
- (2) 計画策定事業 【予算額：5,500千円】
事業計画の策定

4 事業期間

平成8年度～

<事業の流れ>

- (1) 整備事業：国 → 県 → 地域振興公社
- (2) 計画策定事業：国 → 県

<事業イメージ>

草地、飼料畑の開発整備



畜舎等の施設整備



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-2）

■ 飼料安全・品質確保対策事業【継続】

【令和5年度予算額 1,097千円】
財源（特定：762千円，一財：335千円）

<対策のポイント>

飼料の安全性の確保、優良品種の選定・普及等を行います。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

畜産農家への巡回指導等を通じた飼料安全性の確保を図るとともに、優良品種の栽培試験や飼料分析を通じた給与、栽培技術の向上を図る。

2 事業主体（※負担割合）

県（10/10）

3 事業内容

- (1) 飼料増産対策の推進方向の調整 【予算額：113千円】
国産飼料確保対策協議会の開催等
- (2) 飼料安全法等に関する普及・監視・指導の実施 【予算額：262千円】
農家巡回指導の実施や啓発飼料の作成・配布等
- (3) 飼料の品質向上及び生産・利用技術向上 【予算額：722千円】
畜産試験場における飼料分析・給与指導等

4 事業期間

令和3～令和5年度（3か年）

<事業イメージ>



自給飼料増産の推進
（稲WCS）

飼料安全普及リーフレット



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-2）
■ 配合飼料価格高騰対策緊急支援事業【継続】

令和4年度3月補正額 261,100千円
 <国庫：213,577千円 一財：47,523千円>
 → 令和5年度繰越額 269,100千円
 <国庫：246,577千円 一財：22,523千円>

<対策のポイント>

配合飼料価格安定制度における生産者積立金の助成を行い、畜産経営に及ぼす影響を緩和する。
 ※目指すべき事業効果等 配合飼料価格安定制度への契約率の増加 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

国内の配合飼料価格が高騰し、配合飼料価格安定制度における補填金の交付が続き、国は基金へ積み増しを行い、R4年度に生産者積立金もトン当たり400円から600円へ200円の増額となり生産者負担が増えたことから、生産者積立金の一部を助成。

2 事業主体

鹿児島県配合飼料価格安定基金協会、県経済農業協同組合連合会、鹿児島県農業協同組合、薩州開拓農業協同組合、マルイ農業協同組合、鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社、有限会社ヤマタケ農産

3 事業内容

令和5年度生産者積立金の一部(600円のうち100円)を県が助成

※令和4年度：R4年度生産者積立金の増額分(R3:400円→R4:600円の差額200円)を県が助成

4 事業期間

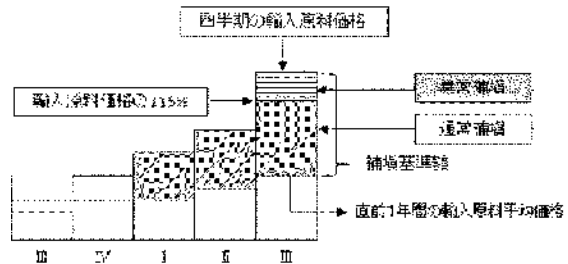
令和4～令和5年度（2か年）

<補填制度と本事業イメージ>

(本事業のイメージ)



(補填制度のイメージ)



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課耕畜連携飼料対策係 (099-286-3219)

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-1）
■ 地域資源フル活用飼料増産対策事業【新規】

【令和4年度12月補正予算額 68,388千円】
 財源（一財）

<対策のポイント>

飼料価格の高騰が続く中、飼料自給率の向上を図るため、自給飼料の増産に向けた取り組みを支援します

<政策目標>

飼料自給率の向上 28.7% (R2) → 30.4% (R12) (県酪農及び肉用牛生産近代化計画における目標)

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

自給飼料の生産拡大に取り組む生産者や飼料生産支援組織等を支援し、飼料自給率の向上を図る。

2 事業主体（※負担割合）

生産者集団、畜産団体、飼料生産支援組織等（定額、1/2以内）

3 事業内容

(1) 自給飼料の生産・利用拡大対策

- ア 畜産農家の自給飼料増産に向けた啓発
 - ・生産者研修会等の開催や啓発資料の作成
- イ 地域の実情に応じた自給飼料増産の取組
 - ・品種選定や収量向上に向けた栽培実証等
- ウ 飼料作物の作付拡大への取組
 - ・野生動物による飼料作物の食害防止対策
 - ・飼料作物の作付け面積の拡大に要する種子購入費助成

(2) 飼料生産支援組織の育成・活動強化対策

- ア 受託面積拡大への取組
 - ・受託面積拡大に必要な経費の助成

4 事業期間

令和5年度～7年度（3カ年）

<事業イメージ>

○地域農家の自給飼料増産に向けた啓発



○地域の実情に応じた自給飼料増産の取組



○飼料作物の作付拡大への取組



○飼料生産組織の育成・活動強化対策



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課耕畜連携飼料対策係 (099-286-3219)



3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-1）

■ 畜産環境総合整備事業（公共）【継続】

【令和5年度予算額 875,532千円】

財源（国庫：593,846千円 一財：281,686千円）

<対策のポイント>

総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物等の地域資源のリサイクルシステムの構築を促進します。

<政策目標>

たい肥化・液肥化仕向率：97.9%（「鹿児島県家畜排せつ物利用促進計画」における令和12年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物等の地域資源のリサイクルシステムを構築することにより、畜産経営に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化に資する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) （公財）鹿児島県地域振興公社（本土：国50%，県22.5%
離島：国55%，県25% 奄美：国60%，県25%）
- (2) 県（県1/2，国1/2）

3 事業内容

- (1) 整備事業 【予算額：875,532千円】
畜産施設用地造成等の基盤整備や、家畜排せつ物処理施設等の畜産経営に必要な施設整備
- (2) 計画策定事業 【予算額： — 円】
事業計画の策定

4 事業期間

平成13年度～

<事業の流れ>

- (1) 整備事業：国 → 県 → 地域振興公社
- (2) 計画策定事業：国 → 県

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 畜産課 耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

<事業イメージ>

家畜排せつ物処理施設整備



3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-1）

■ 資源循環型畜産確立対策推進事業【継続】

【令和5年度予算額 608千円】

財源（一財）

<対策のポイント>

家畜ふん尿の適正処理の促進により、資源循環型畜産の確立を推進します。

<政策目標>

令和12年度における家畜排せつ物の適正処理仕向量率：98.0%
（「鹿児島県における家畜排せつ物の利用の促進を図るための計画（R3.3策定）」）

<事業の内容>

1 目的

農家への実態調査や巡回指導、関係者による協議会の開催、苦情発生農家への技術的指導等により、家畜ふん尿の適正処理を推進する。

2 事業主体（※負担割合）

県（10/10）

3 事業内容

- (1) 地域推進指導協議会の開催
 - ・市町村や農協等への事業説明
 - ・環境汚染防止に係る指導方策の検討
- (2) 畜産農家に係る環境保全実態調査・巡回指導の実施
 - ・畜産農家へ実態調査や巡回指導
- (3) 環境保全特別指導
 - ・畜産経営に起因する苦情の発生及び苦情の発生の恐れのある経営について、水質汚濁物質や悪臭物質の測定結果等に基づく技術的な指導
- (4) 畜産環境アドバイザーの育成（R3～5）
 - ・技術普及指導ができる畜産環境アドバイザーの育成

4 事業期間

平成12年度～

<事業イメージ>



現地における技術指導の様子



堆肥化処理の推進

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 畜産クラスター事業【継続】

【令和5年度予算額 3,485,525千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

地域の畜産クラスター協議会が実施する中心的な経営体の収益性向上等を図るための畜舎や堆肥舎等の整備を支援します。

<政策目標>

畜舎等の整備による飼養規模の拡大や飼養管理の改善等による販売額の10%以上の増加 等（国の政策目標）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

畜産・酪農の収益力・生産基盤を強化するため、畜産農家をはじめ、地域の関係者が連携する畜産クラスターの仕組みの活用等により、生産コストの削減、規模拡大等、地域一体となって行う取組を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

畜産クラスター協議会（事業執行は取組主体）
（国1/2以内）

3 事業内容

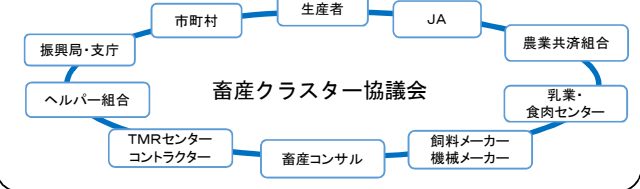
畜舎や堆肥舎等の整備

4 事業期間

平成27年度～

<事業イメージ>

- 地域の関係者が参画する畜産クラスター協議会の設置
- 協議会は地域の畜産の収益性向上を図るための畜産クラスター計画を作成（計画は県が認定）
- 計画には、中心的経営体を位置づけ、収益性向上の目標・効果を定量的に設定



畜産クラスター事業

各クラスター計画に位置づけられた取組に向け、計画に位置づけている中心的経営体の施設整備を支援

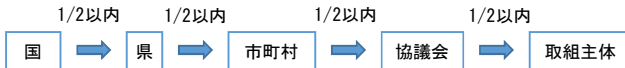


畜舎



堆肥舎

<事業の流れ・補助率等>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜伝染病予防事業【継続】

【令和5年度予算額 141,241千円】
財源（国庫：59,978千円、一財：51,975千円、
特財：29,288千円）

<対策のポイント>

家畜伝染病予防法に基づき、家畜伝染病の発生を予防し、家畜伝染病のまん延を防止する

<政策目標>

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止により、畜産の振興を図る

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現, 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

家畜伝染病予防法第5条、第31条に基づく検査及び第51条による立入検査を実施し、家畜伝染病の発生予防とまん延防止により、畜産の振興を図る。

2 事業主体（※負担割合）

県（国庫（家伝・消安）、一部県単）

3 事業内容

- 家畜伝染病予防事業 【予算額：65,880千円】
家畜伝染病予防法に基づく検査、立入検査、及び指導
- BSE清浄化促進事業 【予算額：36,913千円】
 - 96ヶ月齢以上の死亡牛等BSE検査
 - BSEサーベイランス検査
 - 病性鑑定検査
- 家畜伝染病侵入防止体制整備確立事業 【予算額：38,448千円】
 - 家畜衛生情報、飼養衛生管理基準等の周知
 - 県内全農家の定期報告の実施と報告集計及び報告データの防疫活用
 - 飼養衛生管理基準遵守状況調査

<事業費内訳>

	家畜伝染病 予防事業	BSE清浄 化促進事業	家畜伝染病侵入 防止体制整備確 立事業
旅費	5,522	3,120	3,431
需用費	59,155	25,075	4,776
役務費	1,194	1,698	464
報償費	9		
使用料及び 賃借料		880	4,491
委託料		6,140	
報酬			17,208
職員手当等			3,442
共済費			4,636
計	65,880	36,913	38,448

（単位：千円）

4 事業期間

昭和53年度～

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜衛生対策事業【継続】

【令和5年度予算額 6,133千円】
財源（国庫：2,996千円，一財：3,137千円）

<対策のポイント>

家畜衛生技術の総合的な指導体制を確立し，家畜衛生対策について濃密かつ重点的な指導を実施する

<政策目標>

畜産経営の安定

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

家畜衛生技術の創造的な指導体制を確立し，家畜衛生対策について濃密かつ重点的な指導を行い，畜産経営の安定を図る。

2 事業主体（負担割合）

県（国庫（消安），一部県単）

3 事業内容

- (1) 獣医療体制整備促進事業 【予算額：138千円】
獣医師就業動向，動物診療施設等の立入検査により施設の整備状況を調査する。
- (2) 監視・危機管理体制整備事業 【予算額：2,229千円】
事前対応型防疫体制構築のため家畜衛生情報収集や診断予防技術確立に取り組む。
- (3) 生産性向上対策事業 【予算額：2,863千円】
生産性阻害要因を究明し，その防除と併せ，衛生管理の改善等について検討を行う。
- (4) 動物由来感染症監視体制整備事業 【予算額：903千円】
動物由来感染症（豚レンサ球菌症等）の家畜における発生動向の把握を行う。

4 事業内容の詳細

- (1) 獣医療体制整備促進事業
 - ① 産業動物獣医師及び小動物獣医師の就業動向調査
 - ② 産業動物診療施設等の立ち入り検査，調査及び問題点の分析
- (2) 監視・危機管理体制整備事業
 - ① 家畜衛生関連情報整備対策
 - ② 診断予防技術の向上
 - ③ 動物用医薬品危機管理対策事業
- (3) 生産性向上対策事業
 - ① 衛生技術検討会
 - ② 衛生検査調査
- (4) 動物由来感染症監視体制整備事業
 - ① 情報伝達
 - ② 調査分析
 - ③ 全国対策会議

5 事業期間

S35年度～

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 自衛防疫強化総合対策事業【継続】

【令和5年度予算額 54,355千円】
財源（国庫：51,495千円，一財：2,860千円）

<対策のポイント>

畜産農家の自主的防疫措置の定着化を図り，家畜衛生対策を計画的かつ組織的に実施する

<政策目標>

家畜伝染病の発生の防止，畜産の生産性向上

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

畜産農家の自主的防疫措置の定着化を図り，家畜衛生対策を計画的かつ組織的に実施することにより，家畜伝染病の発生を防止し，もって畜産の生産性向上に資する。

2 事業主体（負担割合）

- (1) 県（国1/2，県1/2）
- (2) 県（国1/2，県1/2）
- (3) 市町村・団体等（国1/2，事業主体1/2）

3 事業内容

- (1) 自衛防疫強化対策事業 【予算額：98千円】
自衛防疫体制強化の普及・啓発を目的とした，パンレット等の作成・配布を行う。
- (2) CSF清浄性確認事業 【予算額：6,983千円】
本県における豚熱ウイルスの抗体検査や立入調査を実施し，本病の清浄性の維持に努める。
- (3) 家畜疾病防疫対策事業 【予算額：47,274千円】
農場内へのウイルス侵入防止を図るための消毒機器や死亡獣畜保管庫，防護柵，防鳥ネット等の整備に要する経費に対する支援を行う。

4 事業期間

S47年度～

<事業イメージ>

<豚熱サーベイランス割当>

家保	R4計画		農家戸数※ (R4.2.1)
	戸数	頭数	
中央	3	90	7
南薩	8	240	66
北薩	4	120	37
始良	6	180	42
曾於	12	360	109
肝属	16	480	164
熊毛	2	60	7
大島	2	60	9
徳之島	2	60	6
計(戸)	55		447
計(頭数)		1,650	



野生動物侵入防止対策
(防護柵及び防鳥ネット設置)

※畜産統計より

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜疾病病性鑑定事業【継続】

【令和5年度予算額 2,022千円】
財源（国庫：467千円，一財：1,555千円）

<対策のポイント>

家畜の不明疾病の原因究明のため、各種検査を実施し、的確な防疫措置を実施する

<政策目標>

被害を最小限にとどめ、農家経営の安定を図る

※ 未来創造ビジョン 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

各種検査を実施して家畜の様々な疾病の原因を究明し、迅速かつ的確な防疫措置を行うことで家畜の被害を最小限度にとどめ、農家の経営安定を図る。

2 事業主体

県（県単，一部国庫（消安））

3 事業内容

- (1) 病性鑑定に係る各種検査の実施
- (2) 検査の信頼性確保に係る検査機器の校正
- (3) 病性鑑定課における検査機器の修繕

4 事業期間

昭和47年度～

<令和3年度病性鑑定実施状況>

病性鑑定等実施状況（病性鑑定，モニタリング，サーベイランス等すべて含む）

区分	細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	臨床	病理	環境保全	その他	計
乳用牛	件数	14	37	54	13	23	6	0	147
	頭数	49	285	5,360	24	91	6	0	5,815
肉用牛	件数	138	883	54	343	213	240	3	1,884
	頭数	768	4,989	278	812	968	289	74	8,184
馬	件数	0	1	0	2	0	0	0	3
	頭数	0	1	0	18	0	0	0	19
豚	件数	31	162	3	3	42	19	1	263
	頭数	192	5,115	35	11	1,511	40	3	6,907
めん山羊	件数	1	0	1	0	0	9	0	13
	頭数	1	0	1	0	0	9	0	13
鶏	件数	6	216	2	3	147	25	0	405
	羽数	19	3,607	4	40	3,008	234	0	6,912
その他	件数	0	48	3	0	11	5	0	70
	頭羽数	0	129	7	0	65	12	0	215
小計	件数	190	1,347	117	364	436	304	4	2,785
	頭羽数	1,029	14,126	5,685	905	5,643	590	77	28,065

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政畜産課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜保健衛生所施設整備事業【継続】

【令和5年度予算額 508,285千円】
財源（国庫：131,145千円，県債：281,000千円，一財：96,140千円）

<対策のポイント>

家畜衛生業務の円滑な運営及び適切な検査体制の維持を図る

<政策目標>

バイオセキュリティの向上，診断体制の向上，危機管理体制の強化

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

家畜保健衛生所の円滑な業務運営及び検査機能の強化を図るため、家畜保健衛生所の施設整備を行う。

2 事業主体

県（県単，一部国庫（消安））

3 事業内容

- (1) 家畜保健衛生所移転整備 【予算額：473,397千円】
家畜保健衛生所の移転整備に係る建築工事，設計工事及び解体設計委託等
- (2) 施設維持補修 【予算額：8,101千円】
家畜保健衛生所における焼却施設や備品等の維持補修
- (3) 施設整備事業 【予算額：9,022千円】
家畜保健衛生所における施設や備品の整備
- (4) 検査機器整備 【予算額：9,982千円】
家畜伝染病予防対策，検査等家畜衛生対策推進に必要な検査機器の整備
- (5) BSE検査体制整備事業 【予算額：7,783千円】
BSE対策特別措置法及び基本計画に基づき，各ストックポイントに整備されている冷凍保管施設の更新

4 事業内容の詳細

- (1) 家畜保健衛生所移転整備（県10/10，県1/2・国1/2）
・建築工事，設備工事，解体設計委託等
- (2) 施設維持補修（県10/10）
・家畜保健衛生所焼却炉の維持・補修
・ストックポイントにおける冷凍保管施設等の修繕
・家畜保健衛生所の事務所施設補修
①焼却炉補修（徳之島支所）
- (3) 施設整備事業（県10/10）
・公用車の更新（1台）
・フォークリフト購入（曾於SP）
・家畜保健衛生所の事務所等備品の購入
①執務室エアコン（北薩，和泊駐在）
- (4) 検査機器整備（県1/2，国1/2）
①リアルタイムPCR（中央家保）
②サーマルサイクラー（中央家保）
③マイクロプレートリーダー（北薩家保）
④乾熱滅菌器（肝属家保）
⑤油回転真空ポンプ（中央家保）
- (5) BSE検査体制整備事業（県1/2，国1/2）
・冷凍保管施設の更新
①徳之島

5 事業期間

昭和47年度～

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜伝染病危機管理体制整備事業【継続】

【令和5年度予算額 13,166千円】
財源（国庫：6,357千円，一財：6,809千円）

<対策のポイント>

農場における生産衛生管理体制（農場HACCP）の推進による個々の農場における自衛防疫対策を基本とした防疫体制の構築
家畜伝染病の発生に備え防疫演習を実施し，初動防疫体制に関する理解を深めるとともに，防疫措置に必要な資材整備を図る

<政策目標>

家畜伝染病の発生による被害を最小限にとどめる

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

個々の農場における「自衛防疫」対策を強化するとともに，「侵入防止対策」の徹底と速やかな「まん延防止措置」を図るための体制を整備する。

2 事業主体（負担割合）

- (1) 県（国（消安）1/2，県10/10）
- (2) 県（国（家伝・消安），県10/10）

3 事業内容

- (1) 農場衛生管理推進事業 【予算額：600千円】
生産衛生管理体制（農場HACCP）の推進により，個々の農場における自衛防疫対策を基本とした防疫体制を構築
- (2) 家畜伝染病危機管理体制整備事業【予算額：12,566千円】
 - ①防疫演習
防疫演習の開催により関係者の理解共有や意識向上を図るとともに，リーダー研修の開催により初動防疫対応のリーダーとなる家畜防疫員の育成を図る。
 - ②備蓄資材の更新
初動防疫に係る備蓄資材のうち，耐用年数を経過した資材について引き続き更新を行う。

4 事業期間

平成23年度～

<事業イメージ>

<農場衛生管理推進事業>

農場指導員の養成：地域における指導体制を強化するため，農場指導員を養成

座学による研修

- ・農場HACCPの取組を普及するために必要な指導上重要な知識・手法を習得

実地による研修

- ・多様性に富む生産農場の指導を行うため，習得した知識・手法を的確に応用するための技術・ノウハウ習得

農場指導員の質の向上，指導強化による取組の定着を図る
・農場HACCPの認証制度の普及
・研修会の実施

➡ 農場HACCPの普及・定着による飼養衛生管理の強化

<防疫演習>



【お問い合わせ先】 鹿児島県農政部畜産課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-1）

■ 試験研究事業【継続】

【令和4年度予算額 18,505千円】
財源（特定：15,616，一財：2,889）

※「鹿児島黒牛」改良増殖推進事業除く

<対策のポイント>

牛肉の肉質や美味しさの改良を目指すとともに，胚移植技術等も活用した効率的な種雄牛造成に取り組みます。

<政策目標>

「鹿児島黒牛」のブランド確立と一層の販路拡大

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

本県肉用牛の特色である増体能力を高めながら肉質向上を図ることを基本に，次世代の繁殖雌牛群の血統構成を的確に把握しながら，適切な遺伝的能力評価に基づき，産肉能力が高く種牛性に優れた種雄牛を造成する。さらに，牛肉の肉質や美味しさに着目した研究にも取り組み，本県肉用牛の改良を促進する。

2 事業主体

県（肉用牛改良研究所）

3 事業内容

- (1) 「鹿児島黒牛」改良増殖推進事業【予算額：98,502千円】（再掲）
（優良種雄牛候補確保対策，直接検定，間接後代検定，種雄牛管理等推進事業）
- (2) 新たな改良指標 【予算額：9,922千円】
（DNA解析，脂肪交雑形状，おいしさ成分，繁殖性向上）
- (3) 効率的種雄牛造成 【予算額：8,583千円】
（胚移植技術，分割胚）

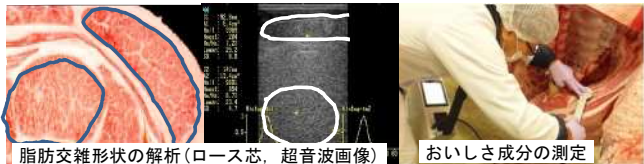
4 事業期間

研究課題ごとに複数年（主に3～5年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県肉用牛改良研究所（099-482-5252）

9 農村振興に関する施策（9-2）
■ 県営中山間総合整備事業【継続】

【令和5年度予算額 1,928,333千円】
 財源（国庫：1,063,121千円，特定：711,072千円，
 一財：154,140千円）

<対策のポイント>

中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤を総合的に整備します。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-2）

<事業の内容>

- 1 目的
 中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤の整備を総合的に行い、農業生産性の向上、国土・環境保全機能の増進を図る。
- 2 事業主体
 県
 H15採択から【生産】国：55%，県：30%，地元：15%
 【環境】国：55%，県：25%，地元：20% など
- 3 事業内容
 県営中山間総合整備事業 【予算額：1,928,333千円】
- 4 事業期間
 平成24年度～令和11年度
 （令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

（※事業主体が県の場合）

- (1) 申請
 農業者等 → 市町村 → 県 → 国
 （相談・申請） （申請） （申請）
- (2) 実施
 農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
 （負担金） （負担金） （補助金）

<事業イメージ>

【ほ場整備】



整備前



整備後

【活性化施設】



奄美市農林産物加工センター

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

9 農村振興に関する施策（9-1）
■ 県営農村振興等総合整備事業【継続】

【令和5年度予算額 150,520千円】
 財源（国庫：71,000千円，特定：67,175千円，
 一財：12,345千円）

<対策のポイント>

農村地域において、農業生産基盤及び集落基盤を総合的に整備します。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-2）

<事業の内容>

- 1 目的
 農村地域において、農業生産基盤の整備と集落基盤の整備を一体的に行い、農村の総合的な振興を図る。
- 2 事業主体
 県【生産】国：50%，県：28.5%，地元：21.5%
 【環境】国：50%，県：25%，地元：25%
- 3 事業内容
 県営農村振興総合整備事業 【予算額：150,520千円】
- 4 事業期間
 平成19年度～令和6年度
 （令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

- (1) 申請
 農業者等 → 市町村 → 県 → 国
 （相談・申請） （申請） （申請）
- (2) 実施
 農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
 （負担金） （負担金） （補助金）

<事業イメージ>

【ほ場整備】



整備前



整備後

【集落排水路の整備】



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

5 農地利用，基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 畑地帯総合農地整備事業【継続】

【令和5年度予算額 7,844,762千円】

財源（国庫：4,395,515千円，特定：2,847,019千円，
一財：602,228千円）

＜対策のポイント＞

畑地帯における畑地かんがい施設やほ場の整備，農道整備等の総合的な基盤整備を実施します。

- ※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
- ※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

＜事業の内容＞

1 目的

畑地帯が約7割を占める本県農業の生産性向上を図るため，畑地かんがい施設やほ場の整備などを行う。

2 事業主体

県等
（国：50%，県：28.5%，地元：21.5% など）

3 事業内容

畑地帯総合農地整備事業 【予算額：7,844,762千円】

4 事業期間

平成16年度～令和12年度
（令和4年度実施地区における事業期間）

＜事業の流れ＞

（※事業主体が県の場合）

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
（負担金） （負担金） （補助金）

＜事業イメージ＞

【畑地かんがい施設整備】



貯水池



パイプライン



スプリンクラー

【ほ場整備】



整備前



整備後

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 国営・水利係（099-286-3256）

5 農地利用，基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 経営体育成基盤整備事業【継続】

【令和5年度予算額 1,911,058千円】

財源（国庫：1,015,107千円，特定：794,496千円，
一財：101,455千円）

＜対策のポイント＞

水田のほ場整備などを行います。

- ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（2-①）

＜事業の内容＞

1 目的

経営体の育成に資する水田のほ場整備等を行い，中・大型機械の導入による高生産性農業の展開を図る。

2 事業主体

県
（国：55%，県：28.5%，地元：16.5% など）

3 事業内容

経営体育成基盤整備事業 【予算額：1,911,058千円】

4 事業期間

平成27年度～令和13年度
（令和5年度実施地区における事業期間）

＜事業の流れ＞

（※事業主体が県の場合）

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
（負担金） （負担金） （補助金）

＜事業イメージ＞

【ほ場整備】



整備前



整備後

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

9 農村振興に関する施策（9-1）

■ 団体営農村振興総合整備等統合補助事業【継続】

【令和5年度予算額 8,190千円】
財源（国庫：5,950千円，特定：1,000千円，
一財：1,240千円）

<対策のポイント>

農業生産基盤及び集落基盤を総合的に整備します。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-②）

<事業の内容>

1 目的

農村地域において、農業生産基盤の整備と集落基盤の整備を一体的に行い、農村の総合的な振興を図る。

2 事業主体

市町村等

H17採択まで【環境施設以外】国：50%，県：18%，地元：32%

【環境施設】国：50%，県：0%，地元：50%

H18採択以降【環境施設以外】国：50%，県：16%，地元：34%

【環境施設】国：50%，県：0%，地元：50%

3 事業内容

団体営農村振興総合整備事業 【予算額：8,190千円】

4 事業期間

平成17年度～令和7年度（令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村等 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)

(2) 実施

農業者等 → 市町村等 ← 県 ← 国
(負担金) (補助金) (補助金)

<事業イメージ>

【ほ場整備】



整備前



整備後

【集落道路の整備】



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

9 農村振興に関する施策（9-2）

■ 団体営中山間総合整備事業【継続】

【令和5年度予算額 110,250千円】
財源（国庫：83,640千円，特定：22,000千円，
一財：4,610千円）

<対策のポイント>

中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤を総合的に整備します。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-②）

<事業の内容>

1 目的

中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤の整備を総合的にを行い、農業生産性の向上、国土・環境保全機能の増進を図る。

2 事業主体

市町村

H15採択から【生産】国：55%，県：15%，地元：30% など

3 事業内容

団体営中山間総合整備事業 【予算額：110,250千円】

4 事業期間

平成27年度～令和6年度
（令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

（※事業主体が県の場合）

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)

(2) 実施

農業者等 → 市町村 ← 県 ← 国
(負担金) (補助金) (補助金)

<事業イメージ>

【ほ場整備】



整備前



整備後

【鳥獣害防止柵】



【鳥獣害防止柵】



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

5 農地利用、基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 団体営基盤整備促進事業【継続】

【令和5年度予算額 372,145千円】
財源（国庫：340,299千円，特定：23,000千円，
一財：8,846千円）

<対策のポイント>

地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を実施し、生産効率の向上を図ります。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（2-1）

<事業の内容>

1 目的

農村地域において、地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を行い、生産効率の向上を図る。

2 事業主体

市町村等
（国：55%，県：0%，地元：45% など）

3 事業内容

団体営基盤整備促進事業 【予算額：372,145千円】

4 事業期間

平成26年度～令和10年度
（令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村等 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村等 ← 県 ← 国
（負担金） （補助金） （補助金）

<事業イメージ>

【農作業道の整備】



【老朽化した水路の整備】



【区画拡大（畦畔除去）】



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

9 農村振興に関する施策（9-1）

■ 農村環境保全整備事業【継続】

【令和5年度予算額 12,700千円】
財源（国庫：8,000千円，特定：3,200千円，
一財：1,500千円）

<対策のポイント>

農業水利施設の有する水辺空間を活用し、豊かで潤いのある快適な生活環境の整備を行います。また、奄美群島地域では、農用地及びその周辺の土壌流出を防止するため、排水施設等を整備します。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-2）

<事業の内容>

1 目的

農業水利施設保全、管理、整備と一体的に農業用水の有する地域用水機能の維持・増進を図る。また、浸食を受けやすい特殊土壌が広範囲に分布する奄美群島地域において、排水施設等を整備し農用地及びその周辺の土壌の流出を防止する。

2 事業主体

県
（国：50%，県：25%，地元：25% など）

3 事業内容

農村環境保全整備事業 【予算額：12,700千円】

4 事業期間

平成27年度～令和5年度
（令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

（※事業主体が県の場合）

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
（負担金） （負担金） （補助金）

<事業イメージ>

【地域用水環境整備事業】



余多ふれあい公園（沖永良部）

【水質保全対策整備事業】



沈砂池の施工

【排水路の補修】



整備前



整備後

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 国営・水利係（099-286-3256）

5 農地利用、基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 団体営土地改良施設維持管理事業【継続】

【令和5年度予算額 329,539千円】
 財源（国庫：195,126千円，特定： - 千円，
 一財：134,413千円）

<対策のポイント>

農業水利施設の維持管理の助成や管理業務に関する管理体制及び操作体制の整備などを行います。
 また、農業水利施設の包蔵水力を活用した小水力発電のための施設整備及び導入支援を行います。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（2-①）

<事業の内容>

1 目的

公共性、公益性の高い基幹的水利施設について、施設が有する多面的機能の発揮等のために管理業務の体制整備などを行う。

2 事業主体

市町村等
 （国：30%，県：30%，地元：40% など）

3 事業内容

団体営土地改良施設維持管理事業
 【予算額：329,539千円】

4 事業期間

平成9年度～
 （令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

（※事業主体が市町村の場合）

- (1) 申請
 農業者等 → 市町村等 → 県 → 国
 （相談・申請） （申請） （申請）
- (2) 実施
 農業者等 → 市町村等 ← 県 ← 国
 （負担金） （補助金） （補助金）

<事業イメージ>

【施設の管理】



施設の保守点検



施設周辺の清掃



整備前



整備後

ダムの周辺の流木除去

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 国営・水利係（099-286-3256）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 農地整備事業（通作・基幹）【新規・継続】

【令和5年度予算額 45,500千円】
 財源（国庫：23,650，特定：18,612，一財：3,238）

<対策のポイント>

農作業と農畜産物の輸送をサポートするため、地域の営農状況に応じた基幹農道の整備を進める。

<政策目標>

農業経営の大規模化に伴い大型化する農業機械の安全通行の確保や農業用資材の搬入・農作物輸送の効率化、併せて快適な農村生活環境の実現を図る。

※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

1 目的

基幹農道の整備により、農産物輸送の合理化、移動時間の短縮、大型機械の導入促進、これらに伴うコスト縮減による農業経営の安定化、農村生活環境の改善が見込める。

2 事業主体（※負担割合）

県（国：55%，県：41.25%，地元3.75%）

3 事業内容

農地整備事業（通作・基幹） 【予算額：45,500千円】

4 事業期間

令和4年度～令和12年度（9か年）
 （令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

- (1) 申請
 農業者等 → 市町村 → 県 → 国
 （相談・申請） （申請） （申請）
- (2) 実施
 農業者等 → 市町村 → 県（実施） ← 国
 （負担金） （分担金） （補助）

<事業イメージ>

【農道の改良】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 農地整備事業（通作・一般）【新規・継続】

【令和5年度予算額 275,600千円】

財源（国庫：145,000，特定：119,000，一財：11,600）

<対策のポイント>

農作業と農畜産物の輸送をサポートするため、地域の営農状況に応じた農道の整備を進める。

<政策目標>

農業経営の大規模化に伴い大型化する農業機械の安全通行の確保や農業用資材の搬入・農作物輸送の効率化、併せて快適な農村生活環境の実現を図る。

※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

農道の整備により、農産物輸送の合理化、移動時間の短縮、大型機械の導入促進、これらに伴うコスト削減による農業経営の安定化、農村生活環境の改善が見込める。

【農道の改良】



2 事業主体（※負担割合）

県（国：50%，県：28.75%，地元21.25% など）

3 事業内容

農地整備事業（通作・一般） 【予算額：275,000千円】

4 事業期間

平成26年度～令和10年度（16か年）
（令和5年度実施地区における事業期間）



<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県（実施） ← 国
（負担金） （分担金） （補助）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 農地整備事業（通作・保全）【新規・継続】

【令和5年度予算額 1,087,340千円】

財源（国庫：628,455，特定：406,000，一財：52,885）

<対策のポイント>

農業生産性の持続的な発展のため、老朽化が進む農道施設の保全対策を実施する。

<政策目標>

農道施設の機能保全とライフサイクルコストの低減のため、点検診断・機能保全計画策定とこれに基づく適時・適切な機能保全対策を実施する。

※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

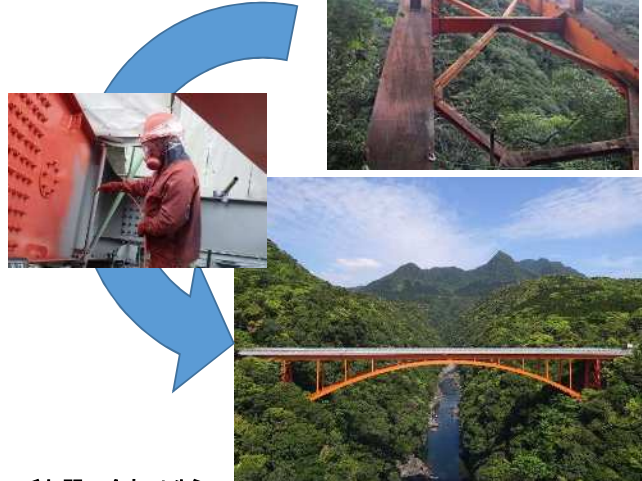
<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

既設の農道について、点検診断を行うとともに機能保全対策面からの更新整備や農道機能強化対策面等からの整備水準の向上を図る保全対策等を行う。

【農道橋の補修】



2 事業主体（※負担割合）

県（国：50%，県：28.75%，地元21.15% など）

3 事業内容

農地整備事業（通作・保全） 【予算額：1,087,340千円】

4 事業期間

平成28年度～令和9年度
（令和5年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県（実施） ← 国
（負担金） （分担金） （補助）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）
■ 県営かんがい排水事業【新規・継続】

【令和5年度予算額 1,949,647千円】
 財源（国庫：1,124,255，特定：749,400，一財：75,992）

<対策のポイント>
 農業生産性の持続的な発展のため、老朽化が進む農業水利施設の機能保全対策を実施する。
 <政策目標>
 農業水利施設の機能保全とライフサイクルコストの低減のため、機能診断・機能保全計画策定とこれに基づく適時・適切な機能保全対策を実施する。
 ※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

- 1 目的**
 国営・県営により造成された農業水利施設の機能診断、機能保全計画作成、これに基づく対策工事を一貫して実施する。
- 2 事業主体（※負担割合）**
 県（国：50%，県：25%，地元：25% など）
- 3 事業内容**
 県営かんがい排水事業 【予算額：1,949,647千円】
- 4 事業期間**
 平成27年度～令和11年度（15年）
 （令和5年度実施地区における事業期間）

<事業イメージ>

【排水ポンプの更新】



【頭首工の更新・補修】



<事業の流れ>

- (1) 申請
 農業者等 → 市町村 → 県 → 国
 （相談・申請） （申請） （申請）
- (2) 実施
 農業者等 → 市町村 → 県（実施） ← 国
 （負担金） （分担金） （補助）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）
■ 団体営土地改良施設維持管理事業【新規・継続】

【令和5年度予算額 242,307千円】
 財源（国庫：160,215，特定：27,000，一財：55,092）

<対策のポイント>
 農業水利施設の定期的な整備補修等を実施し、農業水利施設の管理の適正化を図る。
 <政策目標>
 土地改良区等施設管理者の維持管理に対する意識の昂揚を図るとともに、農業水利施設の機能保持と耐用年数の確保のため必要となる整備補修を実施する。
 ※ 未来創造ビジョン体系 X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興

<事業の内容>

- 1 目的**
 団体営規模以上の事業により造成された農業水利施設の機能保持のため必要となる整備補修や管理の効率化と労力節減を図るため必要となる設備改善を実施する。
- 2 事業主体（※負担割合）**
 施設を管理している改良区，市町村
 （国：30%，県：30%，地元：40%など）
- 3 事業内容**
 団体営土地改良施設維持管理事業【予算額：242,307千円】
- 4 事業期間**
 ・加入年度から5年間のいずれかの年度に工事実施
 （加入年度事業計画に基づく）
 ・資金の拠出は5年間継続

<事業イメージ>

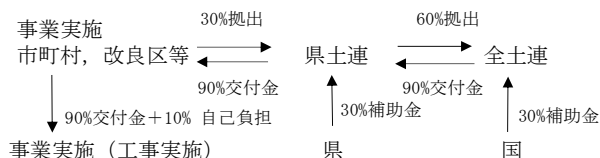
【揚水ポンプの整備補修】



【頭首工の設備改善（板堰→転倒ゲート）】



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

8 農業災害防止に関する施策

■ 県営ため池等整備事業【新規・継続】

【令和5年度予算額 1,228,330千円】
財源（国庫：683,579, 特定：472,836,
一財：71,915）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 VI-1-2 強靱な県土づくりと危機管理体制の強化

<事業の内容>

- 1 目的
農業用施設の災害を未然に防止する。
- 2 事業主体（※負担割合）
県 など
(国：55%，県：29.5%，地元：15.5% など)
- 3 事業内容
(1) 老朽化した、ため池の整備 【予算額：328,110千円】
(2) 用排水施設の防災事業 【予算額：612,500千円】
(3) 農業用河川工作物の整備 【予算額：287,720千円】
- 4 事業期間
平成28年度～令和12年度（15か年）
(令和5年度実施地区における事業期間)

<事業の流れ>

- (1)申請
農業者等 → 市町村 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)
- (2)実施
農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
(負担金) (負担金) (補助金)

<事業イメージ>



8 農業災害防止に関する施策

■ 県営農地保全整備事業【新規・継続】

【令和5年度予算額 997,370千円】
財源（国庫：517,550, 特定：428,050,
一財：51,770）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 VI-1-2 強靱な県土づくりと危機管理体制の強化

<事業の内容>

- 1 目的
農地・農業用施設の災害を未然に防止する。
- 2 事業主体（※負担割合）
県 など
(国：55%，県：40.0%，地元：5.0% など)
- 3 事業内容
(1) 畑地帯の侵食を防止の整備【予算額：997,370千円】
- 4 事業期間
平成24年度～令和13年度（20か年）
(令和5年度実施地区における事業実施期間)

<事業の流れ>

- (1)申請
農業者等 → 市町村 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)
- (2)実施
農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
(負担金) (負担金) (補助金)

<事業イメージ>



8 農業災害防止に関する施策

■ 農村地域防災減災事業【新規・継続】

【令和5年度予算額 769,670千円】

財源（国庫：420,100, 特定：309,350,
一財：40,220）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 VI-1-2 強靱な県土づくりと危機管理体制の強化

1 目的

農業用排水路の整備や、農業集落の防災施設整備を総合的に行い災害を未然に防止する。

2 事業主体（※負担割合）

県 など
（国：55％，県：40.0％，地元：5.0％ など）

3 事業内容

- (1) 農村地域の防災減災事業 【予算額：769,670千円】
（整備事業）
- (2) 農村地域の防災減災事業 【予算額： 0千円】
（調査計画）

4 事業期間

平成26年度～令和7年度（12か年）
（令和5年度実施地区における事業実施期間）

<事業の流れ>

- (1)申請
農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）
- (2)実施
農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
（負担金） （負担金） （補助金）

【用水排水施設整備】



【緊急避難路整備】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

8 農業災害防止に関する施策

■ 海岸保全施設整備事業【新規・継続】

【令和5年度予算額 384,750千円】

財源（国庫：206,000, 特定：154,818,
一財：23,932）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 VI-1-2 強靱な県土づくりと危機管理体制の強化

<事業の内容>

1 目的

高潮による被害を防止するため海岸堤防の整備や既存施設の長寿命化対策を実施する。

2 事業主体（※負担割合）

県 など
（国：55％，県：41.4％，地元：8.6％ など）

3 事業内容

- (1) 老朽化した海岸施設の整備 【予算額：286,200千円】
- (2) 高潮等による海岸施設の整備 【予算額：91,250千円】
- (3) 津波・高潮危機管理対策 【予算額：7,300千円】

4 事業期間

平成25年度～令和9年度（15か年）
（令和5年度実施地区における事業実施期間）

<事業の流れ>

- (1)申請
市町村 → 県 → 国
（申請） （申請）
- (2)実施
市町村 → 県 ← 国
（負担金） （補助金）

<事業イメージ>

【老朽化対策】



【高潮対策】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

8 農業災害防止に関する施策

■ 団体営耕地災害復旧事業【新規・継続】

【令和5年度予算額 3,252,945千円】

財源（国庫：3,100,713，特定：121,000，一財：31,232）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン VI-1-2 強靱な県土づくりと危機管理体制の強化

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

自然気象現象に伴い被災した、農地・農業用施設の復旧を実施する。

【農地】



2 事業主体（※負担割合）（嵩上げあり）

市町村など

（国：50%（農地），65%（施設） など）

3 事業内容

- (1) 過年災の災害復旧 【予算額：952,945千円】
- (2) 現年災の災害復旧 【予算額：2,300,000千円】

【農業用施設】



4 事業期間

令和3年度～令和5年度（3年）

（災害復旧は、3カ年で実施（予算の割当））

<事業の流れ>

(1) 申請

災害発生 → 被害報告 → 査定 → 着工

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

■ 地籍調査事業【継続】

【令和5年度予算額 641,212千円】

財源（国庫：427,058千円，一財：214,154千円）

<対策のポイント> 本県の地籍の明確化を図るため、県下全域において土地の所有者・地番・地目の調査並びに境界を及び地籍に関する測量を実施し、地籍図・地籍簿を整備する。

<政策目標> 課税の適正化及び公平化，公共事業の効率化及びコスト縮減，災害復旧の迅速化など

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

国土の開発及び保全，並びにその利用の高度化に資するとともに，地籍の明確化を図るため国土の実態を調査測量する。

2 事業主体（※負担割合）

市町村（国：50%，県：25%，市町村：25%）

3 事業内容

- (1) 地籍調査 【予算額：641,212千円】

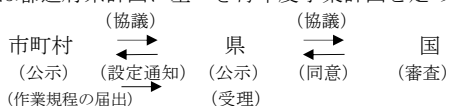
4 事業期間

昭和28年度～

国土調査十箇年計画（第7次十箇年計画（R2～R11））

<事業の流れ>

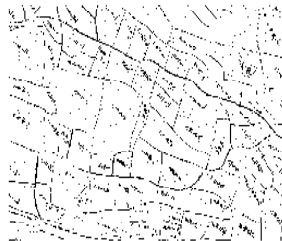
(1) 県は都道府県計画に基づき毎年度事業計画を定める。



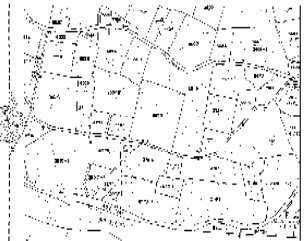
(2) 実施



【地籍調査前】字限図(いわゆる公図)



【地籍調査後】地籍図



- 地租改正に伴い、明治中頃に作成された図面
- 当時の測量技術に基づき作成されているため、正確性に欠けており、土地に関するトラブルの原因となる場合も
- 一筆ごとの境界を、最新の測量技術をもって正確に測量し作図したもの
- 土地の形状や位置が正確に記録され、保存される

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課国土調査係（099-286-3277）